

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
1	庁舎 建替え	本館と新館は、震度6～7クラスの地震で倒壊の恐れがあると聞いています。巨大災害や巨大地震が起きている昨今、早期に新庁舎の建設を実施してほしいと思います。 2014年に、松戸市の諮問機関である「松戸駅周辺街づくり委員会」が立ち上げられていながら、いつまでも新庁舎の建設の計画が市民に公表されないのは、おかしいと思います。 一日も早い、新庁舎の建設計画の市民への公表、新庁舎の建設工事開始を期待しています。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 なお、ご指摘の「松戸駅周辺まちづくり委員会」は、松戸駅周辺のまちづくりに関する事項について市長からの諮問により調査・審議する機関であり、新庁舎の移転について調査・審議する機関ではございません。
2	庁舎 建替え	地震で庁舎が崩壊する事体になったら市民も危険にさらされるし、中の市職員も危険ですので、もっと早く検討して移転を考えるべきでした。市民にとって、便利で使いやすい庁舎にすべく、市民の意見もしっかりと取り入れて下さい。為に、もっと移転の件を情報公開して下さい。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
3	庁舎 建替え	市役所移転計画について、いまだ市議会との積極的な議論を通じてその方向性を確認することができていないのではないですか。どのような議論を重ねてきたのか、その経過を説明ください。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
4	庁舎 建替え	本館と新館は、震度6～7クラスの地震で倒壊の恐れがあると聞いています。巨大地震や巨大災害が起きている中で、早期に新庁舎の建設をめざすべきだと思います。素案にあるような2026年度完成では遅すぎると思われます。早期完成の道筋をどのように考えておられますか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
5	庁舎 建替え	市役所の建て替えという市民にとって大問題をもっと大きく報道・周知すべきではないですか。パブリックコメントの取り扱い方も広報(10月15日号)で2面上段に小さく掲載されただけです。本来ならば、広報の特集を企画し、市民に周知してパブリックコメントを求めるのが筋ではないですか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
6	庁舎 建替え	今回のパブリックコメントが、市役所移転問題と一切関係ない計画で市民の声を求めているとすれば、多くの市民は意見を述べる事ができないと思われれます。このような意味不明な、市民を蔑視するパブリックコメントをなぜ出したのかいまだ疑問です。まちづくり委員会の全委員も同じ考えのもとで市民の意見を求めているのですか。	本計画(案)第4章(p.60)において、新拠点ゾーンに求められる機能と空間形成において、災害対応機能をはじめとした市役所機能の再編整備についてお示ししております。 現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
7	庁舎 建替え	松戸市の大型公共事業の中で、優先順位は市庁舎建て替えだと思います。これから襲ってくるかもしれない新たな感染症、気候変動による未曾有の災害などに対処するには、災害対策本部として、どうしても市役所が司令塔にならざるを得ないと思うからです。今の市庁舎は、耐震も不適、内部もボロボロ壊れていて、緊急事態対応に適していません。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
8	庁舎 建替え	本館と新館は、震度6～7クラスの地震で倒壊の恐れありと、聞いています。巨大地震や巨大災害が起きている中で早急に新庁舎建設を目指すべきだと思います。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
9	庁舎 建替え	市役所問題(市庁舎)はさけることはできないがここにきて、新型コロナ感染拡大の危機がせまり冬のりきる方策に、保障に税金を使うべきではないか。と考える。	コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。本事業の実施にあたっては、資産の売却やこれまでに積み立ててきた庁舎建設基金をはじめ各種基金の活用等により、財政負担の軽減等を図ってまいります。
10	庁舎 建替え	市民がコロナで生活が大変な時に何百億円もかけて、市庁舎建て替えとはとんでもない。しかも、議会にかけず、市長が進めるとは絶対許しません。市庁舎の建て替えは、元地建てで。相模台の大開発には、反対です。市の借金を増やさないで！！	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 なお、コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。本事業の実施にあたっては、資産の売却やこれまでに積み立ててきた庁舎建設基金をはじめ各種基金の活用等により、財政負担の軽減等を図ってまいります。
11	庁舎 建替え	松戸市庁舎建て替え問題、新拠点ゾーン計画、何故やるのか、目的、方法、よくわかりません！！止めて下さい！！ 山を崩すことは、やめて下さい。現在の緑は残す、現在、既に開発されているコンクリート地域での再開発を考えて下さい！！	本計画（案）は松戸駅周辺でありながら松戸中央公園などの緑に恵まれ、官舎跡地などの有効活用が求められる相模台地区を、新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる拠点を創出することを目的としております。相模台地区の豊富なみどりを最大限に活かしながら計画を進めてまいります。 なお、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
12	庁舎建替え	近年の巨大地震・災害頻発の中、新庁舎の建設は素案の2026年度完成では遅すぎます。早期完成の改善案が必要です。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
13	庁舎建替え	防災拠点としての機能が果たせない の文章は結局市役所を移転するということですか？市役所移転なら市役所移転と書かないと分かりませんね。少ない文章でまとめて書くのに市役所移転の言葉が無ければ煙に巻いた話になります。読んでいとうでもいい形容詞が多く、市役所移転なら市役所移転という文字が 真っ先に来ないとおかしい。文章を読んで松戸市は何か隠し事しながら計画しているような胡散臭さを感じます。失礼な話ですが 文章が拙い。文脈が揃っておらず最初の出だし言葉から次の文章になぜつながるのか意味不明。読解不明の脈絡が多い。誰も添削してないのだろうか？如何かか	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
14	庁舎建替え	新拠点ゾーンよりも市庁舎の建て替えまたは、移転を最優先にしてください。	本計画(案)第4章(p.60)にてお示ししているとおり、第2段階における南側の市役所機能の再編整備による効果を最大限に発揮するために、第1段階の土地区画整理事業による基盤整備を行う計画となっております。現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
15	庁舎建替え	市役所機能の再編整備、公園の整備を第一とすべきではないか。各段階共必要なことはあるが、そのために市役所機能の再編等が不要な影響を受けまいよう配慮することは重要とおもう。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。なお、公園の整備については、本計画(案)第4章(p.62)にお示ししているとおり、広いオープンスペースを確保、貴重な樹木など緑を極力残す、文化財などを生かす、災害対策機能を充実させる等を踏まえ検討してまいります。
16	庁舎建替え	松戸市庁舎も築年数が立ち、耐震が充分でないということは聞いています。市民の大切な情報が集中している市が”要”となる市庁舎は、松戸市の重要な建物であることは間違いありません。「新拠点ゾーン整備基本計画」なる(案)が出され、パブリックコメント募集の記事が松戸広報に掲載されていました。しかし、市議会においても十分な議論がされず、市民は傍聴することもできませんでした。市庁舎建て替えのように高額な予算を必要とするのは、もっと早く情報公開するべきです。コメントをするにしても、市民への情報が少なすぎます。何とどう比較したら良いのでしょうか。現地建て替えは不可能なのですか？その理由は？各地域ごとに市民の納得いくような説明をお願いします。そして、市民参加の議論ができるよう企画して下さい。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きし、また、市議会に説明させていただく機会を設けさせていただき、検討してまいります。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
17	庁舎建替え	提供されている資料を拝見して、この新拠点ゾーンの書き方だと、市役所を建替える話との関係がわかりません。(建替えのための新拠点ゾーンなのかと思っていたので。)まず、新拠点ゾーンと、現在の市役所の場所を同時に表現した図がないのがわかりにくいです。(2章以降に)市役所は新拠点ゾーンの緑を残して文化施設や図書館も併設して・・・で、面積が足りるのでしょうか？そもそも、市役所をどのように建替えるのか、という話は無くて良いのでしょうか？本館・新館の耐震性能がひくく、大規模地震の際には倒壊の危険性があるなど、建替えの必要性は書かれていますが、どのような市役所にするのでしょうか？そして、跡地も利用可能かと思いますが、それを含めた計画でないのはなぜでしょうか？パブリックコメントを求めるための資料としては、中学生でも意味が通じる程度の言葉と表現でお書きいただきたいと思います。もちろん、決定事項ではないため、あいまいな表現になるのはわかります。	新拠点ゾーンに求められる機能として、災害対応機能などの市役所機能の再編整備をお示しし、また、北側の試みの場では、図書館機能等々の多様な市民の暮らしを充実させる機能の整備を検討しているところです。現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
18	庁舎建替え	松戸市では、かつて、市立病院の建替えについて、現地建替え派と移転派で市長選が争われたことがあった。現地建替え派の本郷谷現市長が当選して、現地建替え案を探ったが、専門家により無理だと結論が出て、やむなく移転した経験がある。病院建替えについては20年以上の年月が必要であった。幸い、病院は、大地震の来る前に建て替えが終わったが、市庁舎については、間に合うかどうか心配である。早く建て替え案を示してほしい。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
19	庁舎建替手法	議会内に現地建て替え案を考える議員が多くいるとのことですが、現地建て替えのメリットとデメリット、移転先のメリットとデメリットを公開すべきだと思いますが、その準備はできるのでしょうか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
20	庁舎建替手法	市立病院の建て替え問題の苦い経験が、市役所移転問題に生かされていないと思います。現地建て替えか移転かで、議会と行政間で大問題となり、建設までに何十年も費やし、その結果、東日本大震災や東京オリンピック関連で資材や人件費等が高騰し、何十億円という余計な支出をしたことを肝に銘じてください。市立病院建設の苦い経験は、市役所移転問題でどのように生かされているのですか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
21	庁舎建替手法	10月29日の貴課への質問で、「市役所の移転計画を提案していない。新拠点ゾーンのあり方、駅周辺の防災対策、オープンスペースなどの考えを示しているだけである」と理解できない説明がありました。ところが、『新拠点ゾーン整備基本計画(素案)』の5章では概算事業費として基盤整備費65億円、市役所機能の再編整備182億円、商業・業務・文化機能の整備54億円、合計301億円が示されています。この概算事業費からみても、相模台に移転することを想定された計画素案であると誰でも理解するのではないのでしょうか。本当に、市役所の移転計画を提案していないのですか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
22	庁舎 建替手法	巨大地震や災害が直近に予想される中で、災害対策の司令塔の役割を果たす市役所の新たな建設が早期に求められます。現地建て替えと相模台移転のメリットとデメリットを速やかに市民に周知してください。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
23	庁舎 建替手法	市庁舎の移転建てかえの理由がわかりません。現庁舎の耐震工事に対応できない理由は何ですか？	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
24	庁舎 建替手法	① 現在の市庁舎に再建する ② 新拠点ゾーンに移転建設する ③ 市議会有志による松戸ヒルズ建設 ④ その他(新松戸駅前？再開発？) 計画では、新拠点ゾーンの整備に合わせて市庁舎再建を結び付けた計画案提案になっているが、新拠点ゾーンと市庁舎(街中でも機能する)建設を先ず別々に検討する必要がある。 その他の案も含め総合的に、財政問題を含めた比較検討を行い、市民に説明することが求められる。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
25	庁舎 建替手法	新拠点ゾーンの中心は、市役所移転だと思いますが、移転先のメリットとデメリットを公開すべきだと考えます。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
26	庁舎 建替手法	市庁舎移転、先にありでのパブコメ提起。これはいけませんぞ。他の方策も含め、総合的・俯瞰的に情報を提供したうえでパブコメではありませんか。これでは意見の出しようがありません。市長は市民の声を「聞く耳持たぬ」ですか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
27	庁舎 建替手法	現地立替でのメリット、デメリット 新拠点でのメリット、デメリット 現地は、税務署も近くバス停も近くにあり又駐車場も十分に立地点としては申し分ないと思っています。新拠点での在り方はどうなのでしょう か？	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
28	庁舎 建替手法	現地か新規立替か もっと市民の声意見を聞き議会でも十分論議したうえで立案してください。宜しくお願いします。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
29	庁舎 建替手法	市役所は耐震に問題のある所だけ対応すべき。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
30	庁舎 建替手法	新拠点ゾーンに市役所を移転することが、前提となっている。何故移転前提となっているのか？ 概算事業費の内訳を見ると、市役所移転が前提になっていることは、あきらかである。次の市役所庁舎に関しては、現地建て替え案と他の土地(相模台等)への 移転案のメリット・デメリットを洗い出し、比較検討するべきである。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
31	庁舎 建替手法	新拠点は有力な市役所移転先とは思いますが、他の候補地との比較検討が必要と考えます。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
32	庁舎 建替手法	<p>突然、朝日新聞ちば版に「新拠点ゾーン」の計画について報道があったというのですが、その前に我々市民にきちんと広報誌などを通して説明があったわけでもなく、その前に市議会への説明も全く不十分なまま強引にこのよく訳のわからない「新拠点ゾーン」が計画されているのは全く納得できません！私達は以前、明市民センターの移転そして市のセンターとは名ばかりで「大和ハウス」から借りて賃貸料(それも非常に高額)を払っていくことに声をあげて反対し市議会に陳情まで出して反対してきました。なぜ現地建て替えをしないのか。そして市の財産である市民センターをなくそうとするのかを交渉で声を大にして訴えていきその中で、この松戸市の市長、市政に非常に怒りをもっています。</p> <p>今コロナ禍で我々市民は多大な影響を受けて不自由な生活を強いられ、ここにきて感染者がさらに増え続け、クラスターも発生している事態です。市としてはまず世田谷区などにも学ぶべきだと思います。ここにきてこの事態の中で市役所の現地建て替えでなく、移転建て替えの計画が突然でてきているのはおかしいでしょう！現地建て替えですめるべきです。</p> <p>またこの「新拠点ゾーン」計画にしても市議会でいろいろ話し合い、また市民のいろいろな分野の方の参加も呼びかけてすすめるべきです。明のようにろくろく施設チェックもせずに民間におまかせでなく我々税金を払っている市民の声を多く集めて公共施設として検討していくべきでしょう。議会や市民軽視でコソコソと「民間活力」の名のもと結局企業のもうけになるようなやり方はやめるべきでしょう。公共施設としてきちんとオープンに市民に聞かれた形で市民の知恵と意見をとりいれ市民のための市民による市民がこれから豊かに生活していけるものを作るべきではないでしょうか。また市役所は確かに老朽化しているんで建て替えは必要ですが、今あるところに建て替えをすすめていくべきだと強く要望します。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
33	庁舎 建替手法	<p>耐震性が不足しているから補強するのか。建て替えるのか。移転するのか。そういう話がよく見えない。市民に公に公開の場で検討されたことがあるのだろうか。そういうところが松戸市は内輪の人間だけで井戸端会議をやり秘密裏に市民税を無駄に消費しているとみられる。本土寺参道や新松戸駅赤鳥居の多額の不正な資質は以前から問題にされている。</p> <p>例えば200億の新市庁舎を建てた場合ランニングコストでビル壊すまで60年の間にその5倍の維持費がかかる。</p> <p>結論で言えば200億の市庁舎はその後の60年間で1200億円の市民の税金が使われる。こういう基本的なこともわからずただただ新しくすればいいという考えは問題である。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
34	庁舎 建替手法	<p>「新拠点ゾーン整備基本計画」には市庁舎建て替え案が含まれていなかった。情報公開と市民参加が不十分です。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
35	庁舎 建替手法	<p>現在地で市庁舎建て替え案がいいと思います。お金がかかる移転する案にこだわる理由はなんでしょうか。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
36	庁舎 建替手法	<p>庁舎建替の必要性</p> <p>市当局は、H8年の石本設計(株)報告書で、「新館は7階以上の階の撤去をしなければ、耐震性は確保出来ない」との見解で、建直しを決定した。同報告書は、5F・6Fが1s値0.3程度、BF1・1Fは1s値=0.6程度、と示す。これは神戸地震時に圧壊した神戸市役所本館と同様、5F位置での鉄筋・鉄骨の段落としが原因である。耐震補強は、庁舎新館は新国立競技場設計者の隈研吾氏が設計した、小松精線(株)本社耐震補強のためのス</p> <p>テーケーブル設置。さらに本館は、福島県庁舎同様、「ロの字型の開口部」に、ジャングルジムのような鋼材補強で可能である。小松精線本社、福島県庁はともに築60年。さらに30年の耐用期間延長を計画している。しかるに、財務部長は数次の市議会で、耐震検討を行なわないと答弁。現地耐震補強を行えば、5～10億円程度で本館・新館の延命が可能であるのに、なぜ耐震検討を拒否したのか？さらに、1s値の大きいBF1・1F・2Fに無効化の包帯工法を適用し、1s値の小さい、5F・6Fは無補強としたのは何故なのか？の回答が求められている。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
37	庁舎 建替手法	<p>建替え場所 現地建替えの可能性</p> <p>財務部長は議会答弁で①庁舎建設時の仮建物と駐車場スペースがない。②2020年9月議会・財務部長答弁「江戸川最大洪水浸水想定から、現庁舎周辺の浸水が予想され、庁舎が機能不全に陥ることから、現地建て替えよりも移転建て替えの方が望ましいと判断」と述べている。</p> <p>(1)庁舎建設時の仮建物と駐車場スペースの問題</p> <p>現庁舎用地は15,100㎡の面積がある。市役所業務をしながらの新庁舎建設可能用地は、合計の5,656㎡ある。さらに新庁舎建設時も駐車場(130+30=160台)を確保する必要がある。駐車場建築面積を1,000㎡、1台当たりの専有面積をキテミテ松戸の事例から28㎡と仮定すると、4,480㎡必要である。これは5階建相当になる。さらに5,656㎡-1000㎡=4,656㎡の庁舎建設可能用地いっぱい、建設することは十分可能であり、7階建てで可能である。延床面積30,000㎡の庁舎を建設するのに、類似事例を調べると、下記に示すライオンズタワー柏・渋谷区新庁舎・ガレリアサウラ(延床面積が1,000㎡足りないが)等数多くの事例がある。したがって、仮建物と駐車場スペースの問題は、見当違いである。</p> <p>(2)降雨強度153mm/時の浸水被害による、市役所機能不全の可能性</p> <p>2020年9月議会・財務部長は、「江戸川最大洪水浸水想定から、現庁舎周辺の浸水が予想され、庁舎が機能不全に陥ることから、現地建て替えよりも移転建て替えの方が望ましいと判断」と答弁している。松戸駅周辺中心部の最大浸水高さは、8.5m。松戸駅の標高は5.5m、3m浸水。現庁舎標高は13m、相模台庁舎予定地標高25mでともに浸水問題なし。市川市庁舎は、1.3m浸水。それでも災害時司令所・避難所としている。ソフトが悪くない限り、現位置で庁舎が機能不全に陥るわけがない。以上、(1)庁舎建設時の仮建物と駐車場スペースの問題。(2)降雨強度153mm/時の浸水被害による、市役所機能不全の可能性について、回答をしていただきたい。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
38	庁舎 建替手法	<p>非常事態時対応の相模台新拠点(案)の見解に対しての問題点</p> <p>①地震時の避難 『新拠点ゾーン整備基本計画(素案)』では相模台新庁舎(案)で、避難場所の併設は考えておらず、旧千葉地方検察庁松戸支部跡地に建設予定である。松戸駅から水平換算距離で約900m。さらに松戸駅から避難場所の松戸一中までは約1,300mある。一方、現庁舎は避難所併設を考えた場合、松戸駅から水平換算で500mである。2030年時点の震度7級直下型地震の発生確率は、30～59%の確率であり、江戸川～相模台・現市庁舎で低地は、建物密集の液状化危険地域である。大地震時に、建物・電柱・樹木が倒壊し、避難路確保が困難の恐れがある。高齢者の多い松戸市中部は、避難距離が短い方がよいのは自明であり、現庁舎位置が圧倒的に優れている。</p> <p>②建設費用 相模台移転は、移転再編整備費(182億円)+基盤・駐車場整備費(119億円)=301億円と記載している。現地建替えならインフラ分の119億円が不要。さらに土地取得費27億円及び地下駐車場を地上駐車場とすることにより16億円の削減が可能。したがって建替え事業費は139億円となる。162億円削減可能である。</p> <p>③市役所職員の地震時安全確保現地建て替えなら、設計1年、建設2年で新庁舎完成して、松戸市職員が大地震に対して安全に仕事ができる。一方、相模台移転は2026年度末完成予定である。その間に埋蔵文化財調査、民地を通るアクセス建設に伴う民4間との交渉等があり、完成予定が大幅に遅延の恐れがある。洪水発生は予知可能であるが、地震予知は不可能である。大地震はいつまでも、待つはくれない。市川市は新庁舎完了しているが、松戸市新庁舎完成前に大地震襲来・被害が発生したら、誰が責任を取れるのか？ 地震時避難・庁舎の地震時倒壊の危険性及び建設費用の観点から、なぜ相模台移転が優れているのかの回答をしていただきたい。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
39	庁舎 建替手法	<p>豊島区・渋谷区庁舎等の合築手法の採用 豊島区役所及び渋谷区役所は、マンション事業との合築事業で当該区よりの財源投入ゼロを実現している。財政状況が厳しい松戸市でも、豊島区や渋谷区同様合築の可能性がないか調査した。</p> <p>①合築用の超高層複合ビル建設が成功するには、鉄道駅が近いことが不可欠である。松戸市庁舎は新京成線が直下を走行している。新京成電鉄株式会社田口鉄道事業本部長に桜井市議と訪問したところ、「技術的・営業的に新駅設置は可能。設置は、市長と社長の話し合いによる」との回答を得ている。</p> <p>②現市庁舎用地は15,100㎡ある。新庁舎延床面積を34,480㎡とすると、15,100㎡×10倍=34,480㎡=116,520㎡のマンション建設が可能である。マンションは100㎡/戸、価格5,000万円/戸と仮定すると、1,165戸建設可能で、総売上げ582.5億円となる。一方、建設費は庁舎込みの151,000㎡×40万円/㎡=604億円。国・県補助金は建設費の15%程度期待できる。補助金総額=604億円×0.15=90.6億円。582.5億円-605億円=▲22.5億円の差損が派生するが、約90億円の補助金により十分埋め合わせが出来る。松戸新庁舎も豊島区・渋谷区同様の合築事業として、市財政投入ゼロを目指すべきである。意見はどうか？</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
40	庁舎 建替手法	<p>①市庁舎が相模台移転になれば、現庁舎周辺商店街の売り上げの大幅な減少が想定されます。また税務署や東葛事務所が遠くなり、利用者に不便をかけます。これらの対処方法を教えてください。</p> <p>②近い将来、震度7級の直下型地震襲来が予想されます。この時には道路や昇降設備の利用はできない可能性があります。松戸駅近傍の被災者にとって、相模台計画庁舎は垂直距離が大きく、高齢者にとって避難が困難と思われる。現庁舎の方が遥かに容易と思われる。非常時避難の観点から、庁舎位置はどのようにお考えですか？</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
41	庁舎 建替手法	<p>新庁舎の建て替えについては、移転と現地建て替えのコスト含め十分比較いただき、どのような計画なのか、市民に説明の機会を設けていただきたい。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
42	庁舎 建替手法	<p>本計画案に土地利用計画は示されていませんが、事業費が概算されているということは、実際には現時点で土地利用計画案ができていないと拝察します。それも含めてパブコメにかけるときには、これからでも遅くはないので、都決変更を後ろ倒ししてでも、その機会を作っていただきたいと思えます。特に市役所本庁舎の移転先は市民にとって重要な関心事です。「市役所機能の再編整備」に係る事業費が具体的に示されているのに、移転先が示されていないというような案をパブコメにかけるときには、いいと思います。</p>	<p>新拠点ゾーンはほぼすべてが国有地となっています。そのため、新拠点ゾーンの土地利用計画に関しては、現在、国と協議しておりますので、今後お示しいたします。 また、本計画（案）第5章（p.65）にお示ししている概算事業費につきましては、新拠点ゾーンに求められる機能と空間形成の中で、災害対応機能をはじめとした市役所機能の再編整備が重要な要素であることから、想定される事業費の中でお示しました。 現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまのご意見をお聴きしたいと考えております。</p>
43	庁舎 建替手法	<p>市庁舎移転が不明確である。 この「新拠点ゾーン整備基本計画案」には、曖昧にされていて、市役所の移転が明確に示されていない。松戸市の公共施設の中で、今、1番、建設を急がなくてはならないのは、大地震が来たら壊れてしまうといわれている市役所の庁舎である。新拠点ゾーンに移転して、相模台公園側に新庁舎を建設しようという計画が、見え隠れしているが、それを明確には出していない。聞くところによると、現地建替え案が出ているという。移転か？現地建替えか？の議論を隠して、それを明確に示すことができないままに、この計画案で、パブコメにかけてはいけません。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
44	庁舎 建替手法	<p>10月29日に市民団体が貴課と質疑したところ、職員から「市役所の移転計画を提案していない。新拠点ゾーンのあり方、駅周辺の防災対策、オープンスペースなどの考えを示しているだけである」との答弁があったと聞いています。市役所の移転の可否は大きな課題です。市役所の移転計画の有無を明確にしたままでは、何のための基本計画かわかりません。市役所の移転計画の有無を明確にし、現地建て替えと移転の双方のメリットおよびデメリットを明確にしてから、再度パブリックコメントにかけるときには、いいと思います。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
45	庁舎 その他（導入機能など）	市役所機能施設の建設費は129億となっていますが、予算不足のために目標とする機能のレベルを落とさないよう予備費をとっておいてほしい。耐震性、耐風性、デジタル化、市のシンボリックな建物にすること、コロナ対策などを考えるとこの予算でできるか疑問です。特に、耐震性を向上させるには建設費は高くなりますが免震構造の採用が最も有効です。免震により建物自体の損傷が低減されるばかりではなく、建物内部に収納される設備、配管、配線や什器の損傷が免れるため、地震時の防災拠点としての機能が十分に維持できるものと思います。ぜひ、市役所に免震構造を採用することを検討してください。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
46	庁舎 その他（導入機能など）	市役所を建て替えることがそもそもの発端になっているのではないかと疑問が生じる。市役所建て替えを急ぐあまりに検討・計画が杜撰になることが心配である。 あくまでも全体計画の中で市役所はどうあるべきかとの位置づけで検討・計画すべき。 ＝市役所の機能は集中すべきか、支所など分散も大事ではないか、「デジタル化」対応は等。	現庁舎は、施設そのものや基幹設備の老朽化や耐震性の不足により、市民の皆さまや職員等の生命を脅かすだけでなく、災害対応拠点としての機能が果たせない状況となっています。 現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
47	庁舎 その他（導入機能など）	「新拠点ゾーン整備基本計画(案)」に意見を申し上げます。 該当箇所は、5ページ、第1節 新拠点ゾーン整備基本計画の位置付け 「本計画は、千葉県や本市における上位計画に即し、関連計画とも整合性を図りながら策定するものとします。～」とある件に関して申し上げます。 昭和34年5月に松戸市役所が現在地に移転してから、昭和39年4月に総合庁舎が市役所前に完成。 昭和44年6月に松戸税務署が現在地に移転新築完成。 昭和46年7月に県東葛合同庁舎が完成。 この合同庁舎には県の地域振興課、環境保全課、出納課、松戸保健所、交通事故相談所、松戸県税事務所、水道局松戸支所が所在し、合同庁舎については、当時松戸市が働きかけ、実現したものであります。 市民の諸手続きが合理的に行われるよう、こうした一角に公的機関の施設を集結させてきましたのは、「市民サイドに立脚した松戸市の伝統的な姿勢」からであります。市役所を新拠点に移設する方向性を「良」とするとしても、市役所の耐震性と狭隘という面のみならず、庁舎位置を変える場合は、防災性、将来性、位置性、市民サービスの円滑化、利便性、合理性等から総合的な決着が求められると考えます。 これらのことから、上記に記載しました公共施設機関と「新拠点ゾーン整備基本計画」への地域に移設の協議をされ、「合同庁舎」、又は「一角に位置する隣接庁舎」として、計画を立案されれば、市役所移設のすべての要件はクリアし、移設条例案は合意されます。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
48	庁舎 その他（導入機能など）	業務のデジタル化、リモートワーク等の進展を組み入れた再編整備を先ず行って欲しい。 市民との頻繁な接触を要しない機能や会議棟(年間稼働率)などは新拠点ゾーンに置く必要はない、例えば分室を20世紀が丘あたりに置き、インターネットで会議、人の移動はシャトルバスで繋ぐことで、現在の公園の緑を最大限に残すことができる。また交通渋滞の緩和になる。	現庁舎は、施設そのものや基幹設備の老朽化や耐震性の不足により、市民の皆さまや職員等の生命を脅かすだけでなく、災害対応拠点としての機能が果たせない状況となっています。 現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
49	庁舎 その他（導入機能など）	一般的に都市は主要ターミナルと市の本庁舎を中心に発達してきましたが、松戸市は、鉄道の交差する駅が松戸、新松戸、八柱、東松戸と分散し、相対的に松戸駅の機能が低くなってきています。新松戸に快速が停車すれば、更に松戸の比重は低くなります。さらに、新型コロナウイルスによるテレワークの普及は、通勤客を大幅にへらし、東京・松戸から居住地中心に変わりつつあります。この傾向は、デジタル化・AI化で加速するでしょう。消費も居住地中心になるでしょう。東京や松戸駅周辺に出なくとも十分良い暮らしができる時代になるでしょう。市民から見れば、近くの支所の充実が最大の関心になるでしょう。よって本庁はIT化等でコンパクトにして、災害対策も分散的に考え配置する方が実効性あるでしょう。 財政上も後世に負担にならないように最大限の努力をするべきです。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 また、財政支出への対応策については、資産の売却やこれまでに積み立ててきた庁舎建設基金をはじめ各種基金の活用等により、財政負担の軽減等を図ってまいります。
50	庁舎 その他（導入機能など）	市立病院の建て替え時に市民から省エネ型設計と建設の提案がされていました。しかし、それは結局ほとんど生かされず自然採光度も低く、ソーラー発電やソーラー温熱設備もごく僅かです。電気代などランニングコストでの大幅の削減も図れませんでした。この反省が庁舎移転で生かされていないのではなんでしょうか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
51	庁舎 その他（導入機能など）	新庁舎には必ずソーラー発電などの自然エネルギーを採用し、省エネに役立つようにして下さい。くれぐれも市立病院の二の舞にならない様に、お願いします。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
52	庁舎 その他（導入機能など）	「新拠点ゾーン整備基本計画(案)」は、5年前のものをそのまま提示されています。そしてそこには「市庁舎の建て替え」については触れられていません。パブコメを出す市民への資料提供が不十分です。 「案」の「概要版」には「市役所機能の再整備」の項に「土地取得約27億円(約31万円/㎡)、施設建設(延床面積30,000/㎡)約129億円(約43万円/㎡)、地下駐車場約26億円」とあります。土地取得とある事からするなら、「移転」として提示しコメントを求めるべきだったと思います。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
53	庁舎 その他（導入機能など）	<p>建替え庁舎の規模の算定 『新拠点ゾーン整備基本計画(素案)』によれば、松戸市役所は、庁舎延床面積30,000㎡、約129億円。地下駐車場約26億円(130台)。その他来庁者用駐車場30台(費用約40億円/200台×30台=6億円)。合計で161億円を計上している。駐車場の占有面積の表示がないので、キテミテ松戸の駐車場の建築面積1,500㎡×7階建てで、376台収容から推測した。ここで1台当たり28㎡占有していることになる。前記130台+30台=160台の駐車台数から、駐車場面積を算定すると、4,480㎡に相当する。従って、(庁舎+駐車場)の面積は30,000+4,480=34,480㎡となる。一方、R1年に市議員に提示した市役所庁舎は、延床面積は非明示だが、建設費は約180億円。駐車場は、駐車台数が同様に非明示だが、建設費は約72億円。したがって、(庁舎+駐車場)建設費は252億円である。これらの数字は後記する市川市役所の建設費259億円に非常に近い。なお、今年8月に完成した市川市庁舎は、延床面積(駐車場込み)41,700㎡、駐車台数243台。建設事業費は259億円であった。</p> <p>松戸市及び市川市の人口は、ほぼ同じで、設計事務所は同じ(株)山下設計。さらに庁舎延床面積は、現松戸市庁舎は29,798㎡、一方、旧市川市庁舎は23,272㎡と松戸市の方が28%大きい。駐車台数は、松戸4,123人。市川3,206人と、人口換算で、松戸市は職員数が1.29倍多いのである。松戸市の現庁舎延床面積及び勤務市職員数は、それぞれ市川市に比べ約3割ずつ多いのに、市川市新庁舎は41,700㎡、松戸市計画新庁舎は34,480㎡となり、松戸市は約17%狭い。駐車台数は34%少ない。大きな差異がある。庁舎専有面積の算定は、通常、『市川市庁舎整備基本計画(平成25年9月)』のように、国の基準や既往他市の事例を参考にして決定する。『同基本計画P36』には、総務省・国交省基準として他市の事例からの算定値(駐車場含まず)、33,000~38,000㎡が記載されている。『算定資料編』には、資料1：新庁舎規模の算定条件。資料2：新庁舎規模の算定。資料3：新庁舎建設所の算定。資料4：現庁舎の建て替えにかかるPF1導入検討報告書と、多岐にわたる検討がなされている。一方、松戸市の『新拠点ゾーン整備基本計画(素案)』の算定根拠は、現庁舎の延床面積29,798㎡を根拠に新庁舎3万㎡としか記述がない。また駐車場台数も、現状の280台から160台に激減しているため、信憑性が疑われる。市川市のように、「総務省・国交省基準として他市の事例からの算定値」のような説明もない。常識的に考えて、設計事務所が同じで、延床面積で17%もの差異。駐車台数で160台/243台のような大きな隔たりが出るわけがない。 したがって市川市のように市庁舎の専有面積の算定根拠の開示を求める。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
54	庁舎 その他（導入機能など）	<p>少子高齢化にあると言いつつ、高齢者のことを考えたプランにはなっていない。いったい、市民が年にどれくらい市役所まで足を運ぶ機会があるだろうか。年に1~2回ではないだろうか。そこに莫大な費用をつぎ込むより、身近な市民センターにお金をかけ、使いやすく便利なミニ市役所的役割を持たせるべき。今の市民センターは貸し室でしかない。高齢化になればなるほど生活圏の充実を求めるだろう。そう考えると、身近な市民センターを委託で単なる貸し室にするのではなく、高齢者も若者も使いたくなるような、充実した機能をもたせるようにすべきで、そこにこそ労力をかけてもらいたい。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
55	庁舎 その他（導入機能など）	<p>「支える場」は、市役所機能の再編整備の場であることは、P.60ではじめて分かり、P.65で延床面積30,000㎡と分かります。また、地下駐車場(130台)が計画されていることが分かります。この建物と駐車場をなるべく床面積を小さくし、かつ高さ(階数)、深さを抑えた建物・駐車場になるよう工夫していただき、相模台公園の地形保全とアクセス・ネットワーク等の機能強化を両立するよう要望します。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
56	庁舎 その他（導入機能など）	<p>これは市役所機能の移転を意識しているのかと思いますが、市役所ハード面の老朽化を考えると、その位置づけは妥当かと思いますが。ただ、昨今のデジタル化が今後さらに進展することも考えれば、市役所という器自体の価値はおそらく今後低下していくものだと思います。であれば、市役所として移転させるものの、その後市役所機能が不要になった暁には、子供たちの遊び場や、老人福祉施設などに活用できるなどの、社会福祉施設にスイッチできるような器にしてほしいと切望します。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
57	庁舎 その他（導入機能など）	<p>○住民サービス向上につながる新庁舎づくり 現在の庁舎の問題点(不便さ、業務のしにくさ、安全衛生上の問題など)を徹底的に洗い出し、それをひとつひとつ解消することが大切。なぜなら、庁舎の構造や機能が合理的で、業務がしやすい環境となることこそ、円滑で効率的な業務の遂行につながり、住民サービスの飛躍的な向上につながるのだ。</p>	<p>現庁舎は、施設そのものや基幹設備の老朽化や耐震性の不足により、市民の皆さまや職員等の生命を脅かすだけでなく、災害対応拠点としての機能が果たせない状況となっています。 現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
58	事業凍結 (延期)	<p>市役所は2021年から基本設計を行い2024年に実施設計、2025年~2026年に建設し2027年竣工の計画となっています。2025年からは周辺商業施設の基本設計が始まり2027年から建設される計画となっています。しかし、現在新型コロナウイルスの感染が拡大している中、感染終息後の市民の生活様式や社会の活動形態がどのような方向に進んで行くかわからない状況で、30年後を見据えた適切な基本設計が進められるとは思えません。 また、2021年にはデジタル庁が設置され官庁及び地方自治でデジタル化が進められようとしている状況において、地方自治の最前線である市役所の設計にはこれらの動向を反映させない時代に取り残されたいわゆるガラパゴス市役所になる可能性があります。 コロナ終息後の世界を含めた社会状況および経済活動を見極めるためには少なくとも2年位は必要で、市役所の基本設計の開始を含め、全体の計画を2年以上遅らすのはどうでしょうか。</p>	<p>コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われますが、現庁舎は、施設そのものや基幹設備の老朽化や耐震性の不足により、市民の皆さまや職員等の生命を脅かすだけでなく、災害対応拠点としての機能が果たせない状況となっています。 そのため、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
59	事業凍結 (延期)	<p>このたび新拠点ゾーン整備基本計画案および市庁舎移転問題について新聞で初めて知りました。このような多額の税金を使う問題が唐突に出され、わずか1ヶ月足らずの期間で市民からの意見を募集し(広報に小さく掲)、これで市民の意見を聞いたことにし、年度内の計画策定を目指すなどともありません。新庁舎の検討にあたっては、アンケートや市民説明会などを繰り返して市民と共に計画策定していく姿勢が多くの自治体に共通していると聞きます。以前「噂の東京マガジン」とうテレビ番組で、松戸市役所の職員が新松戸駅東側地区の「市施工・区画整理事業」に関して市は市民の意見がどうあると実行できるという姿勢を示したことに唖然としました。松戸市は今回もこの姿勢を改めないのでしょうか。コロナでなすべきことが山積しているはずですが、もっと必要なことに取り組んでください。また、コロナで自然破壊が問題になっている今、相模台の緑、新松戸の農園などを壊し、開発を強行するという姿勢を見直す必要を感じます。先ずこの問題を一時凍結し計画を市民と共に考えるべきだと思います。</p>	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。 コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
60	事業凍結 (延期)	<p>今回発表された新拠点ゾーンは、30年後の松戸市のために「松戸の文化・自然を発信するためのもの」と聞きましたが、財政も豊かではない松戸市で、喫緊の課題も山積みな中、ずいぶん悠長なビジョンだと思います。まず市庁舎やゴミ処理のためのクリーンセンターを先に作って、それからゆっくりと「将来の松戸のビジョン」を実行するべきではないでしょうか？</p>	<p>本計画(案)第4章(p.59)にお示ししているとおり、新型コロナウイルス感染症などの未知の問題については、現時点で回答の道筋を本計画に反映させることは困難であるため、可変性を持ち、変化に応じて対応可能な柔軟なまちづくりを行うことや、すべてを施設で埋め尽くすのではなく、都市の中の(余白)オープンスペースが価値を生み、柔軟性、可変性につながるという考えを取り入れ、長い時間軸における人々のライフスタイルやワークスタイルの変化に柔軟な対応ができるような計画(案)としております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
61	事業凍結（延期）	市民参加型の検討を重ねてこそ「市政の大道」ではありませんか？ そのことが不足していますので、とりあえず今回の提案は一時凍結し、改めて市民と共に検討していくことを求めるものです。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。 また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS (FaceBook・Twitter) において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
62	事業凍結（延期）	この度いきなり新聞発表された標記の開発計画ですが、とんでもないことです。 そもそも市庁舎建て替えは、耐震性を考えると急がなくてはなりません。それを新拠点ゾーンにくみこんで、大開発の計画にしまうと、また遠い話になったしまいます。 この度の国主導の大開発を、このコロナの時期にすすめるべきでしょうか？ 商店はつぶれ、仕事も切られて路頭に迷う市民がたくさん居るのに、ましてコロナ感染症もこの冬はもっと広がる恐れがあるといえます。お願いですからこのようなプランは今でなく、コロナが収束してからのことにして下さい。 街作りは市民の声を聴き、議会と共同してプロジェクトを作り、じっくり構想を練って初めて予算化されるものです。たとえ国がいくらかの財政援助をしてくれるとしても、性急なトップダウンのプランはきっとどこかで破綻します。「計画」(案)は凍結し、新たな開発プロジェクトはコロナ後にして下さい。 危険な市庁舎は学校の耐震化の工事に、仕事にさしさわりのない範囲で少しずつ前にすすめて下さい。	新拠点ゾーンの整備は、国が主導している事業ではございません。 新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。これからも、段階的な事業ごとに市民・議会のご意見をいただきながら丁寧に計画を進めてまいります。 コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 なお、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
63	事業凍結（延期）	嘗て市立病院が東松戸へ移転計画あった時、また現地立替案がでた時、本郷谷現市長は忘れていない筈ですが、示された建設経費は実際の費用をはるかに下回る金額。土地確保計画も同様でした。しかし市立病院立替問題は市議会で審議され、一般市民傍聴の特別委員会が設けられ、私も欠かさず傍聴しました。ところがこの計画は市議会で充分審議されていません。コロナ禍でまず議員発言時間が制限されています。さらに特別委員会も設けられていません。なぜ、一部の非公開ワークショップを引き合いに、この計画がパブコメにでたのですか？ 感染症流行続き市民は収入を絶たれたり、不足事態に追い込まれたりしている最中です。市民どころか市議会無視の計画を提示するのは、今ではない筈で、市民不在、充分な説明—情報の公開をしない計画の推進自体を、辞めるべきです。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。 なお、コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。これからも、段階的な事業ごとに市民・議会のご意見をいただきながら丁寧に計画を進めてまいります。
64	事業凍結（延期）	計画について商業新聞で初めて知りました。びっくりしました。このような多額の税金を使う問題はじっくり市民説明会やアンケートなどで市民と共に計画し、策定していくのが常識ではないですか。 まして今、コロナでなすべきことが山積しているはずで、開発を強行するという姿勢を見直す必要を感じます。一時凍結し、市民と共にじっくり考えていくべきだと思います。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。 コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
65	事業凍結（延期）	朝日新聞で「新拠点ゾーン」の計画が出ていましたが、何の事だかわかりません。もっと説明をきちんとしてもらわないと納得できません。それよりも、もっと学校整備や保育園の事、コロナで困っている人達の事をやるのが先ではないでしょうか？ 市民の生活、命に関する事を優先にやっていただきたいし、市民にも、わかるようにていねいに説明をお願いします。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。 コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
66	事業凍結（延期）	町の商店がコロナ禍で、閉店する店が多くあります。 みんなの為に使う税金です。こういう時こそ、援助が必要な人たちに支給する。大開発の前にやるべき事をやってください。	コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。
67	事業凍結（延期）	「これまでの検討を踏まえ、アフターコロナの社会にむけ、今後もMATSUDOING2050などの取り組みを行いつつ慎重に進める。」とある。 コロナの社会の中で、どのように慎重に進めるのか？ 慎重は言葉だけなのか？ 計画を一旦停止し、コロナ社会の中での事業計画のあり方を見直す必要がある。市議会で議員からの質問に対して、行政は見直し不要と回答していたと思うが、再度見直しを前提とした検討が必要である。	本計画(案)第4章(p.59)にお示ししているとおり、新型コロナウイルス感染症などの未知の問題については、現時点で回答の道筋を本計画に反映させることは困難であるため、可変性を持ち、変化に応じて対応可能な柔軟なまちづくりを行うことや、すべてを施設で埋め尽くすのではなく、都市の中の(余白)オープンスペースが価値を生み、柔軟性、可変性につながるという考えを取り入れ、長い時間軸における人々のライフスタイルやワークスタイルの変化に柔軟な対応ができるような計画(案)としております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。 なお、コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。これからも、段階的な事業ごとに市民・議会のご意見をいただきながら丁寧に計画を進めてまいります。
68	事業凍結（延期）	コロナ禍などで市財政が今後ますます厳しくなることが予想され、予算執行上もこれまで以上に優先順位が重要となります。現在、松戸市の負債総額はかなりの額で、また市の緊急課題は庁舎建て替えの他、クリーンセンターの建て替えもあります。この状況下で「計画を見直し」要請のある新松戸駅東口の市の整理事業に多額の支出は無駄遣い以外のものでもありません。予算執行の見直しをすべきではないでしょうか。	他事業については、本計画(案)の内容に関するご意見ではございませんので、回答を控えさせていただきますが、コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。これからも、段階的な事業ごとに市民・議会のご意見をいただきながら丁寧に計画を進めてまいります。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
69	事業凍結（延期）	この度市庁舎移転建て替えを含む基本計画を知り、驚いています。この計画は市民に十分に説明したのでしょうか？議会で議論を重ねたのでしょうか？どちらも疑問です！今新型コロナウイルスで市民が幾重にも困難に直面しているときに急いで進めることなのでしょうか！多額の税金は今困窮しているコロナ対策に使うべきです。建て替えや再開発についてはもっと時間をかけ議論すべきと考えます。松戸市に住んで50年近くなります。愛する松戸市、この街この市民をしっかり支える市政を行ってください。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 また、新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところで、 コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。これからも、段階的な事業ごとに市民・議会のご意見をいただきながら丁寧に計画を進めてまいります。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
70	事業凍結（延期）	昨今は、コロナでなすべき事が山積みしているはずですが、もっと必要な事に取り組んでください。 また、コロナは人間による自然破壊が原因とされていますが、松戸でも矢切耕地や相模台の緑、新松戸の農園などを壊し、開発を強行するという姿勢を見直す必要を感じます。 先ず、この問題を一時凍結し、計画を市民と共に考えるべきだと思っています。	コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
71	事業凍結（延期）	基本的に認められません。税金が見通せない現状において、また、こんなに曖昧な計画では判断できないからです。判断するには判断できる材料を用意してください。また、議会の合意を取り付けてください。今は庁舎建て替えを優先すべきです。庁舎建て替えについて全く触れられていないのはなぜですか？ 新拠点ゾーンの整備よりも、庁舎とクリーンセンターの建て替えを優先させるべきであると考えます。市議会とのコミュニケーションが全く不足していること。各大型事業のロードマップが見えなさ過ぎ、市民への説明があまりにも不十分であること。よってパブコメ以前の問題であり、該当箇所への指摘はありません。 10月15日広報まつどの意見募集の記事は、小さく非常に地味で、絵も図も全く無く、市民に伝える気があるとは到底感じられませんでした。「新拠点ゾーン」は松戸市のシンボルを創ろうという計画であり、特集号を発行しても良いくらいです。もし「支所等に資料を置いてある」とでも言うなら説明責任を果たしているとは言えません。さらに、市は誰にでも分かるような文言を用いるなど、懇切丁寧な説明の努力をすべきです。よって、このパブコメは一度取下げ再考すべきだと思います。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところで、 コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
72	事業凍結（延期）	ウィズ/アフター・コロナ社会を見据えた都市づくりという大きな目標を掲げるのであれば、まだ感染が日々拡大し、コロナ禍で多くの市民が苦しみ、今をどう乗り越えるかと苦慮している時、性急に決めるべきではないと思います。 コロナ禍であぶりだされた様々な課題をどう解決していくかを抜きにして都市計画は成り立ちません。今、この計画で一石が投げかけられたととらえて、勉強していこうと思います。様々な世代の市民の声が反映され、議会による十分な議論がなされることを望みます。今回のパブリックコメントで、市民の声を聞いたという形式的な終わらせ方をしないでください。	新型コロナウイルス感染症の実態はまだまだ未知の部分が多く、今後どのように克服していけるか、共存していくことになるのかなどにより、社会のあり方が大きく変化していくことが想定されます。 国においても新型コロナウイルス危機を踏まえた新しいまちづくりの方向性の検討が始まりましたが、アフターコロナの社会で選ばれるまちづくりを行うため、今後も続く「MATSUDOING 2050」などの取り組みを通じ、変化を受け入れ慎重に事業を進めていきます。
73	事業凍結（延期）	このコロナ禍の中、市民はまずはコロナ対策第一です。税金投入はまず、市民の命を第一に	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところで、 現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
74	事業凍結（延期）	松戸市は「新拠点ゾーン整備基本計画(案)」に当初含まれていなかった市庁舎の移転建て替え計画を持ち込み、充分な説明や議論のないまま、10月13日に突然「松戸市役所移転に182億円」と新聞報道され、驚いています。 新庁舎の検討にあたっては、アンケートや市民説明会などを繰り返して市民と共に計画策定していく姿勢が多くの自治体に共通していると聞きます。このような多額の税金を使う問題が唐突に出されわずか1か月足らずの期間で市民からの意見を募集し、これで市民の意見を聞いたことにするのはあまりにも市民参加が不十分です。 新型コロナウイルス感染症で市民生活が困難に陥っている時に大きな財政負担が生じないという保証のない「新拠点ゾーン整備基本計画(案)」については一時凍結し、計画を市民と共に考えるべきだと思います。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところで、 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。 コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
75	事業凍結（延期）	新拠点ゾーン整備で新庁舎を建てる場合の想定額は、301億円+商業・業務・文化機能の整備費となっており、想定される財源は約162億円、想定される事業効果(30年間)が約114億円(民間開発想定効果分は含まれない)です。費用対効果が小さいです。新庁舎建設の想定額と現地建て替えの想定額を比較した資料を示していただきたいと思います。 次に、コロナ禍のために市も税収減が見込まれます。市が計画中の大型事業には、六高台のクリーンセンター建て替え、市役所の建て替え、新松戸の区画整理事業があると聞いています。ごみの焼却は他の都市に委託していますが、クリーンセンターの建て替えが遅れば遅れるほど、貴重な税収が他の都市に流出することになります。市民にとって最優先はクリーンセンターの建て替えで、次に市役所の建て替えです。優先度が低いと思われるのが新松戸の区画整理事業です。税金を使って約105億円で建てたマンションを業者に約92億円で売却し、その効果は30年で約38億円と見込まれています。これも費用対効果が低く、見直すべきだと考えます。税金を大切に使うよう切望します。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところで、 現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
76	事業凍結（延期）	事業そのものを見直して下さい。これ以上松戸市の借金をふやすことは次の世代にツケを残すことになり、ますます松戸市の人気がなくなりそうです。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところで、 現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
77	事業凍結（延期）	税金を使うなら未来をたくすこともたちへ、今まで松戸市の為に頑張ってきた高齢者の方へ、そして働きざかりの人々に。税金を使うことを望みます。	現庁舎は、施設そのものや基幹設備の老朽化や耐震性の不足により、市民の皆さまや職員等の生命を脅かすだけでなく、災害対応拠点としての機能が果たせない状況となっています。これらを整備し、大規模災害などに備えることが子どもから高齢者、障がいのある方などを含めた全ての人が安全・安心に暮らせることにつながるものであると考えております。
78	事業凍結（延期）	高齢化にともない、コミュニティバスをの声は、地域に住んでいる人にとっては大きな問題です。「市民の小さい声に耳を傾けていますか」お金がないと言いながら税金の使い方を間違えていませんか？もう一度、松戸に「すぐやる課」が出来た時の市民目線に戻ってほしい。これからの世代に、借金を負わせることのないように・・・！！	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われま。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
79	事業凍結（延期）	市民が住んで良かった街にする為には、市民の小さな声に耳を傾ける事ではないでしょうか？何故、コロナ禍で市民が苦しんでいる時に提案するのでしょ。今、やるべき事は、市民が安心して暮らせようコロナ対策、防災対策に力を入れる時ではないでしょうか。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われま。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
80	事業凍結（延期）	箱ものづくりに税金をはやめて下さい。人々の暮らしに税金を使って下さい。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われま。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
81	事業凍結（延期）	税金の使い方が間違っています。市民が納得するまで、今の計画は凍結すべきです。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われま。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
82	事業凍結（延期）	こんな重要な問題を広報(10/15付)の片すみでパブリックコメント、意見募集。どれだけの市民に伝わるのですか。議会でも十分議論されたのですか。その状況は、何も市民に知らされていません。情報がいてないに公開されないで市民は意見のいいようがありません。市庁舎の移転も賛否があるはずで、メリット・デメリット説明がありません。全市民に例えば町会単位の説明会を開いてから、パブリックコメントを求めるならわかりますがそれもあります。市民不在の街づくり反対です。基本計画(案)そのものの凍結を求めます。莫大な事業費どうするのですか？今なすべきこと、コロナ感染拡大から市民の暮らしを守ることです。大切な税金は検査拡大や医療関係者や機関への支援に使ってください。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われま。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
83	事業凍結（延期）	「新拠点ゾーン整備基本計画」案の作り直しを求める。この計画案のままでは、夢は持たせられるが、夢で終わりそうである。市庁舎問題で議論が百出し、実現したとしても、完成まで何十年もかかりそうでもある。今回の計画案は撤回し、作り直しをして、市民に分かりやすい、実現性のある計画を示してほしい。パブコメも型通りに済ますのではなく、まず全地域で、新拠点ゾーンについての誰でも参加できる説明会を開いてほしい。市庁舎や図書館は関係者だけで作って良いものではない。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われま。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
84	事業凍結（延期）	感染症対策が重要なのは当然ですが、特定の狭い地域を対象とする土地整備計画と結び付けるのは無理があります。現状、ゴミ集積所が新型コロナのヒトモノ伝染源になり得るとの私の指摘に対して、松戸市は対策を取っていないものと思われま。感染症対策においては全市を対象とする効果的な施策に限られた税金を有効に配分すべきです。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われま。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
85	災害対応	最近のニュースでは他の市町村での災害に対する備えをよく目にするが松戸市はどのような取り組みをしているのか？ 坂川沿いに住むものとして非常に恐怖を感じる 市役所に依頼しても、川の中に伸びる枝すら剪定には来てくれない 川の底の汚泥を取り除く作業は見たことが無い 大雨が降ればすぐに水面は上昇し、汚れた水にゴミが絡みついて流れている この状況を役所の方はご存知でしょうか？ 本町地区では松戸神社をホテルのためのジオトープなどとPRしているがその前にやるべきことは有ると思う 災害が起こる前に手を付けていただきたい	近年風水害など大規模災害が各地で発生しています。 災害発生時に自らの命を守るには災害リスクを事前に知ることが防災の第一歩であると考えております。そのため本市では浸水想定区域の公表や避難場所の周知を通じて、災害発生時には迅速な避難が可能となるよう図っており、本計画(案)では、新拠点ゾーンに、大規模地震や洪水発生時の災害対応を担う防災の中核拠点となる災害対策機能の構築を目指しています。 いただいたご意見につきましては、各関係機関と情報共有させていただきます。
86	災害対応	「新拠点ゾーンは、地盤の安定した洪積層であり、下総台地の高台に位置しているため、大規模な地震や洪水発生時にも、災害対応が可能で業務の継続性も十分に備えることが可能です。」とあります。高台は洪水に対しては有利ですが、高台の法肩部(法面の上端部)は地震動が増幅される場合があります被害の起こりやすい場所ということを前提に油断することなく危機管理を行ってください。	いただいたご意見を踏まえ適正な施設配置を計画してまいります。
87	災害対応	「その中心にある公園の広場が大規模災害時の帰宅困難者一時避難場所のほか、応援団体の受け入れ機能となるなど、・・・」とあります。大地震の際にはトイレ不足という問題が必ず生じますので、公園広場に下水道直結型のマンホールトイレの設置の検討をお願いします。	マンホールトイレの設置につきましては、本市におきましても大規模災害時などに備えて、市内収容避難所への設置を進めており、また、国においても当該事業を推奨していることを承知しております。 こうしたことから、公園の施設計画においては、いただいたご意見を踏まえ検討してまいります。
88	災害対応	安心安全な暮らしー地球温暖化による甚大な被害がいつどこで発生しても可笑しくない今、計画案前提に災害に対する政策が「見える化」されて然るべきです。これらゾーン計画の防災上の安全安心性はどこを見れば理解できるのでしょうか？ 市民はここだけの記載で判断できるのでしょうか？ゾーンで安全性に問題ある場合、その解決策が同時に言及されれば、賛否はともかく提起する側の誠実さを多少は感じます。しかし文中の安全文章だけで市民は生命、財産を託して問題はないのでしょうか？ 市役所の移転先もどのような地盤で安心安全なのでしょうか？こうした安全性の説明は該当地域市民だけではなく、公舎利用の全市民に必要な筈ですが、今回のこの計画で知った次第です。	本計画（案）第2章（p.45）にお示ししているとおり、新拠点ゾーンである相模台地は、下総台地という安定した洪積層で構成されている高台となっている点や緊急輸送道路である国道6号からのアクセスが良好に確保され、救援物資の輸送も容易に受け入れられる等、大雨による洪水や大規模な地震発生時にも、災害対応拠点として相応しい場所と考えております。
89	災害対応	構想が大きすぎて、新拠点ゾーンの構想がぼやけて見える。 市役所を始め公共施設をここに集約する、という構想を明示していただきたい。人口減、コロナ禍を含め災害対策を考えれば緊急性が高いことを明示していただきたい。漠然と夢を語っている時ではないでしょう。	現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
90	災害対応	3つのゾーンはそれなりに理解できる。 その上で、時間と財源を考えれば、南側ゾーンの整備が急がれることを明示したい。20年後30年後の構想は若い市民が参加して自分たちの街づくりをじっくり練ったらよいと思う。 災害に対する復元力という視点が入ったのはよい。しかし、東海原発の事故や、東京からの災害避難民受け入れという問題もあるのでは？	ご指摘のとおり、新拠点ゾーン南側の「支える場」の整備のために、第1段階としての土地区画整理事業と、第2段階としての災害対応機能としての市役所機能の再編整備をお示しし、北側「試みの場」については、第3段階として今後の検討として整理いたしました。 災害対応機能につきましては、さまざまな視点での検討が必要なことを認識し、検討してまいります。
91	災害対応	江戸川、坂川の氾濫があった場合を想定して”氾濫想定区域に居住している人、今後住もうとしている人には、事前に情報を共有しておき、承知の上で住んでもらう。その場合、緊急時を想定して町会を中心とした具体的な被害対象者の情報連絡体制、受け入れ側の態勢を整備し居住者に理解してもらおう”ことなどが判るような言葉を入れておくのは如何であろうか。	河川氾濫時を想定した事前の情報共有や、様々な緊急時対応に関する内容を理解してもらうなど、具体的な取り組みに関するご意見については、本計画（案）ではなく、「松戸市地域防災計画」に記載する内容となりますので、関係部署と情報共有させていただきます。
92	災害対応	災害などにより、大きな力、支えになるのは各地域だと思われる。 各地域にある市民センター、図書館、学校などの施設を充実させてほしい。暮らしの安全・安心を支える機能は分散させた方が合理的だと思う。	現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 各地域の公共施設及び災害対応についても、本市の大きな課題の一つであることから、各担当課と情報共有を図ってまいります。
93	災害対応	新拠点ゾーンの整備は、脆弱な松戸市の防災拠点の改善に寄与するものと思います。なによりも発災時に市役所来訪者や職員の方々の命に関わることで早急に進めていくべきだと思います。そして、市民が松戸っていいねと思える空間になることを希望します。	現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
94	災害対応	この文章の意図するものが何なのか、もっと具体的に書くべき。災害が起きた時に 50万人近くいる市民に対し防災拠点を一箇所にだけ置くのか、または3箇所ぐらいに分けてそれぞれ機能を持たすのか、そういう計画さえないように感じる。 しかも江戸川が堤防決壊氾濫した時には市役所の足元まで水害に見舞われる。とはいっても一応道路による運搬経路は整っており3日も経てば冠水部分の水はほぼなくなり 自衛隊による道路整備で交通は復旧する。要するに大災害でも1週間耐えうる手配、段取りができれば良い。別に200億の新市庁舎を建てる事とは関係がない。	現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。 このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
95	災害対応	<p>市ホームページ記載の「新拠点ゾーン整備基本計画(案)」(以下、「案」)74ページに、市役所本館・新館が「大規模地震の際は倒壊の危険性」とあり、補修または建て替えが必要なのは理解できるが、なぜそれを新拠点ゾーン整備と結合して「移転建て替え」となるのが不明である。同じ74ページに「江戸川が氾濫した場合・・・現在の市庁舎付近も浸水し・・・災害対応拠点としての役割を十分に果たせない」とあり、50ページには「新拠点ゾーン南側は・・・国道6号に近接しているため・・・非常時の災害対応や、復旧・復興の拠点とする」とされているが、江戸川が氾濫すれば国道6号もあちこちで寸断されるのであり、「江戸川が氾濫」という端的な想定だけで「移転建て替え」が必然とはならないのではないかと。市民からは「現地建て替え」案も提案されており、上記の事情も含め、市役所補修・建て替えの選択肢を費用対効果の視点も入れてすべての議論の土俵に載せて、市民に十分な情報提供をしながら検討を進めるべきと考える。以上の点から今回の「案」をそのまま進めることには反対である。</p>	<p>現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
96	災害対応	<p>「素案」では、現在地は水害の時被害を受けるのでと移転の理由に教えているが、松戸市内に住む住民に大変失礼で不安を与える考え方である。勿論市庁舎の役割は水害によって損なわれてはならないが、駅周辺より高地にある市庁舎を優先する考え方ではなく、住民の水害対策を念頭に置き、あまねく水害をのがれる方を、まず考えていくのが役所の考え方であろう。市庁舎移転の理由の一つに「水害」を使うのは役所の見識が疑われる。役所の下に住まう住民の不安をおおるものだ。</p>	<p>本計画（案）第2章（p.44）にお示ししているとおり、平成27年度に水防法が改正され浸水想定区域の指定の前提となる降雨を、従来の計画規模の降雨に、想定しうる最大規模の降雨（想定最大規模降雨）を追加しました。この想定最大規模降雨により江戸川が氾濫した場合、計画規模に比べ浸水想定区域が拡大し、松戸駅東口付近の水深でみても計画規模で0センチメートルから50センチメートル未満であったものが、3メートルから5メートルと見込まれております。こうした状況の変化と、令和元年台風19号の際、江戸川の水位が既往最大レベルまで上昇した経緯などを踏まえ、本市としては、水害に対する取り組みを図っています。</p>
97	災害対応	<p>松戸市の30年後の全体像が示されていない。市は松戸市全体をどのようにしようと考えているのか。そこを示してから、何年にこれをこのようにする計画で、その内のこの部分を今回の新拠点ゾーンにしましたならまだわかる。松戸市の30年後の姿としてはお粗末ではないか。市の全体像が見えてこない。松戸市は松戸駅周辺だけではない。市が募集したワークショップは松戸駅周辺に限定していた。参加したが、これで松戸市の30年後を語ったとするのか、初めから、駅前市長の駅前開発のために利用されている感が強くしたワークショップであった。松戸駅前に限定してそれ以外の意見は削除されていた。今、早急に進めるべきは駅前開発ではなく、災害(コロナ感染症なども含む)にどのように対応していくのか。対策対応の方策・拠点をどうしていくのか。松戸市はご指摘の通り水害に弱く坂も多い。東日本震災や全国で毎年のように起きている風水害の対策こそ緊急の課題である。優先順には災害対策だと思ふ。多額の予算を計上しているが、案の災害対策はほんの一部。内容も示されていない。松戸市民の大切な税金を市長の勝手に使ってほしくない。高齢者が多くなり税収の多くはないはずだ。かも疑問だ。市長の一声で、先に計画ありきで、市民の貴重な財産を散財してくれるな。松戸市の貴重な財産は農業もある。日本は食の自給率が低い。世界的な災害で輸入が滞ったらどうするのか。「松戸市民の食は自前で対応できる、市民の口は市長が守る」それ位の気構えのある市長であってほしい。市長は松戸市を開発街に変えるな。市民の生活を第一に考える市長であってほしい。矢切のネギ畑の物流倉庫に開発や新松戸駅前開発がまさに禍根を残す計画が進行しては大変に心配している。</p>	<p>市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」ワークショップにおいては、松戸駅周辺のまちづくりを、松戸市全域を視野に入れつつ、未来を見据えた多角的な視点から幅広く検討することを目的とし実施しております。今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。現在のコロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われまふ。現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
98	災害対応	<p>学校はボロボロ、公立保育所は一般財源化になってからは、施設整備は不十分です。まずはここを災害対策の拠点とする事を考え、もっとお金をかけるべきです。</p>	<p>現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
99	災害対応	<p>特に、災害への対応という視点からも、松戸駅周辺のみを考えた施策ではだめ。地震や異常気象から考えられるあらゆる災害に全市的に対応できる体制を考えるべき、現状の市の災害対策はたいへん貧弱なもの。こういうところにこそ予算をまわすべき。大事なものは私たちの生活する地域の改善こそ必要なのでは。高齢者が多くなるからこそ、そこが大事なのではないだろうか。</p>	<p>現庁舎は、施設そのものや基幹設備の老朽化や耐震性の不足により、市民の皆さまや職員等の生命を脅かすだけでなく、災害対応拠点としての機能が果たせない状況となっています。このため、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
100	災害対応	<p>災害対策を強化すべきですが、特定の狭い地域を対象とする土地整備計画と結び付けるのは無理があります。災害対策においては全市を対象とする効果的な施策に限られた税金を有効に配分するべきです。自然災害の激化と地球温暖化の関係が指摘されています。温暖化を軽減するためにもこれ以上の緑の損失は許されません。本計画における「緑」は人工施設も含む概念になっているようで、緑の利用、すなわち人工施設の建設による生物学的緑の消失を伴う施策が推進され、必ずしも緑を増やすという思想が明確にはなっていないようです。現に、松戸市では矢切耕地を潰して物流倉庫にする計画、新松戸駅東口の市民農園を潰す区画整理事業が進められていますが、本計画も同様の思想に基づいているものと推測されます。本市におけるあらゆる計画には、自然災害対策の観点からも、生物学的緑を増やすという絶対的前提を設定するべきです。現状、防災無線さえ満足に聞き取れない状況が放置されています。また満足な台風・大雨対策のものはありません。繰り返しますが、災害対策においては全市を対象とする効果的な施策に限られた税金を有効に配分するべきです。市役所が災害時の司令塔となるべきは当然ですが、司令塔が指揮する防災対策の現状が上記の通りですから、司令塔たる市役所の現地建て替えなし移転によって十分な防災対策が可能になるのか、根本的な疑問があります。現在の市役所周辺が水没する可能性が指摘されていますが、そうなれば移転などの対策が取られた市役所が司令塔として無事でも、現在の市役所周辺の住宅は水没から免れません。皮肉ですが、満足な司令塔役が果たせないのなら、現地建て替え費や移転費を災害補償費に回した方がよい、という考え方もできます。松戸市役所は全力を挙げて自然災害対策を策定し、その中で市役所の現地建て替えや移転を位置付けた計画を作り直してください。</p>	<p>現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
101	施設内容	<p>『新拠点ゾーン内の施設に関して』 今回整備予定なのは、市役所新庁舎、図書館本館、市民会館となっております。私はこれについては賛成です。私は市内の中学に通い、市庁舎や市民会館を利用する機会がありました。それらはかなりの損傷があり、老朽化している印象を受けました。とりわけ、耐震基準を満たしていない市庁舎などは早急に建て替えるべきだと考えます。また、具体的には施設を環状に整備し、ルーフ付の道を整備して繋げるといったような計画だと把握しております。現代的な施設であることが伺えますが、分散されている分、移動が不便であり、移動されるの合理的な配置をするべきであります。もともと限られた再開発エリアですから、効果的な施設配置が求められるのではないのでしょうか。</p> <p>ここからは具体的な要望ですが、一番重視したいのは図書館です。存じ上げているかもしれませんが、松戸駅周辺の若者は学習できるスペースが少なく、葛飾区の金町駅近くにある図書館を利用する方が非常に多いです。そちらでは、都内でも随一の自習スペースを保有し、会館時間もかなり長く、評価されています。従って葛飾区その図書館からアイデアをもらいつつ、松戸にすむ日本人や外国人が知識をシェアできるようなカフェ併設のコミュニティスペースなどを整備することで、他の図書館と差別化を図ることができます。</p> <p>また、もう一点期待したいのはサテライトオフィスです。今回のパンデミックに学び、新たな労働形態が求められており、松戸市も率先して取り組むべきだと考えます。しかし、どれほどの人が新たな労働形態に移るのかは予測しづらいのも事実です。そこで、松戸市ではコンテンツ産業や外国人アーティストの存在を活かすことができます。日本のコンテンツ産業は現在の『鬼滅の刃』の流行が示すように、日本経済において重要な位置付けになることは間違えず、より多くの人々を引きつけことが予想されます。従って、松戸市はコンテンツ産業に携わる人が活躍できる場を提供することで、都心近くに住む国籍を問わない様々な人々が松戸に集まり、仮に一般的なサテライトオフィス需要が下がっても、彼らがここを常に利用することで、市の収益も確保できると考えます。そして、それが新拠点ゾーンのメインの一部として展開されればつまり、高層階にオフィス整備するのではなく、人の目に届く地階にオフィスを整備することで、)他の市民が松戸に訪れた際必ず目に入り、そうした新たな松戸のスタイルに魅力を感じるのではないのでしょうか。</p> <p>改めて、松戸市が本腰になって再開発に乗り出したことはとても評価しております。しかし駅前では、東、西口を問わず、虫食い開発が止まっておりません。この点に関しては私は不勉強でして、あくまで1市民の意見として受け止めていただきたいのですが、東口を大きく変革させたいのに、高層マンションでもない中途半端なマンションが完成してしまえば、景観も悪化し、再開発は難航すると予想されますので、都市再生緊急整備地域指定の予定も加味した上で、大規模開発以外は認めないような規制を早急にかけるべきだと思います。</p> <p>今や同じ位置づけにあった川崎駅や川口駅は大きく変革しました。川崎駅ではストリートピアノが置かれ、文化的にも高い水準になりつつあります。しかし、同じポテンシャルをもつ松戸市も変わることができると信じております。もちろん、松戸駅前は市街地面積が狭く街の開発に限界があるかもしれませんが、その分高層ビルを建てることは合理的開発となり、またその高層ビルが人を魅了することだってあります。</p> <p>話にまとまりがなくお恥ずかしいばかりですが、若者や他のファミリー層の市民にとって、ソフト面の開発も重要ですが、ハード面の開発はより重要な要素になります。まずはハード面の開発、それに付随してソフト面のアプローチを行うというのが良いのではないのでしょうか。西口や江戸川を含んだ意見などまだまだ申し上げたい話がありますが、まとまりそうにないので私の意見は以上とさせていただきます。</p> <p>松戸駅は松戸市の顔であり千葉県玄関口です。仮に新駅ビルに南口が整備されれば、人の流れも大きく変わるでしょう。今後も松戸市を応援してまいります。</p>	<p>新拠点ゾーンにおける図書館機能の整備につきましては、「松戸市立図書館整備計画」及び「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を踏まえ、新たな機能の実現に向け取り組んでまいります。</p> <p>また、本計画にも記載されておりますサテライトオフィスについても、検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見を参考にし、市民の皆さまとともに新拠点ゾーンのみならず松戸駅周辺全体のまちづくりに生かしていけるよう努めてまいります。</p>
102	施設内容	<p>去年鳥取へ行ったとき、「なしっこ館」という梨のミュージアムに行きました。梨に関する歴史や知識、ルーツなどのクイズラリーがあったり、梨の食べ比べといった体験型に楽しむことができ、作りが堅苦しくなく、おしゃべり楽しいテーマパークのような施設がありました。</p> <p>松戸は二十世紀梨の発祥の土地でもありますし、松戸にも同じように楽しい梨のミュージアムがあったらいいのと思いました。(松戸市立博物館にも二十世紀梨の誕生の歴史は展示されているようですが)ぜひ作って松戸の観光名所のひとつになってほしいです。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
103	施設内容	<p>多様なライフスタイルを支えるための機能を果たす「試みの場」には、図書館、美術館、ホールを作ろうとしているように感じられます。施設を選ぶ時は「第2章新拠点ゾーンに求められる機能」と「第3章新拠点における空間形成」の議論がどのように生かされて、どのような判断基準でこれらの施設に絞り込まれるのかを明確に示してもらいたい。個人的には美術館より観覧車、展望台付きタワー、水族館、植物園のような娯楽施設の方が魅力的です。</p>	<p>本市が実施した「MATSUDOING 2050」ワークショップにおいても、参加者がイメージする多様な暮らしを充実させる機能は様々であり、それらを一括りにすることはできません「商業・業務・文化機能」の整備については、松戸駅周辺で老朽化や耐震の課題を抱え更新時期を迎えている図書館機能、ホール機能や美術ギャラリー機能などを検討しておりますが、民間事業者の資金力やノウハウを活用した多様なサービス機能の導入を目指しているところです。</p> <p>導入する機能については、今後策定予定の「(仮称)松戸市文化複合施設再編整備基本構想」の中で、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。</p>
104	施設内容	<p>整備計画にはぜひとも小学生児童の安心・安全のための施策を取り入れてください。具体的には、相模台小学校から安全に移動し得る範囲に(例えば、中央公園内)、最低250人を想定した放課後児童クラブ施設整備を強く要望します。</p> <p>また、これに児童館等が併設されれば、より多くの児童が安全かつ自主的に放課後を過ごすことができると考えます。</p> <p>加えて、今回の整備計画にて提示される道路計画について、相模台小学校付近の交通量の増加が予想されます。当該地域は小学校、中学校の通学路にもなっていますので、慎重な検討を重ねてください。特に相模台の丘に西側から上る一側通行道路は見通しが悪く、往来道路に変更されると、危険性が増すことは明らかです。</p> <p>▶地域の子どもの安全な環境づくりとして小学児童の健全育成が果たされるように施設整備を同時に(あるいは先行して)進めてほしい。</p> <p>1)児童クラブの施設確保(250人規模) 2)児童館等子どもが安全かつ自主的に過ごせる施設整備 3)相模台の丘に上る片面通行道路の往来道路化の慎重な検討</p>	<p>施設が分散していることによる運営の負担や学校からの移動時における児童の安全性に課題があり、今後の児童数の増加見込を考慮すると、相模台小学校の近くに新たな大規模施設が必要となることと認識しておりますが、商業・業務・文化機能については、テーマに応じた「シンポジウム」や「ワークショップ」などの取り組みを実施してまいりたいと考えております。</p> <p>また、ご指摘いただいた点を踏まえて、通園・通学する児童生徒を始めとした歩行者の交通安全対策を行い、道路整備による安全な歩行者空間の確保を慎重に検討してまいります。</p>
105	施設内容	<p>戸定邸の手前に整備された駐車場について、その稼働率を鑑み一部スペースの有効活用化を検討していただきますように。同駐車場の利用は平日にはほとんどないと見受けられます。感染症拡大期以前の土曜日、日曜日でも、目視での感覚的な見積りにはなりますが5割程度といったところではないのでしょうか。瞬間的な需要や将来の見込みがあるゆえのことは思いますが、それがあのように広大な空間を確保する理由となるのか。半分でもほかの事業に有効活用できないか。ご検討いただきたいと願います。</p> <p>交通計画について、人と車の流れが大きく変わることと思います。気付くところでは、東京外環自動車道の松戸インターが開設したことにより、相模台の丘を下った道路から千葉大学に続く道、戸定邸手前の十字路で、時間帯により渋滞が発生しています。その一因は信号機の通行許可時間の偏りにあると考えられます。交通計画については、道路の整備のほか、信号機の調整等、総合的に勘案いただきますようお願いいたします。</p> <p>▶戸定邸駐車場の有効活用 ▶戸定邸駐車場の十字路信号機の調整等、総合的交通計画の策定</p>	<p>戸定が丘歴史公園の駐車場につきましては、時期によっては空いていることも多いことから、有効活用について可能性を検討してまいります。</p> <p>なお、ご指摘の「戸定邸手前の十字路で時間帯により渋滞が発生している」につきましては、適宜、状況把握に努めてまいりたいと考えております。</p>
106	施設内容	<p>「図書館」を改めて設置の考えがあるが、従来の「蔵書」重視の考えだけでなく、新しい機能役割を充分検討し取り入れて欲しい。</p>	<p>新拠点ゾーンにおける図書館機能の整備につきましては、「松戸市立図書館整備計画」及び「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を踏まえ、新たな機能の実現に向け取り組んでまいります。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
107	施設内容	<p>松戸として特徴となる/松戸にはあれがあるとされるような場(モノ)を意識して計画すべきだ、具体化するとおしなべてあれもこれもになり松戸の特徴的な場(モノ)が無い・埋もれてしまう状態になってしまう心配がある。そこで、新拠点ゾーンの3つの機能(資料のP34)にそれぞれシンボリックなモノを実現するよう計画すべき。</p> <p>「緑を豊かに生かす機能」＝「深く豊かな林」を設置する。あちこちに小さい緑や芝生などではなく、「松戸には林がある」といわれるような。</p> <p>「多様な暮らしを充実させる機能」＝働く場所としてテレワーキングやコワーキングのための施設。(レンタルファクトリー?)</p>	<p>本市が実施した「MATSUDOING 2050」ワークショップにおいても、参加者がイメージする多様な暮らしを充実させる機能は様々であり、それらを一括りにすることはできません。</p> <p>そのため、「可変性(変化に応じて対応可能な柔軟なまちづくり)」や「余白(都市の中のオープンスペースが価値を生み、柔軟性、可変性につながる)」の考え方を踏まえ、段階的に市民のご意見をいただきながら、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
108	施設内容	<p>『新拠点ゾーン整備基本計画(案)【概要版】』のp1における松戸の歴史を継承するという観点から、受け継いだ歴史性ととも現在の建物や地形、残っている空間も活用できればよいと思う。例えば、松戸中央公園内にある舞台のようなところを活用して音楽堂のようにしたり、相模台公園の広場はにすり鉢状になっており、その斜面をホールの客席の角度などに応用できるのではないかと考える。このように、現在の地形を活かしたり、現在も残る空間を建築空間に落とし込めればよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 松戸中央公園内にある舞台のようなところ：何かの舞台上としても活用できそうである。 相模台公園：このすり鉢状の地形を生かしてイベントなどで活用できそうである。 	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
109	施設内容	<p>建物も歴史(空間)と同じように残していく必要があると考える。</p> <p>例えば、現在のイトーヨーカ堂の建物はコンバージョンして活用できるのではないかと考える。実際に旧伊勢丹の建物は現在にも活用されている。このことから歴史を残していることになっていると考えられる。</p> <p>また、この建物が駅からの軸と垂直に交差するが、建物をくり抜いてシンボル軸を通して動線を確保する。くり抜いたところにカフェなどが出店のように展開して、机やテーブルが外に設けられ賑わいを作り出してくれるのではないかと考える。また、この建物の一部を役所の機能を持つ複合施設として活用することもできるようにする。(一部新拠点側に増築する。)</p> <p>松戸駅側：シンボル軸と既存建物(イトーヨーカ堂)の関係 既存建物をくり抜き、半外部空間にして賑わいを作り出す。道路の両サイドにカフェや建物の入り口を設ける。</p>	<p>民間建物につきましては、回答を控えさせていただきますが、いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
110	施設内容	<p>『新拠点ゾーン整備基本計画(案)』第1章 図1-3-9より「MATSUDOING2050 3つのゾーン」や「MATSUDOING2050 3つの場」のように波及がみられる。この波及を3つの場の中にも取り入れてみてはどうかと思う。</p> <p>例えば、中央のゾーンであるオープンな場に大きな1つの拠点(シンボリックなものや保育園や図書館といった公共施設)を設け、そこからさらに波及する。</p> <p>その波及が他の場所にも作用できれば、それぞれのゾーンで小さな街のような機能が生まれるのではないかと考える。</p> <p>輪の広がり 輪の広がり：ゾーンの輪とそのゾーンの中に拠点を作り、さらにそこから外へ輪を広げていく。</p>	<p>ご指摘の波及につきましては、3つの場として空間形成をしておりますが、本計画(案)第3章(p.50)に「目的・建物用途・建物内外の場所にとらわれず、誰もが気軽に利用でき空間として、時には複数の場が一体として活用されるなど、日々形を変えながら新拠点ゾーン全体に効率よく展開され、相互に補完し合える空間を取り組みます。」とお示しているところです。</p> <p>今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座(出前講座)等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
111	施設内容	<p>今であればコロナ禍の中で電車に乗るのは危険ですし、今後テレワークが増えると思うので、相模台の森にシェアオフィスなどを設け、電車に乗らずとも働ける環境を作ることは必要となりますね。</p> <p>また、中央公園の周りに飲食店を作ることで、その厨房を中心に炊き出しなどできる場所として活用してもいいのではないかと考えます。</p> <p>そのように地域の拠点となる場所として作ったのが八柱のOne Tableです。</p>	<p>コロナ禍により、これまでのまちづくりの前提としてきた「集約」や「にぎわい」を単純に求めることができなくなり、商業機能や業務機能も、従来のあり方ではないウィズ/アフターコロナの社会に見合った新しいあり方が求められます。また、商業施設に頼ればそこに賑わいが生まれるという従来の考え方では、空洞化などの問題が生じると考えています。</p> <p>こうしたことを踏まえ、民間事業者ヒアリングにより第3段階における施設計画を検討してまいります。</p>
112	施設内容	<p>松戸の図書館の充実が長年の課題である。蔵書の充実が当然だが、維持運営の工夫が求められる。</p> <p>ただ、議事録の中で、上海の図書館での3Dプリンター設置によるインキュベーション機能を例として上げられているが、松戸市のような小さな自治体の図書館にそのような先進的機能を持たせる必要があるのか？</p> <p>そのような専門的で高度内容に応ずる必要はない。金町の駅前図書館に時々行くが、受験勉強室にならないような工夫が必要がある。</p>	<p>これからの図書館機能は、単に資料を収集し提供するだけでなく、地域を支える情報拠点としての視点なども求められています。</p> <p>新拠点ゾーンにおける図書館機能の整備につきましては、「松戸市立図書館整備計画」及び「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を踏まえ、新たな機能の実現に向け取り組んでまいります。</p>
113	施設内容	<p>商業、業務、文化施設が一カ所に集中することは、それぞれの地域に根ざした商店街の特性を失わせ、死活問題にもなります。街の多様性を発展させる方向でご検討をお願いします。</p>	<p>ご指摘のとおり、新拠点ゾーン内だけでなく周辺への波及も重要な検討内容であると考えております。</p> <p>本計画(案)第3章(p.55)に示しているとおり、「新拠点ゾーンと戸定が丘歴史公園周辺、旧松戸宿周辺、江戸川周辺などを、歩行者ネットワークで結び、時代とともに変化し続ける松戸駅周辺地域と調和・連携することで新たな人のつながりや活動が松戸駅周辺全体に波及していく」ことを目指し、今後も検討してまいります。</p>
114	施設内容	<p>松戸市は、美術館構想を東葛地域のなかでも、いち早く持ちながら、半世紀以上にわたって今もって実現をみなかった市町村である。</p> <p>この度の相模台地域を中心とする、総合的な「新拠点ゾーン」構築の構想にあたって、その中に「美術ギャラリー」が含まれていることに、大いに期待する所である。しかも相模台が、美術、デザイン等に関わる東京高等工芸学校所縁に地であることも、意義深い点である。</p> <p>何よりも、すでに美術館として、長年にわたり継続的に保存展示するにふさわしい作品を所蔵している点は、これから美術館を持つと構想する近隣市とはまったく事情が異なる。松戸市の場合は、高額な予算をつかって美術品を所蔵する必要もなく、あとは「宝もの」を入れる箱(施設)と恒常的な運営が必要であろう。この「宝もの」をひろく市民に公開し、年齢を問わずひろく市民に松戸市の共有の文化財として理解され、郷土の誇りをもってもらうためにも、松戸市ならではの美術館は必要である。是非とも、「新拠点ゾーン」に美術館を建設していただきたい。</p>	<p>本計画(案)第6章(p.76)にも記載のとおり、本市では昭和40(1965)年代より美術館構想が存在しましたが、未だ実現を見ない中、本市ゆかりの美術に関する調査研究を行いながら、優れた美術作品・資料を収集してきました。本市のコレクションは全国の美術館から展覧会への出店の依頼を受けるなど、高い評価を得ていますが、常に公開できないことなどが長年の懸案となっており、美術館建設を要望する多くの署名活動が行われるなど、市民ニーズが高いことから、コレクションなどの専用施設を整備することを新たな政策課題としていることは認識しております。</p> <p>美術ギャラリー機能の整備につきましては、今後策定予定の「(仮称)松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
115	施設内容	<p>新拠点ゾーンについてのパブリック・コメントは、今回で何回目でしょうか。2014年度に「松戸駅周辺まちづくり委員会」が発足、2015年度に「基本構想」が策定されました。当時はその取り組み方から、松戸市の本気度を感じ、大きな期待をもって、委員会の傍聴やワークショップへの参加などを続けてまいりました。しかし、後発の巨大プロジェクトに追い越されるような形で、新拠点ゾーンの計画の歩みは遅々として進まないと感じております。</p> <p>以前から、市庁舎の建て替えは、耐震強度の面から、待ったなしの状況と聞き及んでおりました。が、最近、市庁舎の現地建て替え案が浮上していることを耳にし、驚きました。まちづくり委員会での答申で示されたように、現在の相模台公園付近への市庁舎移転建て替え計画を、はっきりと、明示して下さい。</p> <p>いつまでも躊躇して、これ以上、時間を無駄にしないで下さい。</p> <p>相模台の中央公園を挟んで北側には、市民会館や市立図書館などの文化施設を配置して下さい。約50万人の松戸市民のニーズに応え得る、知の拠点、情報の拠点として相応しい図書館の建設を、30年間、待ち続けております。</p> <p>図書館を見ると、その町がわかる、といえます。他市の方から「これが、松戸市の図書館ですか！？」と、驚かれたことが忘れられません。H27年(2015年)に策定された、素晴らしい内容の「松戸市図書館整備計画」に則った図書館の完成を切望致します。</p> <p>JR松戸駅から至近距離の、松戸市にとって、最後に残った緑豊かな「超」一等地に、市庁舎と、市民会館や図書館などの文化施設を建設してください！！計画がスムーズに進められますよう、心からお願い、注視してまいります。</p>	<p>新拠点ゾーンに求められる機能として、北側の試みの場では、図書館機能等々の多様な市民の暮らしを充実させる機能が求められていると認識しており、新拠点ゾーンにおける図書館機能の整備につきましては、「松戸市立図書館整備計画」及び「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を踏まえ、新たな機能の実現に向け取り組んでまいります。</p> <p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
116	施設内容	<p>10月13日の朝日新聞に「松戸駅東口に新庁舎」市が移転建て替え素案とあり、その中に3ゾーンに分けて、北ゾーンには図書館や美術館等の文化施設や商業、業務施設を造る計画とあるのを読み飛び上がりたほど嬉しかった。</p> <p>50万人近い人口の市に相応しい図書館を！！と長年待ちわびている私にとって新しい図書館の建設はぜひやってほしい一番大きな願いだ。</p> <p>だが、基本計画案の第2章を読んでいくうちに、これは図書館だけの問題ではなく松戸市をいかに魅力あるまちにするかが一番大事なことなんだと気がついた。様々な世代の人が住み続けたい、移り住みたいと思うまちになれば、人口が増え、特に小さいお子さんを子育て中の若い世代家族が増えると、活気ある町になり、税収も増えるのではないだろうか。</p> <p>ここ数年、子育てしやすいまち(市)の全国上位に入っているようだがいろんな施設が整備ばもっと中味の充実した子育てしやすい市になる事と思う。</p> <p>駅に近い場所、みどり豊かな、整備された公園に添って「ゆったり読書ができる庭つきの図書館」「他にない訪ねたくなる図書館」「誇れる図書館」これこそ私たちが望んでいる図書館です。</p> <p>併せて市役所はじめ人の集まる文化機能を集約し、便利で且つ楽しめる場所となる。市内外から多くの人交流することのできる新拠点ゾーンを目指すとのこと。とても素晴らしいです。</p> <p>駅に近い図書館や設備の整った図書館…だが駅から遠い等々、近隣市には魅力ある図書館もいろいろありますが、駅に近く、市役所も近くにあり、みどり豊かな公園が目前にあって、近代の備えを持った図書館…と3拍子も揃った図書館は他にありません。</p> <p>また、中央公園が整備されて、各種災害対応を保管する場所として活用される、なんて松戸市民はどんなに安心なことか！！</p> <p>41年前、金沢から松戸に引越すことになった時、「松戸はおはなしキャラバンがある所ね」「すぐやる課があるよね」と言われました。それくらい他市、他県の人に「駅の近くにみどり豊かな素敵な公園があって、その周りに市役所や図書館がある近代的なまちね」と言われたい。</p> <p>新拠点ゾーン整備基本計画(案)の実現大いに期待します。いろんな難関もあるでしょうが、頑張ってください。</p>	<p>新拠点ゾーンにおける図書館機能の整備につきましては、「松戸市立図書館整備計画」及び「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を踏まえ、新たな機能の実現に向け取り組んでまいります。</p>
117	施設内容	<p>新拠点ゾーンとしてはその中に市立図書館の建設を必ずいれること。</p>	<p>「試みの場」における「商業・業務・文化機能」の整備については、行政が設置に関わるべき機能としては、松戸駅周辺で老朽化や耐震の課題を抱え更新時期を迎えている図書館機能、ホール機能や美術ギャラリー機能などを検討しておりますが、民間事業者の資金力やノウハウを活用した多様なサービス機能の導入も目指しているところです。導入する機能については、今後策定予定の「(仮称)松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。</p> <p>なお、新拠点ゾーンにおける図書館機能の整備につきましては、「松戸市立図書館整備計画」及び「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を踏まえ、新たな機能の実現に向け取り組んでまいります。</p>
118	施設内容	<p>市民会館は老朽化で長年市民から地震に強い会館の建て替えが希望されている。松戸市の文化活動の拠点となる良いものを作って欲しい。</p>	<p>「試みの場」における「商業・業務・文化機能」の整備については、行政が設置に関わるべき機能としては、松戸駅周辺で老朽化や耐震の課題を抱え更新時期を迎えている図書館機能、ホール機能や美術ギャラリー機能などを検討しておりますが、民間事業者の資金力やノウハウを活用した多様なサービス機能の導入も目指しているところです。</p> <p>導入する機能については、今後策定予定の「(仮称)松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。</p>
119	施設内容	<p>新拠点地域の広さに対し、機能の集中度が高過ぎではないのか。集約によるデメリットはじゅうぶん検討されたのだろうか。</p>	<p>本計画（案）では、新拠点ゾーンに求められる機能などをお示しておりますが、具体的な施設の配置などにつきましては、今後個別の計画にて段階的に進めてまいりたいと考えております。</p>
120	施設内容	<p>現在の図書館があまりのお粗末です。文化都市松戸にふさわしい図書館を作ってください。</p>	<p>「試みの場」における「商業・業務・文化機能」の整備については、行政が設置に関わるべき機能としては、松戸駅周辺で老朽化や耐震の課題を抱え更新時期を迎えている図書館機能、ホール機能や美術ギャラリー機能などを検討しておりますが、民間事業者の資金力やノウハウを活用した多様なサービス機能の導入も目指しているところです。導入する機能については、今後策定予定の「(仮称)松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。</p> <p>なお、新拠点ゾーンにおける図書館機能の整備につきましては、「松戸市立図書館整備計画」及び「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を踏まえ、新たな機能の実現に向け取り組んでまいります。</p>
121	施設内容	<p>松戸市に美術館準備室ができて二十数年が経ちますが、未だ美術館ができないのは残念でなりません。</p> <p>ですが思えばそれはこの新拠点ゾーンのアートの聖地である相模台の地に美術館をシンボリックに建てるためだったと思えます。松戸市の美術館準備室は二十数年のあいだ沢山の貴重な美術品を収集してきました。たくさんの税金をかけたという事です。市民の税金を無駄にしないためにも、松戸だけでなく日本や世界にも誇れる美術館を相模台の丘に建ててください。多くの市民の熱い思いが詰まっています。この思いは何十年後の松戸の財産になるはずで。</p>	<p>美術ギャラリー機能の整備につきましては、今後策定予定の「(仮称)松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
122	施設内容	まちづくりの中心に「子どもたちの笑顔と希望ある未来」を据え、多様なバックグラウンドをもった子どもや、困難を抱えたこどもも誰一人取り残さないまちづくりをしてほしい。 また、子育てと高齢者の問題を分けて、地域共生の文脈で、子供たちの笑顔や成長に関わることが、地域の高齢者の生きがいや心の支えとなるようなまちづくりをしてほしい。	本計画(案)では、30年後を見据えた街づくりを掲げているため、今後の主役となるであろう、子どもたちに関する政策などと密接に関わってくと認識しております。そのうえで、地域様々な世代の方が集い、憩いとなる空間を新拠点ゾーンに形成できるよう検討してまいります。
123	施設内容	「1. 人々と交流したい！」 新拠点ゾーン(市街地中心)に市民活動や地域活動、文化活動を支援したりコーディネートする拠点を設置してほしい。 第3節「2. 松戸ならではのワーク・ライフ・バランスを実現したい！」 中高生・大学生や、余暇を過ごす大人が自由に学べるコミュニティスペースや自習室等の静かな場所も充実させてほしい。	本計画（案）は、30年後を見据えた街づくりを掲げ、民間事業者、市民、行政などが連携・協働しながら、多様な市民ニーズに応えるために必要なものはなにかを考え決めていくこととしております。
124	施設内容	子育て支援、防災、高齢者支援、障がい者支援のための方向性や具体的な施設の計画にあたっては、MATSUDOINGのワークショップだけでなく、松戸市内のNPO等、当事者団体や支援団体などの意見も含めて十分にヒアリングし、参考にしてほしい。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
125	施設内容	「新拠点ゾーン北側に～様々な機能を有する商業・業務・文化機能を整備します。」とありますが、北側ゾーン内だけに商業・業務・文化機能を入れ込むということでしょうか。 50ページ第3章第2節2の最後の一文の様にも中央ゾーンにも機能が整備される可能性を残すような表現にしたほうが良いと思います。 建物とオープンスペースという様に割り切ってしまうと、建物内の活動とオープンスペースの活動が分断され、活動の可能性が狭められることが危惧されます。建物とオープンスペースが混ざり合った様な案とすると建物内とオープンスペースを横断したような活動も許容され、より多様な活動を受け止められると思います。 そしてそれは広大な緑地残っている新拠点ゾーンでしかできないような案になるのではないのでしょうか。そういった案が今後検討出来る可能性を残しておいたほうが良いと思います。	本計画(案)では、新拠点ゾーンを試みの場(北側)、オープンな場(中央)、支える場(南側)と三つのゾーンに分類しております。本計画（案）第3章(p.50)に「目的・建物用途・建物内外の場所にとられず、誰もが気軽に利用でき空間として、時には複数の場が一体として活用されるなど、日々形を変えながら新拠点ゾーン全体に効率よく展開され、相互に補完し合える空間を取り組みます。」とお示しているところです。 なお、具体的な施設の配置などにつきましては、今後個別の計画にて段階的に進めてまいりたいと考えております。
126	施設内容	P.59の第4章第1節において、「現時点で回答の道筋をたてることができず、本計画に反映させることは難しい」とし、P.12でも「判断をしかねる状態」としてありますが、ライフスタイル・ワークスタイルの変化や東京都心と郊外の関係などについて、アフターコロナの社会では、松戸にとっては望ましい方向に進展していくものと思われまます。 常磐線沿線から都内に入る直前の松戸が勤務目的になることが考えられ、テレワーク、コワーキングといった個人レベルのワークプレイス需要だけではなく、東京都心の大企業本社のサテライトオフィス需要が一気に増加すると想定でき、戦略的に駅周辺再開発での対応を進めるべきです。松戸が今できなければ、需要は柏に流れ、都市間競争に負けていくことになるでしょう。	ウィズコロナ・ポストコロナ時代にあつて、徒歩や自転車で通勤できる都心だけでなく、テレワークが可能な環境下では、反対に十分な緑や田園が広がる50km以遠の郊外や地方都市など、働く場所の選択肢は今後増えることが予想されます。 そのため、その間の都心から15～30km圏の本市が、多くの方に望まれる都市になれるよう検討していく必要があると認識しております。
127	施設内容	サテライトオフィス需要は、駅前の再開発で受け止める計画を、全体計画の中で策定して、アピールしていくことで、需要はさらに大きくなっていくものと考えられます。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
128	施設内容	本計画では、事業スケジュール(案)で第3段階となっている「商業・業務・文化機能の整備(試みの場)」は、今後検討となっていて、つまり計画未定の状況です。しかし、この部分こそが、アフターコロナの社会に向けて、松戸が戦略的に行うまちづくりになるのではないのでしょうか。	コロナ禍により、これまでのまちづくりの前提としてきた「集約」や「にぎわい」を単純に求めることができなくなり、商業機能や業務機能も、従来のあり方ではないウィズ/アフターコロナの社会に見合った新しいあり方が求められます。また、商業施設に頼ればそこに賑わいが生まれるという従来の考え方では、空洞化などの問題が生じると考えています。 こうしたことを踏まえ、民間事業者ヒアリングにより第3段階における施設計画を検討してまいります。
129	施設内容	北側と南側をつなぐゾーンという位置づけで、やや受動的なゾーンかもしれませんが、あえてこのゾーンに行きたいと思えるエリアにしていくと価値もグッと向上するのではないかと思います。このエリアは現在は鬱蒼としているので、自然がありつつも明るいエリアにしつつ、何かちょっとしたイベントをやったり見たりできるようなことがあってもよいかなと思っています。	新拠点ゾーンの中心となるオープンな場については、既存の緑を活かしながら新たに芝生広場などを整備することで、より親しめる空間に再編したいと考えております。 また、このオープンな場と試みの場（北側）や支える場（南側）は垣根を無くし、目的や状況に応じて形を変えることができる空間形成とすることで、新拠点ゾーン全体で持続性のあるにぎわいを創出していきたくと考えております。
130	施設内容	この計画案で、市民からのパブリックコメントを求めるべきではない。新拠点ゾーン整備構想から進んでいない。 新拠点ゾーンについては、構想の時点では、もう少し具体的なビジョンが示されていて、市庁舎や図書館についての建設場所も示されていたが、今回はそれすらなく、何を市民に示しているのか、何を聞きたいのか不明である。松戸市のまちづくりの方向性を示すならば構想で終わっているはずであり、計画の段階で、建物の配置や概要が示されていないのは普通でない。スケジュールも曖昧さを残し、ゾーンの完成が想像できない。予想できない。	「新拠点ゾーン整備基本構想」では、機能のあり方として、「松戸駅周辺の老朽化した文化施設の再編及び庁舎の移転によって、多世代・多様な市民が交流しつつ、多彩な都市活動・市民活動・文化活動を創り出し発信する中心拠点をつくります。」とお示しております。 本計画(案)は、このような上位計画などを踏まえ、新拠点ゾーンの求められる機能や空間形成、整備の考え方及び概算事業費などをお示したものであり、具体的な施設の配置などにつきましては、今後個別の計画にて段階的に進めてまいりたいと考えております。
131	みどり	「積極的に緑を配置する」とありますので、既存の緑を整備するだけでなく、新たに樹木を植える計画があるのだと思います。本計画は30年後の松戸をイメージしていますが、樹木は30年以降も成長し続けます。植樹の難しい例として、家の近くのさくら通りの桜の木が40年経過し大きくなり過ぎたため伐採されるというような悲しい現状があります。 今回の緑の整備は100年以上先を見据えて計画していただきたい。とくに、街路樹やシンボルツリーを植えるならば30年後に伐採するのではなく100年後の姿をイメージして、木の種類や木の配置を検討してください。	松戸中央公園のヒマラヤスギや相模台公園のソメイヨシノ等の大木については、健全な樹木は極力現状のまま保存することで検討しております。 なお、新規に植栽する樹木につきましては、ご指摘のように樹木の将来の大きさ等の特性を踏まえ、適正な配置となるよう検討してまいります。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
132	みどり	「新拠点ゾーンに設置される各施設では、屋上緑化を設けるとともに壁面緑化などを行い、「みどり」の一体感を持たせることで、施設も含めた新拠点ゾーン全体で松戸駅近接の豊かな「みどり」を創出します。」とありますが、建物の側面を緑化すると建築の顔であるファサードのデザインが隠されてしまい、シンボリックな建物とすることがむずかしくなります。また、屋上緑化は屋上に土が盛られるのでトップベビーになり地震に対して不利となります。また、太陽光発電や風車などによる再生可能エネルギーの利用の妨げにもなります。「みどり」ありきで無条件に屋上緑化を導入するのではなく、建物に関しては他のエコなアイデアも検討していただきたい。	壁面緑化や屋上緑化による効果として、都市景観の向上のほか、植物が持つ働きにより建物の壁面温度上昇を抑え、冷却機器の省エネ効果や排熱減少によるヒートアイランド現象抑制効果などがございますが、こうした緑化につきましては、デメリットもございますので、施設整備の際には導入について慎重に検討してまいります。
133	みどり	「オープンな場」というネーミングが曖昧に感じられます。「試みの場」や「支える場」はオープンではないのでしょうか。オープンとは屋根がないという意味が強いならば、「みどりの場」または「緑の広場」の方がわかりやすい。	みどりは「オープンな場の」空間形成のための大切な要素であると認識しております。本計画(案)では、目的や状況に応じて、「オープンな場」が「試みの場」や「支える場」の機能を補完し、それぞれの場との境界にとらわれない隔てのないオープンな空間として機能することを示すため、「オープンな場」と定義いたしました。
134	みどり	「新拠点ゾーンの南側」の機能・役割がわかりにくい。⇒防災関連が主のことらしい・建物が建つ・どのような機能施設をもつのか？わからない。とのことらしいが、この南側については、「緑」を積極的に残すべき、相模台公園の桜の木を無くすのはもったいない。「緑豊か」を目指しているのに従来からある貴重な桜を無くすのは矛盾している、おかしい。	本計画（案）第4章（p.60）にお示ししているとおり、「支える場」には、「暮らしの安全・安心を支える場として、災害発生時における減災・復元力の支援機能を始めとする、市役所機能を再編整備」いたします。また、相模台公園の樹齢が進んだ桜は市の大きな財産であり、本計画（案）第2章（p.36）の上から9行目「これほどの豊かな『緑』が保全されてきた環境は本市ならではの強みであり、未来に向けて守り、育むべき大切な財産です。」とお示しており、健全な樹木は極力現状のまま保存することで検討しております。
135	みどり	計画に松戸の振興のためのいろいろのプランが挙げられているが、総花的で何をすべきが見えてこない。絞り込みが必要である。東京下町の無味乾燥な建物砂漠から江戸川を超えると矢切の田園・斜面林が見えて爽やかな気持ちになる。松戸駅そばの中央公園や相模台公園の緑、更に千葉大原始林、浅間神社の極相林は常磐線沿線で唯一つ残された誇るべき貴重な自然がある。これを生かさぬ手はない。計画では魅力ある松戸市として、商業、文化の活性化などを謳っているが、商業の活性化は郊外型ショッピングセンターの増加、文化は上野に引き寄せられて、人を呼び寄せる魅力とするには弱すぎる。最も重要なのは、豊かな自然と歴史資産等を更に充実し、静かな住宅環境、子育てに適した環境等を整えることである。箱モノの建設は魅力とならない、自然を破壊するだけである。	本計画（案）は、30年という長い時間軸の中で松戸駅周辺の未来を見据え取りまとめたものとなっております。また、本計画（案）第1章（p.30）にお示ししているとおり、松戸駅周辺のポテンシャルの1つとして「豊かな自然環境を体感できる」と認識しておりますので、こうした資源を生かした街づくりを今後も進めてまいります。
136	みどり	松戸の自然が開発の名でこわされることのないように検討していただきたい。	本計画（案）第1章（p.30）にお示ししているとおり、松戸駅周辺のポテンシャルの1つとして「豊かな自然環境を体感できる」と認識しておりますので、こうした資源を生かした街づくりを今後も進めてまいります。
137	みどり	松戸の将来の青写真を私たち市民とともに作るにしても情報力では市に負けてしまい市の意向に沿った人の声が大きくなるのでは？松戸の歴史的なかん点から考えると水と緑豊かな松戸であったことからして、拠点開発ゾーンを鎮守の森のある公園として一体的に整備することにより明治の世に明治神社に100年先をおもい植生し平成の世に市民に提供できた先人の知恵に学び相模台の地に柏のオオタカや野田のクノトリたちが飛来する地なるような自然豊かな自然公園に生まれかわり100年後の市民のオアシスとして市民のいこいの場になりうる。この再生事業はニューヨークの都市のどまん中にあるセントラルパークの成功例からしても今全世界的に温暖化傾向にある地球環境の改善CO2の削減につながり毎年森林環境税が積み立てられるつつある資金や住民の寄与（きふ）国からの補助金指定事業として認定されうる資金を有効に使い100年後をめざしたそうだな計画でまつどの誇れる相模台の地をふたたび市民の手に取り戻すこと私たちが次の世代に残すべきかだい。なぜならこの地は縄文時代から海岸線高台として人々がほそぼそ暮らしてその後江戸川が台地をけずり低地に人々が江戸川をナイル川として水田耕作水辺で経済活動をおこない相模台の森の木もくらしいかし材木として江戸の木場まで送り松戸の繁栄にもつながり間信仰としてこの相模台の地はこんびら社、御大師様尼寺 e t c で私たち市民の祈りの地であった。とくに戦国時代は北条氏からせまられた(攻められた?)が千葉一族がていこうしこの地を守ったこと何千人もの戦いでなくなった霊をともむらう為に経世塚がこんりゅうされた。それもこの土地の変用で、なんの市民の同意なくいまでは聖徳大学の校内で人知れなくなってしまう。この地は江戸時代では天領であったかもしれないが人々がいこい祈りをあげる鎮守の森で住民たちのとうちする場を大正時代に軍馬を育成するため競馬場が作られ、その後中山に移転後は侵略部隊の中核である人材を育成する陸軍工兵学校を作られ、完全にこの地を国の管理として私たち市民から収だつし国有財産としてこの地がはかいつくされてしまった。令和の時代になったのだから相模台の地を市民に返かんしてもらいたい。鎮守の森を作っていくにさいして岩瀬川をあんりょうから(東京で再生計画している渋谷川の再生事業を学び)地上に流し遊歩道かし、水辺のある森を育成し水と緑のある豊かな町松戸の象徴として相模台の地を後世に残したい。二度と公共施設を集中化し高度利用化する理由もわからない今ある市役所のたいしんせいなしというレッテルにもギモン。なぜなら旧古ヶ崎小学校の体育かんもたいしんせいなしが後で大丈夫でそんぞくするようになった例がある。小学校はたいしん制(性?)をもたすためにすじがいをし、もたせようとしているのに市役所はメンテナンスをしっかりとやり、すこしでも永くもたすか現地をはいじよ。どの場所でも公共施設の利用しやすい町作りをお願い申し上げます。	本計画（案）第1章（p.30）にお示ししているとおり、松戸駅周辺のポテンシャルの1つとして「豊かな自然環境を体感できる」と認識しておりますので、こうした資源を生かした街づくりを今後も進めてまいります。
138	みどり	国有財産の有効化は今に始まった話でなく当然昔から有効活用しなければならぬもの。松戸市は放置しすぎの、怠慢の感がある。市民としてそう感じる。松戸市議会が透明性が見えず、議員が私利私欲の行動だけが聞こえてくる。噂にしても襟の正(ただし)がおそろかになっていると感じる市民は大勢いる。話戻し、ただし近年における国の方針は緑地を残す自然を残す方向にある。少子高齢化に伴う人口減で右肩上りの発展は、最早、日本においては不可能で新たな政策を打ち出す必要がある。特に新型コロナ蔓延するなか社会的行動に規制がかかり 自然を破壊する都市計画よりも自然と調和する都市計画が望まれる。	本計画（案）第1章（p.30）にお示ししているとおり、松戸駅周辺のポテンシャルの1つとして「豊かな自然環境を体感できる」と認識しておりますので、こうした資源を生かした街づくりを今後も進めてまいります。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
139	みどり	<p>松戸に居住して40年になります。この度、新拠点ゾーン整備基本計画(案)を読んで、「松戸市長期構想」(S52)の3環境区「松戸・小金新松戸・常盤平」を緑環で囲んで都市づくりの構想と似た所があるなと思いました。残念ながら、40年間で様々な緑環境は減少の変遷を自然観察等で見てきました。今回の新拠点計画では緑環境を重要な一つに位置付けられています。</p> <p>新拠点に明示的に自然生態系を街の中に取り入れるとして緑のネットワーク・緑の回廊、水の回廊をつくり他の地域と緑の回廊を通して移動可能なようにすると謳ってはいかがでしょうか。これにより、環境基本計画・緑の基本計画・景観基本計画等との整合性を図るようになる。例えば、矢切耕地では物流施設が民間で計画されて緑環境の都市農業(地元物産)が衰退すると危惧されています。</p> <p>ここまで緑の回廊を歩き訪れることができると明示してはいかがでしょうか。新拠点から松戸の他地域に回廊を通して散歩して訪れられるのも松戸の街のアピールになるとかと思います。緑空間は今後の街づくりの余裕にもなると思います。特に気になったことを申し上げました。</p>	<p>新拠点ゾーンの緑は松戸駅に近接していながら松戸中央公園、相模台公園と豊富な自然を有しており、本市の貴重な財産であると認識しております。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後も検討してまいります。</p>
140	みどり	<p>書かれている内容、新拠点ゾーンの3つの場についての案は、魅力的に感じます。</p> <p>現在の中央公園をもっと利用しやすく生かしていく、ということなのかな?と感じました。</p>	<p>新拠点ゾーン全体では、それぞれの空間が展開していくと共に、目的や用途、時間にとらわれず誰もが気軽に利用できる空間・相互に補完し合える空間を目指しております。新拠点ゾーンが魅力ある拠点として、皆さまにご利用いただけるよう今後も検討してまいります。</p>
141	みどり	<p>松戸ハイムに住む者です。</p> <p>家を決めるにあたって、裏手に相模台公園があること、相模台小学校への通学路が緑のカーテンの中を歩いているかのように心地よかったです。子育てをする上で決め手になったため彼らが工事によって無くなるのが残念でなりません。丁度子供が小学校へ入学するころに着工となるため、通学路の思い出が工事一色になるのも残念です。</p> <p>再開発に当たってお願いがあります。</p> <p>相模台公園には樹齢約50年になる立派な桜の木々があります。これらは残していただきたいです。新しく市役所を作るにあたっても見栄えが良くなると思います。相模台公園の豊かな自然が無くなるのも残念ですが、あの桜の木々が切り倒されるのはもっと嫌です。せめて桜だけでも残して下さい。ご検討の程よろしくお願ひいたします。</p>	<p>相模台公園の樹齢が進んだ桜は市の大きな財産であり、本計画（案）第2章（p.36）の上から9行目「これほどの豊かな『緑』が保全されてきた環境は本市ならではの強みであり、未来に向けて守り、育むべき大切な財産です。」とお示ししており、健全な樹木は極力現状のまま保存することで検討しております。</p>
142	歴史・文化	<p>わたしは松戸市に生まれて育ち64年が経ちます。ずっとアートな仕事を続けていますが、それは松戸市の土壌に育ててもらったと思っています。この街にいたから沢山のアートの中で育ったことを感謝しています。その中でわたしが物心ついた頃から美術館ができるといわれてきましたが未だ実現しないことが何故なのか不思議でなりません。沢山の素晴らしいコレクションも有り、沢山のアーティストが育ち、今も住み、アートの精神を受け継いでいる街が松戸です。松戸に住むアーティストはみな松戸にお返しをしたいと思っています。大切なものをこれからの世代に引き渡して行きたい。そのために美術館は是非ゆかりの地である相模台の丘に作ってください。</p> <p>中央公園の正門門柱、旧陸軍工兵学校歩哨舎は市の指定文化財ですので壊さないと思いますが、これだけは絶対に残してください。そしてこれは文化都市松戸の象徴になると思います。</p>	<p>美術ギャラリー機能の整備につきましては、今後策定予定の（仮称）松戸市文化複合施設整備基本構想立案の際に、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。</p> <p>陸軍工兵学校時代の門柱や歩哨舎は、本市指定の文化財となっています。こちらは、現状のまま松戸中央公園内に歴史的遺構として保存したいと考えております。</p>
143	歴史・文化	<p>ワークショップでのコンダクター・キーノートでは、「松戸中央公園から江戸川にかけては江戸時代から近代までの松戸の歴史が層となって重なり、面白い地形や歴史をまちづくりに生かしてほしい」とされていますが、新拠点ゾーンの計画では、相模台の地形と歴史が軽視されていると思われまので、見直しを求めます。</p>	<p>相模台の地形と歴史は大切な要素であると認識しております。</p> <p>一方で本計画（案）第3章（p.54）に「子どもから高齢者、障がいのある方などを含めた全ての人が、高低差のある地形を妨げと感ずることなく移動できるような歩行者中心の歩きたくなるまちづくりを目指し、新拠点ゾーンと周辺を有機的につなぐ動線を確保します」とお示しており、高低差を感じさせない歩行者空間の整備や土地の整序も行います。</p>
144	歴史・文化	<p>江戸川・坂川・旧街道などの低地から相模台の地形と歴史を生かしたまちづくりが必要なわけですから、歴史と地形、さらに植生や生態系との関連性についても、調査・分析したうえで、計画を策定してください。</p>	<p>本計画（案）第4章（p.62）にお示ししているとおり、「貴重な樹木など緑を極力残すこと、文化財などを生かすこと」が大切と考えておりますので、いただいたご意見を参考に検討してまいります。</p>
145	歴史・文化	<p>相模台の歴史と地形については、中世の歴史について触れられていませんが、その地名の由来である相模台城の歴史という重要な継承要素があります。相模台城は、聖徳大学構内に経世塚があるとおり、小弓公方滅亡の第一次国府台の合戦の地です。</p> <p>相模台公園の窪地地形は、相模台城の曲輪跡(土塁)、また、市道主2-68号(S字道路)は空堀跡と推定されており、文化財として調査が必要な貴重な地形です。さらにこの窪地地形が居心地の良い特異な空間を形成しており、また、立地的には、戸定方丘、千葉大学とのネットワーク拠点となる重要な位置にあることから、公園緑地として貴重な資源です。これらから、相模台公園は、地形保全を行いながら、アクセス改善し、戸定ヶ丘、千葉大学に向けて地形を馴染ませ開いた緑地空間としていくことでネットワークの拠点としていくことが望ましく、この点に十分留意した計画を要望します。</p>	<p>相模台公園のくぼ地につきましては、南へ張り出した郭を窺いますが、現状、遺構は確認できておりません。そのため、事業実施にあたりましては、埋蔵文化財調査を実施して確認してまいります。</p> <p>また、いただいたご意見を参考に、本計画（案）第6章(p.77)の下から13行目に「戦国時代の天文7（1538）年、国府台合戦の際に、小弓公方足利義明の軍兵と小田原の北条氏綱の軍兵が相模台で戦い、義明らが討ち死にしたと伝えられています。」を追記いたします。</p>
146	歴史・文化	<p>陸軍工兵学校～千葉大学工学部(当初は工芸学部)時代にも、松戸中央公園において多くの空間構成の特性があり、これらを継承して物語をつくっていくことで、市民が望む歴史の継承を実践することを要望します。</p>	<p>本計画（案）第6章(p.77)の「4. 新拠点ゾーン（相模台地区）におけるあゆみ」にお示ししているとおり、松戸中央公園については、歴史が多く残されている場所と認識しております。いただいたご意見を参考に今後も検討を進めてまいります。</p>
147	歴史・文化	<p>P.49 第1節1. では、「まちの歴史・文化や強みを生かす」としているのので、これに従った計画としてください。</p>	<p>本計画（案）第3章(p.49)にお示ししているとおり、「まちの歴史・文化や強みを生かす」の実現に向けて取り組んでまいります。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
148	歴史・文化	P.49 第1節2. では、地形について、阻害要素として捉えるにとどまっているので、上記の歴史を踏まえた地形の活用についても考慮した計画としてください。	本計画（案）第1節（p.10）にお示ししているとおり、駅東口と新拠点ゾーンの高低差におけるアクセスの課題を示しておりますが、ご指摘の歴史を踏まえた地形の活用につきましては、傾斜地の安全を考慮したうえで、大切にまいります。
149	歴史・文化	相模台は、小中学校をはじめ、多くの学校教育施設が集積する文教地区としての既往の機能があり、特に毎日の朝夕や学校行事等イベント時には、多くの児童・生徒やその家族が徒歩で集まります。	通園・通学する児童・生徒をはじめとした歩行者の交通安全は、最も配慮すべき事項として認識し、計画を進めてまいります。そのため、歩道幅員が狭く歩道拡幅が必要な場所では、必要に応じて道路総幅員の拡幅が必要であると認識しております。
150	交通	防災の観点からも新市役所建設は必要と考えます。ただし、駅から距離や高低差を考えると、子ども連れやお体の不自由な方が通い辛く足が遠のくことのない様な対策が必須と考えます。 また、エレベーターを活用する場合には、三密回避のため、一度に乗れる市民が少ないことになり、エレベーター待ちの渋滞が発生し、不便とならないような対策が必要とも考えます。市民に寄り添い、通いやすく活用しやすく、そして安全な新市役所等となるよう期待するとともに、本郷谷市長を中心に早期の実施を求めます。	本計画（案）第3章（p.54）に「子どもから高齢者、障がいのある方などを含めた全ての人々が、高低差のある地形を妨げと感ずることなく移動できるような歩行者中心の歩きとなるまちづくりを目指し、新拠点ゾーンと周辺を有機的につなぐ動線を確保します」とお示ししているのとおり、いただいたご意見を参考に、今後も検討してまいります。
151	交通	歩行者、自転車、自動車の動線を分離し、自転車と自動車は新拠点ゾーンの入口までとし中には入れないとする計画は素晴らしいと思います。ただ、「試みの場」に駐輪場を増設することにより、新拠点ゾーンの中に自転車と歩行者が交錯する領域ができるように思います。歩行者にとって歩道を通る自転車ほど危険なものはありません。新拠点ゾーンの中には自動車だけではなく自転車も入れないような計画としてください。	本計画（案）第3章（p.54）に「新拠点ゾーン内においては、前述の歩行者・自転車・自動車動線を適切に分離し、安全かつバリアフリーな歩行者動線を確保します。」とお示ししているのとおり、安全な歩行者動線を確保いたします。
152	交通	「市道主2-68号の再整備により、自転車通行空間を整備」は賛成です。 具体的には自転車レーンを作ってください。しかし、道路の側溝に蓋をしたぐらいの狭い幅の自転車レーンを作っても自転車はそこを通らず、歩道を通ります。自転車レーンは自転車が自動車を危険と感じない程度の十分な幅員を確保してください。	本計画（案）第3章（p.54）に「また、市道主2-68号の再整備により、自転車通行空間を整備するとともに、道路勾配の改善を図り、安全に自転車が利用できるようにします」とお示ししているのとおり、いただいたご意見を参考に自転車通行空間の整備を検討いたします。
153	交通	現在の市道 主2-68号の道路拡張とともに、歩行者道路を自動車道路の横に設けるのではなく、別ルートとして相模台公園を迂回して中央ゾーンのほうへ行くルートを設ける。それにより、歩行者と自動車道路を分離させることが可能になると考える。 また、『新拠点ゾーン整備基本計画(案)』の第3節(p.54)における歩行者を中心に歩けるまちづくりを目指すということから、駐車場を聖徳大学のあたりに設け、そこからは徒歩で駅に向かうようにできればよいと考える。駅に向かう際の主軸となる中央ゾーンに緑を豊かに生かしながらカフェやお店を出店のように展開して自転車の利用者にも立ち寄りやすいような空間を作り出せばよいと思う。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
154	交通	P49に記載がある通り、駅と中央公園側が分断されているので、イトーヨーカドーとプラレレの間にエスカレータかEVを作って動線を確保するとともに、理想はイトーヨーカドーとプラレレを階段状にして壁ではなく圧迫感がないようなボリュームにしようか？ そこにはテラス席見たいなものを設け、花火の観覧席などにしたり、普段はそのテラス席に植栽を配置して、山(森)のような建築を作り、松戸駅を出てすぐ緑があるイメージが見れるといいのではないのでしょうか。 イトーヨーカドーと聖徳大学の間の官舎を建て替えるで費用がかかるため、既存の官舎を利用して駐輪場側の単身者向け住居棟、ディンクス向け住居棟、家族用住居棟、高齢者向け住居棟など多世代向けの住居として活用してはどうでしょうか。一番奥の棟は壊し、駐車スペースと駐輪スペースとします。そして、中央公園側の既存駐輪場と官舎の間に緑の庭を作り、庭の中を通りながら通勤通学をできるようにします。また単身者向け住居棟の1階には飲食店や花屋さん、雑貨屋さんなどを作り、その前にウッドデッキを作り、テラス席を設け、賑わいを創出します。賑わいを作るとともに松戸駅周辺を通り過ぎる場所ではなく、滞在できる場所へと変えていってはどうでしょうか。	本計画（案）第3章（p.59）に「そのため、『MATSUDOING 2050』などの取り組みを継続するとともに、段階に合わせたテーマごとのワークショップやシンポジウム、社会実験などを開催し、市民とともに計画を進めていきます」とお示ししているのとおり、新拠点ゾーン内の具体的な施設計画や土地利用については、今後につきましても、テーマに応じた「シンポジウム」や「ワークショップ」などの取り組みを実施してまいりたいと考えております。
155	交通	計画通りに施設等が移転した場合、6号線からのアクセスを改善は当然であるが、市道主2-68号相互通行化については、マンション建物と相模台公園岸壁に挟まれて拡幅可能なか疑問？また公園から坂道をおりてきた道路十字路周辺の大渋滞による近隣居住者への住環境への悪影響が懸念される。	本計画（案）第3章（p.54）に「また、松戸駅方面と新拠点ゾーンの台地部を結ぶ市道主2-68号について、現状では片側一方通行のところを相互通行に整備すること」とお示ししているのとおり、相互通行化を検討いたします。 しかしながら、ご指摘のように、相互通行にすることで生じる課題もあることから、交通管理者と対策を考えてまいります。
156	交通	「新拠点ゾーン内での自動車の滞留を抑制し」（54ページ）の削除を要望します。削除することで文章がスッキリします。 また、抑制は物理的に無理だと思います。どうしても、抑制するのであれば、来場制限をかけるしかありません。そもそも、滞留することは人気のある証拠です。あまり滞留しないのは寂しい限りです。	「滞留することは人気のある証拠です。」とご指摘のとおり、滞留が生まれる＝新拠点ゾーンに多くの方々がおいしただけの状態であるといえます。一方で、新拠点ゾーン内は「歩行者中心の歩きとなるまちづくり」を目指すために、自動車動線の分散化による速やかな通行の確保や、無秩序な駐車を抑制するための必要な駐車場の配置により、新拠点ゾーンを訪れる多様な人々の快適性を向上させる効果を期待しているところです。 いただいたご意見を参考に、本計画（案）第3章（p.54）の20行目「新拠点ゾーン内での自動車の滞留を抑制し、」を削除し、「必要に応じた自動車駐車場を適正に配置する事で、新拠点ゾーンを訪れる・・・」に改めます。
157	交通	移転予定地の相模台は交通の便が悪く、市民が用件で通わざるを得ない市役所として、計画案の場所は高台で交通の便悪く(坂)これから更に高齢化の進む市人口や、健康弱者にとっては不便な場所である。バスの運行等検討されていくにしても地の利が悪く移転は反対である。 現在地が狭くスペース問題であるなら、高層化で使用面積を広げれば良い。	新拠点ゾーンへの歩行者動線については、本計画（案）第3章（p.54）に「子どもから高齢者、障がいのある方などを含めた全ての人々が、高低差のある地形を妨げと感ずることなく移動できるような歩行者中心の歩きとなるまちづくりを目指し、新拠点ゾーンと周辺を有機的につなぐ動線を確保します。」とお示ししているのとおり、歩行者にやさしい歩行者動線を整備いたします。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
158	交通	<p>【ポイント】 計画に「みどりを豊かに生かす機能」をもたせるためにも、駅から江戸川までのアクセスに自転車を利用するという視点を入れてほしい。そのためにはまず、駅の東側から西側への自転車での移動を便利にする必要があると思います。具体的にということであれば、自転車レーンを増やすということです。</p> <p>【詳細】 ワークショップでの主な意見として「松戸駅周辺での理想の過ごし方：江戸川周辺：自然の中で運動したり、ゆっくり過ごしたい」というのがあります。私も強くそう思います。でも、駅から江戸川までは歩くとけっこうあります。そこで駅から江戸川までの交通機関として、自転車を活用するのが一番だと思うのですが、これが現状、大変なのです。江戸川は駅の西側にあり、多くの市民は駅の東側に住んでいます。つまり、江戸川に出るには駅の東から西へ移動する必要がありますが、そのためには常磐線を超えなければならないからです。 駅構内を自転車で移動するわけにはいかない(※)ので、東から西への移動は、実質的には3ルート。1. [自転車レーンのない] 岩瀬こ線橋を渡る 2. 宮ノ越地下歩道を自転車を押して歩く 3. [自転車レーンのない] 松戸神社脇へと延びる道を通ると、不便きわまりないのです。 計画では「みどりを豊かに生かす」としています。みどりと自転車は相性がいい。新拠点ゾーンを生かすにしても、今ある自然を生かすにしても、もう少し自転車に配慮してくれてもいいのではないかと思います。なぜならそれは、とりもなおさず歩道の歩行者を守ることにもつながるからです。</p> <p>※駅の構内を自転車で移動できるようにすれば、それは画期的ですし、話題性もありますね。</p>	<p>新拠点ゾーンへのアクセス道となる主2-68号線について自転車通行帯を設け、ゆとりある交通空間を形成したいと考えております。本計画は新拠点ゾーンで完結するのではなく、松戸駅周辺全体に賑わいややすらげる空間を波及させていくことを目指しているため、自転車の活用は、有効な移動手段だと考えています。 しかしながら、ご指摘のとおり東西の移動ルートが不便なため、課題と認識しておりますので、段階的に整備を検討してまいります。</p>
159	交通	<p>国道6号から新拠点ゾーンへの自動車動線と自転車動線が計画され、自転車通行帯を整備することとされていますが、歩行者についても考慮いただくよう要望します。現状の歩道は、幅員1m未満の箇所もあり、一方が車道に出てすれ違う状況です。 また、段差も多くバリアフリーではありません。明らかに主動線となり大幅に交通量が増加する国道6号からの道路整備を、新拠点利用者、住民、児童・生徒の安全の確保のできるものとしていただくようお願いいたします。</p>	<p>通園・通学する児童・生徒をはじめとした歩行者の交通安全は、最も配慮すべき事項として認識し、計画を進めてまいります。そのため、歩道幅員が狭く歩道拡幅が必要な場所では、必要に応じて道路総幅員の拡幅が必要であると認識しております。</p>
160	交通	<p>市道主2-68号(S字道路)の相互通行化については、新拠点ゾーン利用を目的としない通過するだけの自動車交通量が大幅に増加することは明らかであり、再検討を要望します。薄暗いS字道路の環境改善と歩行者の快適性向上は行いつつ、一方通行を計画的に維持することが、渋滞回避や交通安全のためには最善ではないでしょうか。緊急時の利用のために道路の勾配や幅員などを改善したとしても、平常時には計画的に一方通行とすることに問題はないかと思われます。この対策は、相模台の住民の生活環境及び小中学校等の児童・生徒の安全のためだけでなく、東口エリアの交通渋滞と交通安全をこれ以上悪化させない対策として、むしろ市全体の利益に通じるものと思われます。</p>	<p>本計画（案）第3章（p.54）に「また、松戸駅方面と新拠点ゾーンの台地部を結ぶ市道主2-68号について、現状では片側一方通行のところを相互通行に整備すること」とお示ししているとおり、相互通行化を検討いたします。 また、交通集中による渋滞が生じないよう交差点の設計をしております。</p>
161	交通	<p>計画書では、必要に応じた自動車駐車場を適正に配置する、とされていますが、現在ある駐車場の共用についても調整を行うことを基本計画に盛り込んでいただくよう要望します。新拠点ゾーン南に隣接する法務局及び裁判所の駐車場は、利用率が極めて低く常時かなりの空きがある状況ですが、専用利用されており、有効利用が求められます。新たな駐車需要を全て新設駐車場で賅うのではなく、法務局及び裁判所の駐車場を一元管理し、土日休日を含め一般開放し共用することで有効利用を図るようお願いします。 上記の駐車場の有効利用にあわせて、法務局及び裁判所の敷地の整序による市道主2-68号(S字道路)の見通しの改善を要望します。松戸中央公園正門正面の法務局及び裁判所の敷地の張り出しにより、市道主2-68号(S字道路)の見通しが非常に悪く、歩行者の横断の多い箇所であることから現在でも大変危険な状況にあり、改善をお願いします。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
162	交通	<p>加齢に伴うハンディキャップ・障がいや乳幼児を抱える親御さん、こどもたちが安心・安全に過ごせる、車中心ではなく人中心の道路・建物。スマートモビリティやグリーンスローモビリティの活用も視野に、高齢者が免許を積極的に返納しても移動に困らない都市を目指してほしい。 ベンチや東屋が街のいたるところにあり、休憩しながら散歩を楽しめるまち。 歩いたり走ったり、体を動かせる楽しみがあり、そこで暮らす人が自然と健康づくりを楽しめるまち。</p>	<p>新拠点ゾーンへの歩行者動線については、本計画（案）第3章（p.54）の上から1行目に「子どもから高齢者、障がいのある方などを含めた全ての人々が、高低差のある地形を妨げと感ずることなく移動できるような歩行者中心の歩きとなるまちづくりを目指し、新拠点ゾーンと周辺を有機的につなぐ動線を確保します。」とお示ししているとおり、歩行者にやさしい歩行者動線を整備いたします。 なお、いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
163	交通	<p>国道6号から新拠点ゾーンへの自動車動線と自転車動線が計画され、市道主2-68号に自転車通行帯を整備することとされていますが、歩行者についても考慮いただき、歩道の整備も行うよう要望します。</p>	<p>通園・通学する児童・生徒をはじめとした歩行者の交通安全は、最も配慮すべき事項として認識し、計画を進めてまいります。そのため、歩道幅員が狭く歩道拡幅が必要な場所では、必要に応じて道路総幅員の拡幅が必要であると認識しております。</p>
164	交通	<p>新拠点ゾーンの整備により、多くの児童・生徒やその家族が危険に晒されないよう、十分な道路交通計画における配慮が必要です。</p>	<p>通園・通学する児童・生徒をはじめとした歩行者の交通安全は、最も配慮すべき事項として認識し、計画を進めてまいります。そのため、歩道幅員が狭く歩道拡幅が必要な場所では、必要に応じて道路総幅員の拡幅が必要であると認識しております。</p>
165	交通	<p>現状の市道主2-68号は、国道6号から相模台小学校手前までの間、現状の歩道は、幅員1m未満の箇所もあり、すれ違う歩行者の一方が車道に出てすれ違う状況です。また段差も多くバリアフリーではありません。</p>	<p>通園・通学する児童・生徒をはじめとした歩行者の交通安全は、最も配慮すべき事項として認識し、計画を進めてまいります。そのため、歩道幅員が狭く歩道拡幅が必要な場所では、必要に応じて道路総幅員の拡幅が必要であると認識しております。</p>
166	交通	<p>明らかに主動線となり大幅に自動車交通量が増加する国道6号からの道路整備を、必要に応じ道路総幅員を拡幅し、新拠点利用者、相模台の住民、児童・生徒の安全を確保できるバリアフリーの歩道整備を行うよう、P.52～54の交通計画の修正と、P.65の概算事業費でも道路整備費の追加をお願いします。</p>	<p>通園・通学する児童・生徒をはじめとした歩行者の交通安全は、最も配慮すべき事項として認識し、計画を進めてまいります。そのため、歩道幅員が狭く歩道拡幅が必要な場所では、必要に応じて道路総幅員の拡幅が必要であると認識しております。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
167	交通	市道主2-68号(S字道路)の相互通行化については、新拠点ゾーン利用を目的としない通過するだけの自動車交通量が大幅に増加することは明らかであることから、交通計画を再検討し、一方通行を維持することを要望します。	市道主2-68号(S字道路)につきましては、「新拠点ゾーン」と周囲の交通ネットワークを向上させるため、相互通行とする計画としております。しかしながら、ご指摘のように、相互通行にすることで生じる課題もあることから、交通管理者と対策を考えてまいります。
168	交通	薄暗いS字道路の環境改善と歩行者の快適性向上は行いつつ、一方通行を計画的に維持することが、渋滞回避や交通安全のためには最善ではないでしょうか。	市道主2-68号(S字道路)につきましては、「新拠点ゾーン」と周囲の交通ネットワークを向上させるため、相互通行とする計画としております。しかしながら、ご指摘のように、相互通行にすることで生じる課題もあることから、交通管理者と対策を考えてまいります。
169	交通	緊急時の利用のために道路の勾配や幅員などを改善したとしても、平常時には計画的に一方通行とすることに問題はないかと思われます。	市道主2-68号(S字道路)につきましては、「新拠点ゾーン」と周囲の交通ネットワークを向上させるため、相互通行とする計画としております。しかしながら、ご指摘のように、相互通行にすることで生じる課題もあることから、交通管理者と対策を考えてまいります。
170	交通	この対策は、相模台の住民の生活環境及び小中学校等の児童・生徒の安全のためだけでなく、東口エリアの交通渋滞と交通安全をこれ以上悪化させない対策として、むしろ市全体の利益に通じるものと思われます。	市道主2-68号(S字道路)につきましては、「新拠点ゾーン」と周囲の交通ネットワークを向上させるため、相互通行とする計画としております。しかしながら、ご指摘のように、相互通行にすることで生じる課題もあることから、交通管理者と対策を考えてまいります。
171	交通	P.10の「新拠点ゾーン整備基本構想」において、改善したいポイントとして「市道主1-31号(岩瀬十字路～千葉大学園芸学部入口交差点間の道路)の交通渋滞」を挙げ、ワークショップにおいても、東口駅前周辺の交通量と道路の狭さについて意見が多かったにもかかわらず、本計画では、東口周辺の交通量を増加させ、さらに渋滞を招くことになるとされます。	市道主2-68号(S字道路)につきましては、「新拠点ゾーン」と周囲の交通ネットワークを向上させるため、相互通行とする計画としております。しかしながら、ご指摘のように、相互通行にすることで生じる課題もあることから、交通管理者と対策を考えてまいります。
172	交通	計画書では、必要に応じた自動車駐車場を適正に配置する、とされていますが、現在ある駐車場の共用についても調整を行うことを基本計画に盛り込んでいただくよう要望します。新拠点ゾーン南に隣接する法務局及び裁判所の駐車場は、利用率が極めて低く常時かなりの空きがある状況ですが、専用利用されており、有効利用が求められます。	ご指摘のとおり、新拠点ゾーンに隣接する法務局や裁判所の駐車場と、本計画(案)の駐車場と合同で活用することは非常に合理的だと考えております。しかしながら、関係機関との調整が必要なことから、各関係機関と協議してまいります。
173	交通	新拠点ゾーンによる新たな駐車需要を全て新設駐車場で賄うのではなく、法務局及び裁判所の駐車場を一元管理し、土日休日を含め一般開放し共用することで有効利用を図ることを本計画に記載するようお願いします。	ご指摘のとおり、新拠点ゾーンに隣接する法務局や裁判所の駐車場と、本計画(案)の駐車場と合同で活用することは非常に合理的だと考えております。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
174	交通	聖徳大学の駐車場についても同様に検討できるものと思われます。	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
175	交通	新拠点ゾーンの市役所や公園の新設駐車場と、これらすべての駐車場を一元化したシステムにより再整備・運営することにより、総合数のシェアだけでなく時間帯や曜日での融通も可能になり、より効率的な既存ストックの有効利用ができるものと思われます。	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
176	交通	松戸中央公園正門正面の道路屈曲部は、法務局及び裁判所の敷地の張り出しにより、市道主2-68号(S字道路)の見通しが非常に悪く、歩行者の横断の多い箇所であることから現在でも大変危険な状況にあります。	市道主2-68号(S字道路)につきましては、安全性に配慮した最善の道路線形となるよう交通管理者と協議してまいります。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
177	交通	<p>「市道 主2-68 号の相互交通化」は再検討いただけないでしょうか。その理由は、この拡幅の妥当性や必要性を判断するための情報が十分示されていないからです。特に、拡幅した場合のデメリットが全く検証されていないことが気がかりです。拡幅の妥当性・必要性が判断できないのは、新拠点ゾーン南側（現相模台公園付近）の位置づけが、「支える場」（暮らしの安全・安心を支える機能）という非常に曖昧なものにとどまっているからです。メリットだけでなくデメリットも示しながら、もっと具体的な計画を提示しないと、山を大きく削ってまで、緑を壊してまで道路を広げると、今のままとするのとどちらが良いか、市民に正確な判断ができるとは思えません。</p> <p>拡幅のデメリットについては、新拠点周辺のインフラのキャパシティが十分でないところへ来て新拠点のみインフラを拡充すれば、当然周辺の交通渋滞が予想されますが、こうした心配を否定するに足る根拠が全く示されていません。相互交通化すれば、駅前だけでなく、相模台の交通量も増えむしろ子供たちが交通事故に遭うリスクが高まります。文教地区としての相模台の環境が大きく損なわれる可能性があるのではないのでしょうか。相互交通化すれば見通しが良くなり、治安も改善されると書かれていますが、そもそも「バリアフリーの新たな歩行者動線」を作るのであれば、2-68 号に歩道を確保する必要がなくなり、その分車道が広くとれ、今のままでも緊急車両が通れるようになりませんか。</p>	<p>市道主2-68号(S字道路)につきましては、「新拠点ゾーン」と周囲の交通ネットワークを向上させるため、相互通行とする計画としております。しかしながら、ご指摘のように、相互通行にすることで生じる課題もあることから、交通管理者と対策を考えてまいります。</p>
178	交通	<p>P1、P10にある多核都市、広場、そしてP29 インクルーシブは、松戸を考える時にも重要な柱です。</p> <p>市庁舎は、駅舎近くに配置してください。遠い庁舎は、市民にとって有益ではありません。庁舎は、新たな交通問題を生まないこと、到達性の良い駅近くに配置し、多様多世代の市民が集い「新たな松戸」をクリエイトする場として下さい。市民と行政との協働の機会を受けとめる新しい庁舎を構想する機会を居住する市民に開いて下さい。新拠点という場所は、何の足掛かりとなるのでしょうか？何の拠点となるのでしょうか？</p> <p>ワークショップでは、駅西側の活性化、駅東側の交通渋滞、東西つながりの創造、丘から川のつながりと地形と歴史の保全活用についての発言が大変に多かった。ワークショップでも指摘された松戸駅周辺の重要課題でした。</p> <p>本計画(案)のP52～55では、西側、東側、東西の将来像構築にどういった足掛かりとなるのか理解できません。活性化と渋滞解消と連絡性向上を記載ください。「市道 主 2-68 号の相互交通化」は渋滞を呼び、地形と歴史という資源を破壊する愚策です。東側での「一通大サーキュレーション」など、解決課題に直接向き合う施策を検討ください。</p> <p>※「一通大サーキュレーション」とは、一通の大円環(反時計回り)。 「市道 主 2-68 号」現況の一通。東から駅へトンネルでレベルダウンして大円環に合流。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>また、本計画（案）第3章（p.59）に「そのため、『MATSUDOING 2050』などの取り組みを継続するとともに、段階に合わせたテーマごとのワークショップやシンポジウム、社会実験などを開催し、市民とともに計画を進めていきます」とお示ししているとおり、新拠点ゾーン内の具体的な施設計画や土地利用については、今後につきましても、テーマに応じた「シンポジウム」や「ワークショップ」などの取り組みを実施してまいります。</p> <p>市道主2-68号(S字道路)につきましては、「新拠点ゾーン」と周囲の交通ネットワークを向上させるため、相互通行とする計画としております。しかしながら、ご指摘のように、相互通行にすることで生じる課題もあることから、交通管理者と対策を考えてまいります。</p>
179	市民説明	<p>パブリックコメントの取り方を、もっと市民に分かりやすい形で知らせて下さい。多くの市民の意見を生かした行政計画を期待しています。</p>	<p>パブリックコメントにつきましては、「松戸市パブリックコメント手続実施要綱」に基づき、広報まつどや松戸市公式ホームページにて市民へ公表させていただいたほか、市役所の行政資料センター・各支所・図書館（本館・各分館）・まつど市民活動サポートセンター・新拠点整備課での閲覧、松戸市公式SNS（FaceBook、Twitter）、まつどニュース、近隣町会・自治会へのご案内など、様々な方法で広報を行いました。意見の提出方法は、窓口・電子メール・FAX・専用の応募フォームにてご意見の受付を実施しているところです。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関係部署と情報共有させていただき、今後の参考にさせていただきます。</p>
180	市民説明	<p>あまりに宣伝(広報=情報公開)が小さすぎた。もっと大きく市民に公開して下さい。重大な事項です。</p>	<p>広報まつどに掲載した「パブリックコメント（意見募集）手続きを実施します」の記事は、広報まつどの記事は、本市の実施要綱に基づき実施したものです。その他、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（FaceBook、Twitter）、まつどニュース、近隣町会・自治会にご案内するなど、様々な広報を行っております。</p> <p>今後につきましては、パートナー講座（出前講座）の活用等について検討してまいります。</p>
181	市民説明	<p>今回のパブリックコメントについては、「まちづくり委員会」の傍聴をしていたので期待したのですが、広報まつどに掲載されたパブリックコメント募集の記事を見てがっかりしました。新拠点ゾーンの図柄も示されず、一般の市民にとっては、何のことなのか、どういうパブリックコメントを出したらいいのか全く分かりません。QRコードで読み取れば良いとお考えかもしれませんが、松戸市は、古くからの落ち着いた街ですから、年齢層の高い人びとも長い間住んでいるのです。どんな市民にも開かれた市政を行っていただくためには、もっと親切でわかりやすい広報であってほしいです。</p>	<p>広報まつどに掲載した「パブリックコメント（意見募集）手続きを実施します」の記事は、広報まつどの記事は、本市の実施要綱に基づき実施したものです。その他、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（FaceBook、Twitter）、まつどニュース、近隣町会・自治会にご案内するなど、様々な広報を行っております。</p> <p>今後につきましては、パートナー講座（出前講座）の活用等について検討してまいります。</p>
182	市民説明	<p>この市政上の大問題に対して市民の理解を得ていく方策が明らかではありません。まさか一回のバブコメで済ませる訳ではないでしょうか？市民の理解と支持を得るための道筋を示して下さい。</p>	<p>新拠点ゾーン整備基本計画（案）のパブリックコメント（意見募集）については、広報まつどの他、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（FaceBook、Twitter）、まつどニュースなど、様々な広報を行っております。</p> <p>今後、「松戸駅周辺まちづくり委員会」での審議、答申を経て、市として「新拠点ゾーン整備基本計画」を策定・公表することとしており、広報まつどなどでの情報提供に加え、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明と理解活動をしてまいりたいと考えております。</p>
183	市民説明	<p>次のステップ、具体的レベルにするとときが重要。この時は早めに公にしパブリックコメントを求めて欲しい。</p>	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（FaceBook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。</p> <p>今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
184	市民説明	<p>事業費の負担者である市民の理解を拒むような、透明性を欠く基本計画(案)であると言わざるを得ません。私のように多少なりとも行政の動向に関心を持ち、資料センターまで足を運ぶ市民はごく少数でしょう。なおのこと、市は瘻い所に手が届くくらい市民に対する説明責任を果たすべきです。</p>	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的にシンポジウムを開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（FaceBook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。</p> <p>今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
185	市民説明	<p>内容と手続き上も問題の多い基本計画(案)を強いてバブコメに付す行政の見識が疑われます。今後、このようなことを繰り返さぬよう要請します。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
186	市民説明	新聞でこのようなことがおこっているのははじめて知りました。(10月13日の朝日新聞で) このような市民にとって重要な関係が計画が私たちに知らされ、意見をきくパブリックコメントのしめきりも近づいているのに全市民に説明することもこの程度で良いのですか。広報に小さくのっていたようですが。 新庁舎の検討は、住民にとって大変関心があることです。楽しみでもあります。住民の声をもっともっと丁寧にきく必要がありませんか。松戸市は型だけ意見を求めて、後は行政がどンドンやっていけばよいという市のやり方なのですか。新聞やテレビで全国各地の街づくりを住民と一緒にすすめているいきいきしたニュースをききます。そういうことが街づくり(市民参加の)が必要なのではと強くおもいます。 もっときちんと説明し、市民の声、要望をきくべきです、強く希望します。情報を市民に知らせ、市民の声をきいてください。	広報まつどに掲載した「パブリックコメント（意見募集）手続きを実施します」の記事は、広報まつどの記事は、本市の実施要綱に基づき実施したものです。その他、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook、Twitter）、まつどニュース、近隣町会・自治会にご案内するなど、様々な広報を行っております。 今後につきましては、パートナー講座（出前講座）の活用等について検討してまいります。
187	市民説明	総合的に申し上げて、資料は30年後の2050年の将来図として示されておりますが、新拠点ゾーンについては実は遠い先のことではなく令和3年即ち明年から以下の作業が開始されるとのことです。 市役所機能の再編整備：基本構想・基本設計 公園整備：公開検討・基本計画・基本設計 しかし、目の前に迫った具体的作業であるのに拘らず資料は具体的内容に欠け、意見を申し述べるには十分ではありません。 今後、計画進捗の節目節目ごとに、関係者への説明会の開催、意見聴取を行っていただきたい。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本基本計画の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところ。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 なお、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えており、公園の施設計画においては、いただいたご意見を踏まえ検討してまいります。
188	市民説明	計画進捗の節目ごとの市民説明会を心掛けていただきたい。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところ。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
189	市民説明	市立病院の建て替え問題では、移転先が二転三転し論議のプロセスが全く分かりづらかったように思います。 今、新松戸駅東口の市の区画整理事業の問題でも地権者、住民、市民から「計画を見直してほしい!」との切実な要請が出されています。地域住民の納得のいくような説明で情報公開をお願いします。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
190	市民説明	情報があまりにも不十分。市民の声や意見が十分反映されていない。 市民の税金、しかも多額の税金を使う移転問題で、わずか1ヶ月足らずの期間で市民から意見をいうが、あまりにもやり方がおそまつすぎます。 地域毎に市民説明会など持ってほしい。年度内の計画策定など、とんでもありません。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところ。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
191	市民説明	「新拠点ゾーン」の計画が、かなりの大規模な予算のもと、進められているようですが、わからない事が多くもっと市民にわかるように、詳しい情報を教えてほしいです。 パブコメのメットも、あまりにも早すぎます。わからないままでは、何も書きようがありません。コロナ渦の中でこそ、優先すべき事を、見極めて進めて行ってほしいです。市議会でもんな話し合いがあったかも知りたいです。現在の市民会館は、どうなるのでしょうか？	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところ。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。 また、「松戸市公共施設再編整備基本計画（平成31年4月）」では、現在老朽化が課題となっている図書館本館や市民会館について、「新拠点ゾーン（相模台）の検討に合わせて更新と集約を図ります。」と示されています。 今後の展開といたしましては、「新拠点ゾーン整備基本計画（案）」に示した「試みの場」における第3段階の事業に向けて、民間事業者ヒアリングなどを行いながら検討してまいります。
192	市民説明	市民に説明をきちんとすべき。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところ。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
193	市民説明	松戸市の「新拠点ゾーン」についてですが、内容についても今一つわからないのと、今なぜこれをしなければならぬのか、コロナが第3波といわれ、松戸もけっこうふえています。そんなときなぜこれをすすめる必要があるのかよくわかりません。 私たちはとにかく安心安全な松戸にゆったりと住んでいきたいと思っています。大半の市民が理解できないまま、こんな大規模な計画をすすめてください。もっとみんな知らせてください。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本基本計画の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところ。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
194	市民説明	注意事項に「ご意見への個別回答は行いません」とある。パブリックコメントを集めた後にどのような対応をしてくれるのか、周知広報が必要と考える。行政として、周知広報が必要と考えているか？	全てのいただいた意見と回答は「松戸市パブリックコメント手続実施要綱」に基づき、松戸市公式ホームページへの掲載、行政資料センター、各支所、図書館（本館・各分館）・まつど市民活動サポートセンター、新拠点整備課での閲覧により公表いたします。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
195	市民説明	<p>この度、新拠点ゾーン整備基本計画案および市庁舎移転について知る機会がありました。今までそのような計画がなされていることをまったく知りませんでした。(周辺で話題になることもありませんでしたので)わずか1か月足らず(10月15日～11月13日)で意見公募とか、多くの市民は広報に小さく載っただけでは意見も何も言えません。 多額の税金が使われるのですから、市民にもっと情報を伝えるべきだと思います。聞くところによりますと新庁舎などの建設にあたっては、他自治体では説明会を何度も行ったり、広くアンケートをとる等して住民から理解を得る努力しているそうです。 市民の意見なしに、計画を進めないで下さい。市民生活にもっとも必要とされていることから取り組んでほしいと思います。</p>	<p>本計画(案)は、新拠点ゾーンの求められる機能や空間形成、整備の考え方及び概算事業費などをお示したものであり、市役所の移転そのものをお示したものではありません 新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS (FaceBook・Twitter) において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
196	市民説明	<p>市広報(10月15日号)などのこの件での「お知らせ」は不十分すぎます。「多くの市民は受け身的で大きく知らせても反応があまり…」との思いからでしょうか。その先入観を離れて若い人々の社会性を高め育てる意味でも、こうした機会には大いに参加してもらおうべきです。何回もまたもっとスペースをとって市民に知らせるべきでしょう。まだ時間があります第2次パブコメも含めて今後に向けて改善をお願いします。 災害警報や失踪などの市内アナウンスがされていますが、それを使うのも一法でしょう。選挙投票の呼びかけなどと同様の方法も取れるでしょう。</p>	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS (FaceBook・Twitter) において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
197	市民説明	<p>新拠点ゾーン整備基本計画案及び市庁舎移転問題については、松戸市にとって長期的な大問題ですので、市民の意見を長期に亘って把握して欲しい。そのために、このようなパブリックコメントを公開して、さらにその反応を再びパブリックコメントしてください。 病院立替問題も相当に長期間議論しました。このような大問題は徹底的に市民の意見を聞いて拙速を避けるべきです。最低3年間は市民の意見を何回も聞く手立てをお願いします。</p>	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS (FaceBook・Twitter) において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。 なお、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
198	市民説明	<p>情報が市民に届いていないのではないのでしょうか。 広報での特集を組むなどして広く知らせてほしい。ホームページなどだけではさまざまな年代層にわかりにくい。 地域ごとに住民説明会などを開き、多くの声をつかんでほしい。</p>	<p>新拠点ゾーン整備基本計画(案)のパブリックコメント(意見募集)については、広報まつどの他、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS (FaceBook、Twitter)、まつどニュースなど、様々な広報を行っております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供に加え、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明と理解活動をしてまいりたいと考えております。</p>
199	市民説明	<p>新拠点ゾーン整備基本計画案および市庁舎移転問題のような多額の税金を使う問題が唐突に出され、わずか1か月足らずの期間で市民からの意見を募集し、これで市民の意見を聞いたことにし、年度内の計画策定を目指すなど、とんでもありません。</p>	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS (FaceBook・Twitter) において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
200	市民説明	<p>新庁舎の検討にあたっては、アンケートや市民説明会などを繰り返して市民と共に計画策定していく姿勢が多くの自治体に共通していると聞きます。松戸市も新松戸東側地区で示した様な強固な態度を改めて市民の意見に耳を傾けることを望みます。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
201	市民説明	<p>そもそも新拠点ゾーン整備基本計画なる話突然どこから湧いたのか 平成27年30年 市民は誰もそんなこと知らない。急に今までやってみたいや嘘はいけないと思います。資料が三つあるけれど パブコメするのにどれがどの資料って番号が付いてないから非常に回答しにくい 市の姿勢は不誠実もっとわかりやすくしないと ダメです</p>	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS (FaceBook・Twitter) において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
202	市民説明	<p>駅周辺はもちろんのこと、松戸市全体の総合的な都市計画が必要であること、公共施設へのアクセスの不便さや、老朽化の不安(市役所・線路をまたぐ陸橋・道路)は常日頃から感じています。市民にとって大きな問題であり、多額の税金を投入する事業ですからなおさら、この程度の周知でいいのか疑問です。計画の概要は見ましたが、よくわからないままでは判断のしようがありません。</p>	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS (FaceBook・Twitter) において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>
203	市民説明	<p>市民と若手職員の協同で計画を作成してきたとのことですが、市民はどのような方々が参加されたのでしょうか。また、市議会にはどこまでかられているのでしょうか。市庁舎の移転に関しては、市議会の2/3の賛成が必要と聞きますが、それは市民に広く知らされて同意を得ることと通じます。経過、見直しも含め、情報公開と説明が必要だと思います。</p>	<p>市民参加のプロジェクトであるMATSUDOING 2050ワークショップには、10代から80代までの在住・在勤・在学の一般参加者、第1回から第3回 男性29名 女性17名、第4回から第6回 男性31名 女性20名にご参加いただきました。 現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>
204	市民説明	<p>市の税金を使うのなら、市民にくわしく説明してください。市役所がボロで危険なら、このことをどうして解決するのか市の案を知らせてください。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
205	市民説明	市庁舎移転について、市民にこの計画について十分な情報知らされていません。市民への説明会や、議会できちんと議論してほしい。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
206	市民説明	住民の税金を投入です。182億円と、10月8日にいきなり説明されても、”ええ、これって何、” 決まったのですか。松戸市議会で決まったの・・て感じです。	10月8日に市から説明会を実施した事実はありません。本計画（案）では、新拠点ゾーンの求められる機能や空間形成、整備の考え方、事業スケジュール及び概算事業費についてお示したものと異なります。現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
207	市民説明	まずは、市民の意見を聞くところから始まるのではないですか・・そして、今の場所の立替えの案とか他の候補地などと、時間をかけてやれば良い。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、公式HPやSNS（FaceBook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
208	市民説明	広報まつど10月15日号の記事では具体的に欠けます。	新拠点ゾーン整備基本計画（案）のパブリックコメント（意見募集）については、広報まつどの他、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（FaceBook、Twitter）、まつどニュースなど、様々な広報を行っております。今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供に加え、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明と理解活動をしてまいりたいと考えております。
209	市民説明	今公共施設を再編計画としていろいろな部署をスリムにしている時に、「新拠点ゾーン整備基本計画(案)」を新聞報道で知り驚きました。市民には、「いつ・どこで知らせたのですか?」「市民の代表である市議会では、議論されたのでしょうか?」いつ、どこで、誰が決めたのでしょうか?疑問だらけです。現地建て替え、新拠点ゾーンでの建て替えについての議論、報告書があれば市民に公開すべきではないでしょうか?いきなりのパブコメは、問題があると思います。	新拠点ゾーン整備基本計画（案）のパブリックコメント（意見募集）については、広報まつどの他、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（FaceBook、Twitter）、まつどニュースなど、様々な広報を行っております。今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明と理解活動をしてまいりたいと考えております。
210	市民説明	新拠点ゾーン整備計画(案)概要版を読んだが、あれだけではわかりません。莫大な予算をかけて行うプランなのであり、パブリックコメントを求める以上、もっときめ細かい説明会などを行い、質疑応答があつてしかるべきである。「市民のお金」という意識をしっかりと持って計画してもらいたい。市役所の建て替えのこともあと聞いているが、この概要版ではそれともわかりづらい。市役所は移転するのですか?私は、市役所建て替えは防災上仕方ないしろ、できるだけ費用は抑えるには現地建て替えと移転どちらがメリットが大きいのか判断基準を示して欲しいと思っています。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（FaceBook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
211	市民説明	市長が直接、市民に説明してほしい。新拠点ゾーン整備について、市庁舎の移転について、中央図書館の建設について、市長が直接に市民にメッセージを伝えてほしい。松戸市のまちづくりについての市長の熱意ある説明をぜひ聞きたい。できた計画に写真とメッセージを載せるだけでは情けない。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。いただいたご意見につきましては、関係部署と情報共有させていただきます。
212	市民参加 (WS)	松戸の良いところ悪いところ、そしてポテンシャルがとても具体的に言語化されており、松戸の理想像を理解することができました。(P15-26)しかし、このMATSUDOING 2050のワークショップの性別・年齢層・属性をもっと明確に提示すべきだと感じます。参加者人数が全体で100-150名とあったところでしょうか。もっと多くの参加者ともっと多くの属性の意見が必要なのではないでしょうか。30歳以下の割合はどのくらいでしょうか。子供がいる親の割合はどのくらいでしょうか。女性の割合はどのくらいでしょうか。具体的な分布を出していただけると幸いです。	ワークショップについては、10代から80代までの在住・在勤・在学の一般参加者、第1回から第3回 男性29名 女性17名、第4回から第6回 男性31名 女性20名にご参加いただきました。いただいたご意見を参考に、今後も継続して開催を予定している「MATSUDOING 2050(ワークショップなど)」の活動に活かしていきたいと考えております。
213	市民参加 (WS)	私は、20年間松戸に生きてきて松戸のことを知ろうとは考えたことはありませんでした。それは松戸に住まう若者の大きな問題点ではないでしょうか。私自身、コロナウイルスがなければ、松戸に目を向けることがなかったかもしれません。しかし、松戸のまちを歩いてみると松戸には松戸の良さをとても感じるすることができました。2050年の松戸を考える時に、考えるべきことは2050年の松戸を支える世代はどんな世代であるかではないでしょうか。私たちが未来に継承していくまちづくりは決してハードなものだけではありません。つまりは空間のみを残しても文化が継承されてなければ意味のないものになってしまいます。どんなまちにしたいかを考えるべきなのは決して、100-150名程度の人間ではないはずで、松戸がどんなまちで松戸をどんなまちにしていこうかが重要かを考えることは空間を作ることと同様に重要なことです。ワークショップなどの市民の声を取り入れることは継続しつつ、中学生や高校生にも伝えていく活動を教育の一環として行うべきであると感じます。また民間との連携はかなり重要であると感じます。まちを作るのは決して行政だけではありません。地域のコミュニティを理解しながら、新拠点を形成していくことを願います。	ご指摘のとおり、まちづくりは箱物の空間を造ることではなく、地域の特性・暮らし方が長い年月の中でまちをつくり、やがて風土・文化となると考えています。また、まちづくりは、市民・民間事業者・行政の協働により取り組んでいく必要があると考えております。新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。なお、本ワークショップでは、10代から80代までの在住・在勤・在学の一般参加者、第1回から第3回 男性29名 女性17名、第4回から第6回 男性31名 女性20名にご参加いただきました。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
214	市民参加 (WS)	このプロジェクトは、実現可否や予算をいっさい考慮しない、参加者の希望・要望を発言するだけであった。そのような意見を新拠点ゾーン整備基本計画にそのまま掲載されても、実現可能とは思えない。行政として、どのように実現していくつもりなのか？実現の為には、当然取捨選択も発生し、逐次情報公開する必要がある。	市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップは、実現可否や予算などによる前提を設けたなかでの議論ではなく、30年後の松戸駅周辺の将来を見据えて「つくり続ける取り組みにいくこと」や、「自分事として責任をもって考えていくこと」を理念に掲げたまちづくりのプロジェクトとして開始したものです。今後も「シンポジウム」や「ワークショップ」などの取り組みを実施し、段階的に市民のご意見をいただきながら、計画に反映させていきたいと考えております。 なお、今後、各事業において詳細な計画・設計を検討していく中で更なるコスト縮減を図るとともに、効率的かつ効果的な公共施設再編及び都市機能更新を図ってまいります。
215	市民参加 (WS)	日常的にそこで暮らし生活する人の視点が欠けているように思います。そこで暮らしている人がどうあって欲しいと思っているのか、また現在のまちの状態をどう思っているのか等を想像するためにも実際に歩いて現状を知る必要があると思います。パブリックコメントを求めるのは多くの人の意見を聴くためとは思いますが、まずはウオッチングして自分の目と足で確かめる事が大事かと思えます。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
216	市民参加 (WS)	「松戸駅周辺まちづくり委員会」で「新拠点ゾーン整備計画案」を一緒に検討するにはあまりにも検討内容が膨大すぎる。「新拠点ゾーン」についてはもっとしっかりした構想でいいいな議論をすべきである。勿論議会各議員様々々な市民活動の分野の市民にも意見・討論を求めて欲しい。	「松戸駅周辺まちづくり委員会」の委員については、学識経験者のほか、町会・自治会連合会・松戸市商店会連合会・松戸駅周辺活性化協議会・松戸商工会議所等の市民意見の代表の方々に委嘱しているところです。 また、これらの意見に加えて市民意見をさらに取り入れるための取り組みとして、「意思決定主体型市民参加」である「MATSUDOING 2050」にて公募市民と若手職員によるワークショップを開催いたしました。 こちらには、10代から80代までの在住・在勤・在学の一般参加者、第1回から第3回 男性29名 女性17名、第4回から第6回 男性31名 女性20名にご参加いただきました。
217	市民参加 (WS)	(素案)ではあるけれど、抽象的な感じが強いです。市民に開かれたワークショップ等を広く開催すべきだと思います。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式SNS（Facebook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 今後につきましても、テーマに応じた「シンポジウム」や「ワークショップ」などの取り組みを実施してまいりたいと考えております。
218	市民参加 (WS)	マツドゥーイング2050に参加いたしましたが、市役所の計画は全く話に出ていませんでした。予算までついているのであれば、せめてここで市民に話して欲しかった。ここで市役所ありきだったのかと、知った。とても悲しく思いました。	全6回の市民ワークショップでは、新拠点ゾーンの計画や庁舎の建替え・移転そのものを議論するのではなく、松戸駅周辺地域の30年後の将来像について議論したと認識しております。 市役所機能につきましては、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
219	市民参加 (WS)	「ワークショップでは、本計画の内容そのものを議論するのではなく、松戸駅周辺地域の30年後の将来を議論していきました」とありますが、そうであればこの基本計画案は、どのような体制で策定されたのでしょうか。「松戸駅周辺まちづくり委員会」が計画策定主体でしょうか。あるいは担当課によるインハウスの作業でしょうか。計画の策定主体と検討体制を明確にしてください。 本基本計画は松戸市の将来を左右する極めて重要なものです。その計画をオーソライズする過程は可能な限りオープンであるべきです。ワークショップの結果は反映されているようですが、ワークショップで直接議論された計画ではないとなると、現時点のこの計画にどの程度民意が反映されているのかを、パブコメを求められた市民は知る必要があります。このことを明らかにした上で、パブコメがなされるべきだと思います。	ワークショップでいただいた全てのご意見は松戸市公式ホームページに公表しておりますが、これらのご意見も参考に、市が「新拠点ゾーン整備基本計画（案）」をとりまとめ、「松戸駅周辺まちづくり委員会」の調査審議を経て、市民の皆さまのご意見をいただくためにパブリックコメントを実施いたしました。
220	市民参加 (WS)	図序-1-1 にワークショップと本計画(案)との関係を明記ください。ワークショップ参加者の一人として下記の認識は共有しております。 P13「新拠点ゾーンの整備を前提とせずに松戸駅周辺地域の将来について議論を行いました。」 P14「本計画の内容そのものを議論するのではなく、松戸駅周辺地域の30年後の将来を議論していきました。」 しかしながらこのように書いているにもかかわらず、本計画ではワークショップや一部の声を使って計画内容を解いています。こういうことははいけません。行政は信頼が最大の資源のハズです。なぜこのようなことが行われているのでしょうか。ワークショップの最大の成果は、多様な意見の存在を共有することが来たことです。今回のワークショッププログラムでは、参加者が意見交換や集約をしていません。恣意をもって編集してはいけません。対岸に渡りたいがためにワニを利用した因幡の白兔の様ではありませんか？ご説明を頂きたいと思します。	ワークショップでいただいた全てのご意見は松戸市公式ホームページに公表しておりますが、これらのご意見も参考に、市が「新拠点ゾーン整備基本計画（案）」をとりまとめ、「松戸駅周辺まちづくり委員会」の調査審議を経て、市民の皆さまのご意見をいただくためにパブリックコメントを実施いたしました。
221	市民参加 (WS)	ワークショップでは大変お世話になりました。多様な意見を聴くことができ、勉強になりました。どうもありがとうございます。今後ともよろしく願いたします。	ワークショップにご参加いただきありがとうございます。今後につきましても、テーマに応じた「シンポジウム」や「ワークショップ」などの取り組みを実施してまいりたいと考えております。これからもご協力くださいますようよろしくお願いいたします。
222	議会	議会で特別なグループを作って検討してください。	市議会に対しても、各検討段階において丁寧に報告・説明し、予算等の議決をいただきながら進めてまいりたいと考えております。
223	議会	新拠点ゾーンの中心は、市役所移転だと思えます。松戸市政で最大の課題について、市議会と行政が基本的な認識を共有することが何よりも大切です。行政の立場から、市議会内に移転問題の特別委員会を設置し、市民の意見も聞きながらその方向性(現地建て替えか、相模台への移転か)を出すべきではないかと思えますが、行政の立場からどのように判断されていますか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 市議会に対しても、各検討段階において丁寧に報告・説明し、予算等の議決をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
224	議会	市議会と連携して市役所移転問題を検討するために、特別委員会を市議会内に早期に設置することを求めます。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 市議会に対しても、各検討段階において丁寧に報告・説明し、予算等の議決をいただきながら進めてまいりたいと考えております。
225	議会	市民の代表者たちで構成される市議会の同意なき市庁舎移転・建て替えをメインとする基本計画(案)は認められません。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 市議会に対しても、各検討段階において丁寧に報告・説明し、予算等の議決をいただきながら進めてまいりたいと考えております。
226	議会	素案の中心の市役所移転計画での市議会との論議の経過が不明瞭です。市議会内に特別委員会を設置し、メリットとデメリットを公開し市民の声も聞く機会(現地か移転かなど)をご用意ください。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等に加え、市議会に対しても、各検討段階において丁寧に報告・説明し、予算等の議決をいただきながら進めてまいりたいと考えております。
227	議会	これからの松戸にとって大事な事業となるので、策定委員会など公の組織をつくり、経過を知らせてほしい。	市議会に対して、各検討段階において丁寧に報告・説明し、予算等の議決をいただきながら進めてまいりたいと考えております。
228	周辺まちづくり	この度は、一人の松戸市民としてこのような発言機会が与えられたことに感謝しております。 MATSUDOING2050なるワークショップは住民自治に乗っ取った素晴らしい企画であり、私も是非参加したいものでした。新たなワークショップが始まることを待ち望んでおります。 まず、今回の新拠点ゾーン基本計画に関する私の考えの前提としては、今回の計画案が示唆するとおり、これが松戸駅周辺の一体的な開発の中に位置づけられると考えています。従って、今回の計画は松戸駅周辺の将来、そして現状に沿って展開されるべきものであると考えています。私は今年選挙権を得た一人の若者であり、若者の抱くリアルな松戸の印象などを知っており、かつその上で、私は松戸が他市と比べて幾分の歴史がある街であることも知っております。松戸発展への関心を持つ若者が少なからずいることをここにお伝えします。 『東口再開発における新拠点ゾーンの位置づけ』 私としては、いや、若者としては、東口ほど蔑ろにされている街づくりはないと思います。具体的には松戸駅から出て思うのは、理解し難い配色のビルが並び、かつそのビルの高さも微妙で、一般人が利用し難い入口になっており、実際にテナントの内容も良く言ったとしても、「ニッチ」なものになっており、駅前徒歩0分のビルとしては不適切としか言いようがありません。 よく他の市民や都民が松戸駅に訪れて苦笑いをしますが、これは致し方ないと思います。 私は東口がこのような姿であるのは相応しくないと考えます。なぜなら東口は聖徳大学と繋がっていて、恒常的に人が多く、市街地形成には申し分ない条件が揃っているからです。現在東口から聖徳大学に向かうまでに、一般人が利用するような施設は、本屋、ドラッグストア、ファーストフード店、銀行、そしてプラレレであります。プラレレさんが途中にあることは良いことですが、他があまりにも物足りないです。比較すること自体不本意ですが、柏駅東口から柏神社に至るまでにどれほどの魅力的な商業施設があるでしょうか。 そこで、本計画に示される通り、東口の導線の再整備は急務であると考えます。既に着工しているJR、新京成の松戸駅再開発事業に基づけば、メインエントランスはやや南側(上野側)に移り、先程述べた配色の理解し難いビルが街の顔になってしまいます。これはなんとも避けたいところです。従って、エントランスから新拠点ゾーンまでは直線的な導線を再整備、再開発し、かつ新拠点ゾーンの魅力でもある高低差を利用することで、『立体的な街』を作り上げるのが良いのではないのでしょうか。(イメージとしては、東京都立川市にできた『グリーンズプリングス』に立体感を加えたものです。) これは本計画や以前の市の資料からの推測に過ぎませんが、住商アーバン開発(旧松戸開発センター)のプラレレさんの再開発が必然的に必要になると思われます。ここ以上触れてしまうとあまりにも蛇足してしまうので控えさせていただきますが、こうした民間企業との連携は、今回の新拠点ゾーンの施設が活用されるための前提として重要な鍵になります。	本計画(案)第3章(P49)「1. まちの特色を生かし持続可能な空間形成とすること」にお示ししているとおり、松戸駅周辺におけるまちづくりについての課題を認識しております。 いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
229	周辺まちづくり	「松戸市全体としてどのように」していくのか、その中で「松戸駅周辺の位置づけ」はどうあるべきなのか、ということが始めにあるべきだ。駅周辺のことだけでは適切性を評価しにくい。また、駅から離れている市民には「他人事」と感じてしまうこともあるだろう。	本計画(案)では、上位計画を踏まえ、本市をとりまく近年の社会動向や今後想定される大規模災害や新型コロナウイルス感染症などの未知の問題への考え方を含めることで、長い時間軸における人々のライフスタイルやワークスタイルの変化に柔軟な対応ができるような計画(案)としてお示ししております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
230	周辺まちづくり	ビルや道路や街路樹と言った外観もそこに住む人々によって違って見えてくると思います。最後にまちを彩るのはそこに住み生活する人々だと思えます。まちのつくり方が人々に安らぎをもたらすようなものであったら、住んでよかった、また行きたいと思うでしょう。 松戸市は、1998年12月10日に「人権尊重都市宣言～優しい心を育むまち松戸をめざして～」を行っています。又、地域に人権文化を築くことをめざした「松戸市人権施策に関する基本方針」は、1997年2月に決めて今日も推進しています。この「宣言」や「方針」を画餅にしないまちづくりを進めて欲しいと思います。松戸に住む人、来る人の多くが行き交う場所にはその町の在り方を感じさせるモニュメントや優しい心を育むような文化的な施設は不可欠だと思います。「心優しい人が育つまち」をめざしたまちづくりが進められることを願っています。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
231	周辺まちづくり	新拠点ゾーンを考えて、ここでは触れていませんがその将来を見据えるとき、市内各所の問題も深く関係して来ることは明らかだと思います。矢切の斜面林や農地を取り巻く問題もその一つで、こういうことを避けて通れないのではないかと思います。	本計画(案)の内容に関するご意見ではございませんので、回答を控させていただきます。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
232	周辺まちづくり	イメージの段階だが松戸市全域を踏まえた視点で考えるべきではないだろうか。	本計画(案)では、上位計画を踏まえ、本市をとりまく近年の社会動向や今後想定される大規模災害や新型コロナウイルス感染症などの未知の問題への考え方を含めることで、長い時間軸における人々のライフスタイルやワークスタイルの変化に柔軟な対応ができるような計画(案)としてお示しております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
233	周辺まちづくり	エリアマネジメント会社については、市内でまちづくりを考えて活動している企業等も参加できるようなオープンな仕組みで決めていただきたいと思います。	本計画（案）第4章（p.61）に、「まちづくりを推進し、将来にわたって魅力あるまちを持続させるためには、多様な主体(市民、民間事業者、市民団体、町会・自治会、協議会、大学、行政など)が参画し、新拠点ゾーン内で様々な市民活動がスムーズに展開できる産官学民連携の仕組みづくりが求められます。・・・(省略)・・・行政や民間の管理の垣根にとられない一体的な活動領域で管理し、まちの魅力創出・ブランド価値向上を目的に地域のアイデアを積極的に展開した運営のできるエリアマネジメント体制を構築します。」とお示しております。 いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
234	周辺まちづくり	ワークショップでは、松戸駅周辺のまちづくりについて広く意見が出されています。多くの方々が、西口の活性化の課題、東口の交通渋滞の課題、東西をつなぐ相模台から江戸川までのシンボル軸、江戸川・坂川・旧街道・相模台などの地形と歴史を生かしたまちづくり、雑然として治安も悪い駅前課題、水害など自然災害の課題を解決することを望んでおり、新拠点ゾーン以外のエリアに多くの意見がみられます。 ワークショップの意見から考えても、多くの市民の意見であった、駅前～西口エリア～旧街道・坂川～江戸川の一体性を重視し全体基本計画をセットでつくることを求めます。 P.55の図は、全体基本計画がないのでこのようになってしまうのですが、新拠点ゾーンだけが整備されて、これが中心となって、あとは計画もなく、語尾の「期待されます。」という無責任な表現に見て取れるように「波及するのみ」と考えられているように見えます。 駅前の核を中心とした全体基本計画がないと、市は新拠点ゾーンだけを整備しようとしているという誤解が生じるのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり、ワークショップでは、本計画（案）の第1章に一例を掲載しておりますが、新拠点ゾーン以外の松戸駅周辺の商業・業務ゾーン、江戸川周辺・旧水戸街道周辺などの水・歴史のゾーン、戸定が丘歴史公園周辺(千葉大含む)のゾーンなどについても多くの課題やご意見をいただきました。 これらにつきましては、本計画（案）とは別に、まちづくりの機運に合わせて段階的に対応が必要と認識しております。 また、本計画（案）第3章（p.55）の最終行「・・・が期待されます。」の表現が無責任に感じるとのご意見を踏まえ、最終行を「・・・を目指します。」に改めます。
235	周辺まちづくり	「既存市街地である松戸駅周辺や江戸川・旧松戸宿・坂川周辺との関係性や役割分担、・・・などの特性を考慮し、・・・新拠点ゾーンに求められる3つの機能として整理・・・」とありますが、どのような役割分担がなされたのか具体的な説明をお願いします。新拠点ゾーンの整備が、上記地域の相対的地盤沈下を招くようなものであってはなりません。そうではなく相乗効果を上げる計画であることを、明確な根拠とともに示していただけると上記地域の皆さんが安心すると思います。	本市では、松戸駅周辺のまちづくりの方針をお示する、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」を作成し、各ゾーンと歴史・水資源を示し、それぞれの「取り組みの方向性」をお示しております。 それぞれの「取り組みの方向性」として、「Ⅴ.まちづくり方針（p.8）」の「新拠点ゾーン」では、「新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる拠点」を目指しており、「Ⅴ.まちづくり方針（p.9）」の「商業・業務ゾーン」では、中心市街地にふさわしい賑わいを高めるための都市機能の更新、「Ⅴ.まちづくり方針（p.12）」の水・歴史資源である江戸川・坂川や旧水戸街道沿いの寺社や戸定が丘歴史公園や千葉大では、多くの人が水や歴史を楽しめ、これらのゾーンをネットワークで結ぶ街づくりを目指しております。
236	周辺まちづくり	松戸駅東口エリアについて、エリアの位置づけ・コンセプトを明確にして進める今回の整備計画には概ね賛成です。気になるのは新拠点ゾーンが東口エリアに限っている点です。東口エリアと西口エリアにまたがった構想をすることができればより効率的かつ魅力的な街づくりができたのではないかと考えています。東口エリアと西口エリアをつなぐ交通が不便なためにそうせざるを得なかったのかもしれませんが、今回の新拠点ゾーンが明確になったら西口エリアの整備もぜひ進めていっていただきたいと思っています。	本計画（案）第3章（p.55）に「新拠点ゾーンと戸定が丘歴史公園周辺、旧松戸宿周辺、江戸川周辺などを、歩行者ネットワークで結び、時代とともに変化し続ける松戸駅周辺地域と調和・連携することで新たな人の繋がりが活動が松戸駅周辺全体に波及していくことが期待されます。」とお示しているのとおり、新拠点ゾーンは、松戸駅東口エリアに限定した計画ではなく、松戸駅周辺全体を対象として新拠点ゾーンで生まれる賑わいなどが波及していくよう段階的にまちづくりを進めてまいります。
237	周辺まちづくり	○松戸を老後も住みやすい街にしたい 松戸を観光地にするのではなく、住んでいるひとが快適であるようにという視点を持つ。高齢の単身世帯又は高齢者のみで構成する世帯が増加することを踏まえ、ある程度経済的にゆとりのある高齢者に魅力を感じてもらえるまちづくりをする。 1. 電柱や凸凹のない歩きやすい歩道 2. 高齢者や足の不自由な方が遠回りする必要のない道路(たとえば、西口のロータリー出口に歩行者を遠回りさせない横断歩道が必要) 3. 徹底した防災対策(市庁舎建て替えを含む)・医療体制 4. 安全に、静かに四季を楽しめる公園 5. 車を運転しない人も便利に暮らせる商業施設(駅前歩いて回れる範囲内で日用品から高級品まで何でも揃うことが重要。たとえば、地域密着型の新しい百貨店のモデルケースをつくる、オンラインショップのショールームを集合させた施設をつくる、などなど) 6. 友人や親戚などをもてなせる場(ゆったりと静かに食事を楽しめるレストラン、お洒落なメインダイニングやバンケットを備えたきちんとしたホテル)	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
238	事業手法事業費	新拠点ゾーン整備計画の概算事業費は、2019年3月議会での議会答弁で総事業費は457億円と答弁されています。ところが、今回の素案では301億円となっています。457億円から301億円に縮小された経過を説明ください。	平成31年3月議会での答弁内容と本計画に記載している概算事業費の差異につきましては、概算事業費を算出する前提条件などが異なることから生じたものです。 具体的には、新拠点ゾーン整備は段階的に進めてまいります。本計画では、第1段階の基盤整備と第2段階の市役所機能の再編整備に関する事業費等を掲載しておりますが、第3段階の商業・業務・文化機能については、更なる検討の上でお示しする必要があると考えております。
239	事業手法事業費	基本構想案から整備計画素案までの間で、コンサルに支払った額は総計でどのようになりますか。	本計画(案)の内容に関するご意見ではございませんので、回答を控えさせていただきます。
240	事業手法事業費	松戸市の緊急課題は、市役所の建て替えと六高台のクリーンセンターの建て替えだと思います。ところが、新松戸駅東口の市施工区画整理事業にも多額の支出を計画しています。地権者・住民・市民から「計画を見直してください」との切実な要請が出されています。市役所移転等のために、全力をあげるべきだと思いますが、見直す考えはありますか。	本計画(案)の内容に関するご意見ではございませんので、回答を控えさせていただきます。
241	事業手法事業費	新たな商業・文化建設予定とのことですが、その内容と必要費が分かりません。	「新拠点ゾーン整備基本構想（平成30年3月）」では、機能のあり方として、「松戸駅周辺の老朽化した文化施設の再編及び庁舎の移転によって、多世代・多様な市民が交流しつつ、多彩な都市活動・市民活動・文化活動を創り出し発信する中心拠点をつくります。」とお示しています。 また、「松戸市公共施設再編整備基本計画（平成31年4月）」では、現在老朽化が課題となっている図書館本館や市民会館について、「新拠点ゾーン（相模台）の検討に合わせて更新と集約を図ります。」と示されています。 今後の展開といたしましては、「新拠点ゾーン整備基本計画（案）」に示した「試みの場」における第3段階の事業に向けて、「（仮称）松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で検討してまいります。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
242	事業手法 事業費	30年後を見据えた計画では、少しも心が躍らない。せめて10年後に見える景色を示してほしい。 事業費の案が根拠薄弱に感じられる。せめて市役所移転に特化して事業費算出を行い、不足分も含めて明示し、市民の知恵を求めているかがどうか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。
243	事業手法 事業費	現時点で想定している事業費総額はいくらなのか？いくらかかるかも分からない事業に対して、コメントのしようがない。商業・業務・文化機能の整備がいくらになるのか、またそれ以外に発生が想定される費用はいくらなのか。	「新拠点ゾーン整備基本構想（平成30年3月）」では、機能のあり方として、「松戸駅周辺の老朽化した文化施設の再編及び庁舎の移転によって、多世代・多様な市民が交流しつつ、多彩な都市活動・市民活動・文化活動を創り出し発信する中心拠点をつくります。」とお示ししています。 また、「松戸市公共施設再編整備基本計画（平成31年4月）」では、現在老朽化が課題となっている図書館本館や市民会館について、「新拠点ゾーン（相模台）の検討に合わせて更新と集約を図ります。」と示されています。 今後の展開といたしましては、「新拠点ゾーン整備基本計画（案）」に示した「試みの場」における第3段階の事業に向けて、「（仮称）松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で検討してまいります。
244	事業手法 事業費	相模台を新拠点ゾーンとして整備する必要性はどこにあるのか？巨額の費用をかける必然性がどこにあるのか？夢物語を見るのは楽しいかもしれないが、費用が発生し、将来の市民が負担することを考えているのかと思う。	現庁舎は、耐震性能の不足はもとより施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためにはその建替えは急務であることから、できる限り早期に整備が可能となるスケジュールとしております。 現在の「新拠点ゾーン」は、旧法務局や旧相模台官舎が廃墟として残り、松戸中央公園や相模台公園は規模・特性が活かされておらず、既存の市道主2-68号（S字道路）は、急勾配で歩道や路肩が狭く歩行者や自転車利用者が使いづらい状況となっています。 そのため、土地区画整理事業により、道路整備、敷地の造成工事を行い土地の区画を整えることで、松戸駅周辺の土地利用としてふさわしい基盤を形成することが必要と考えています。
245	事業手法 事業費	何百億もかけて相模台の山を大開発するというのですが、どういうものを建てるのですか。 市庁舎、美術館など文化圏とするなど、いろいろ構想されているそうですが市民の私たちはよくわかりません。今、コロナ禍でどんどん感染者が増えている、安全安心でない不安な状況のなかで、1番大切に取りくむことが何か考えて下さい。開発に大きな借金ほしないで下さい。 年金が減るなかで、社会保険料などは上がっています。生活がどんどん悪くなっているのに、これ以上苦しめないで下さい。まず、私たちにどんな内容なのか、はっきり開示してくれることを強く要望します。	現庁舎は、耐震性能の不足はもとより施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためにはその建替えは急務であることから、できる限り早期に整備が可能となるスケジュールとしております。 現在の「新拠点ゾーン」は、旧法務局や旧相模台官舎が廃墟として残り、松戸中央公園や相模台公園は規模・特性が活かされておらず、既存の市道主2-68号（S字道路）は、急勾配で歩道や路肩が狭く歩行者や自転車利用者が使いづらい状況となっています。 そのため、土地区画整理事業により、道路整備、敷地の造成工事を行い土地の区画を整えることで、松戸駅周辺の土地利用としてふさわしい基盤を形成することが必要と考えています。
246	事業手法 事業費	確か「まちづくり基本構想」が2015年に策定されてから今回まで5年余も要しています。その理由はなんでしょうか。また、事業費(概算)は、2019年3月議会での457億円と示され、今回の素案では301億円になっています。構想案から素案までの間でのコンサル額は？ また、それは毎年支払われていたのでしょうか。その経過などの市民への説明会をお願いします。	平成31年3月議会での答弁内容と本計画に記載している概算事業費の差異につきましては、概算事業費を算出する前提条件などが異なることから生じたものです。 具体的には、新拠点ゾーン整備は段階的に進めてまいりますが、本計画では、第1段階の基盤整備と第2段階の市役所機能の再編整備に関する事業費等を掲載しておりますが、第3段階の商業・業務・文化機能については、更なる検討の上でお示しが必要であるとと考えております。
247	事業手法 事業費	素案にある建設計画にある駐車場整備代40億円は高すぎます。 新庁舎完成後30年間で駐車場の利用収入が30億円以上との試算からの建設計画ですが、時代の流れに逆らった計画といえるでしょう。自動車の利用を減らして省エネ、資源節約、地球高温暖化防止こそ緊急課題です。大手コンサルによるこれまでのコピー的な案ではなくて、グローバル視点からだけではなくローカルな現場からも時代の先を読むことがとても重要です。根本的な見直しが必要でしょう。	松戸駅周辺は、道路幅員が狭く交通基盤が脆弱な状態のため、交通需要マネジメントとして需要を減らしていく施策も必要であると考えております。
248	事業手法 事業費	第4章で第1段階から、第3段階まで、段階的に整備するとしていますが、第3段階の文化・業務・商業機能の整備に関する内容に十分な説明がありません。(今後検討とのこと)松戸市が担う機能と民間に期待する機能がはっきりしません。 松戸市が担う機能を明確にし、概算事業費を明示しなければ、計画とは言い難いと思います。可能な範囲での明示を要望します。また、民間からの投資を促進するためのインセンティブ的要素の計画(考え方を含む)も必要と考えます。現在の概略事業費は計画の一部として301億円が予定されておりますが、概算の総事業費の明示を要望します。	新拠点ゾーンの整備は段階的に進めてまいりますが、本計画では第1段階の土地区画整理事業から第2段階の市役所機能の再編整備までの事業費をお示ししております。第3段階の商業・業務・文化機能の整備につきましては、民間事業者のアイデアやノウハウ、資金力を活用し、本市の財源状況も踏まえ、最も経済的・効率的な事業手法を検討いたします。
249	事業手法 事業費	光熱費削減を除き、削除を要望します。114億円のうち、自動車駐車場収益(31億円)と自転車駐車場収益(14億円)は収入が計上されているようです。事業効果＝収入－(投下費用＋ランニングコスト)で捉えるべきと考えます。また、庁舎賃料削減51億円は松戸市が民間等から借りている3,872.14平米(71ページに記載)の賃料相当だと推測されます。これを事業効果に含めるのは無理があると考えます。	ランニングコスト等につきましては、今後施設を検討する段階でお示ししてまいりたいと考えております。 また、市役所機能再編に伴い、現状の課題である分散化による庁舎の借り上げ料や共益費を節約できると考えており、これを想定される事業効果として整理しております。
250	事業手法 事業費	コロナ後を考えると、「多すぎる材料」を新拠点計画に盛り付け過ぎているように思えますが。	本計画(案)第4章(p.59)に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症などの未知の問題については、現時点で回答の道筋を本計画に反映させることは困難であるため、可変性を持ち、変化に応じて対応可能な柔軟なまちづくりを行うことや、すべてを施設で埋め尽くすのではなく、都市の中の(余白)オープンスペースが価値を生み、柔軟性、可変性につながるという考えを取り入れ、長い時間軸における人々のライフスタイルやワークスタイルの変化に柔軟な対応ができるような計画(案)としております。
251	事業手法 事業費	P.50第2節3. では、相模台公園のある「支える場」について、「高低差を利用して建物を整備することで、台地と低地のどちらの市街地にもアクセスが可能」としていることから、地形を壊して斜面を建物で覆う計画のように読めますが、このような地形の大改変は絶対に行わないよう要望します。	「高低差を利用して建物を整備することで、・・・」の記述が地形を壊して斜面を建物で覆うかのように誤解を与えてしまうので、本計画(案)第3章(p.50)の下から11行目を『相互通行とすることで、・・・』に改めます。
252	事業手法 事業費	北側の「試みの場」においても、プレーの再開発との一体整備を行うことにより、「高低差を利用して建物を整備することで、台地と低地のどちらの市街地にもアクセスが可能」な、「支える場」と全く同様の条件になります。しかも北側の「試みの場」の高低差は、既に地形改変された歴史も残っていないため、改変により緑地環境の向上も可能になりますので、上下からのアクセス機能を「支える場」にのみ求める必要はありません。「支える場」の必要機能(床面積)を減らし相模台公園の地形改変が最小となるよう、「試みの場」への機能分担も検討してください。	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 また、本計画(案)第3章(p.59)に「そのため、『MATSUDOING 2050』などの取り組みを継続するとともに、段階に合わせたテーマごとのワークショップやシンポジウム、社会実験などを開催し、市民とともに計画を進めていきます」とお示ししているとおり、新拠点ゾーン内の具体的な施設計画や土地利用については、今後につきましても、テーマに応じた「シンポジウム」や「ワークショップ」などの取り組みを実施してまいりたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
253	事業手法 事業費	「支える場」には、国道6号への近接性を敷地特性としていますが、「試みの場」においても、近接性に大差はないものと思われしますので、この条件においても両敷地は同様の条件にあり、「支える場」の地形を大改変する正当な理由にはなりません。	「支える場」については、傾斜地の安全性は考慮いたしますが、地形を大改変することはありません。
254	事業手法 事業費	P.51 のバブルダイアグラムではなく、土地利用計画図または予定建築物が描かれた市街化予想図を作成し、その施設用途を明記して提示してください。	新拠点ゾーンはほぼすべてが国有地となっています。そのため、事業詳細については、現在、国と協議しております。
255	事業手法 事業費	新拠点ゾーンの整備により、自動車、歩行者とも交通量が大幅に増加することから、法務局及び裁判所の敷地の整序を行い、道路線形を改善し、見通し確保と安全な歩行者横断施設の整備を行うことを要望します。	市道主2-68号(S字道路)につきましては、安全性に配慮した最善の道路線形となるよう交通管理者と協議してまいります。
256	事業手法 事業費	駐車場の共用の際にはある程度の再整備が必要なことから、これにあわせて敷地の整序を行うことは項と思われします。	自動車駐車場は、事業の第2段階で整備する「支える場」の施設計画で計画することを考えております。
257	事業手法 事業費	新拠点ゾーン単独ではなく、ブラーレの再開発と一体となった「商業・業務・文化機能の整備-試みの場-」とすることが必須であり、そうでなければ戦略性を打ち出せるものとはならないため、ブラーレとの一体再開発を本計画に明記するよう要望します。	民間商業施設に関する記述は本市の一存で計画に掲載することはできませんが、引き続き、周辺の施設権利者と意見交換をしてまいります。
258	事業手法 事業費	P.60で、「土地区画整理事業では、保留地を定め施工費用に充てることのできるため、事業費を抑制することができます。」とされていますが、保留地が売れなければこの論理も成り立ちません。保留地は、商業が含まれる第3段階の中に設定されると思われしますが、第3段階は「今後検討」とされており、事業者が現れなければ保留地が売れず、その間は施行費用を市が負担することになるため、事業者が決まらないうちに大きなリスクを抱え事業着手することがあってはなりません。	こちらは、土地区画整理事業の一般的な仕組みを記載しました。保留地は市が活用する可能性もあり、ご指摘のように、保留地を処分して本事業の費用に充てるかのような誤解が生ずる可能性がありますので、本計画（案）第4章（p.60）の18行目を「土地区画整理事業では、宅地の形を整形にして道路勾配の緩和、相互通行、歩道や路肩の拡幅、ライフライン(上下水道・ガス・電気等)の整備を行います。なお、これにより支出は伴いますが、施行者が保留地として事業費相当の土地を取得することができます。」に改めます。
259	事業手法 事業費	本基本計画にブラーレとの一体開発を明記できるようになった段階で基本計画が策定され、その後、土地区画整理の事業認可や都市計画変更の手続きに向けて進むよう、お願いします。	民間商業施設に関する記述は本市の一存で計画に掲載することはできませんが、引き続き、周辺の施設権利者と意見交換をしてまいります。
260	事業手法 事業費	P.66で、市庁舎跡地売却益が財源として計上されていますが、庁舎跡地は単に売却するのではなく、跡地を公共施設再編の連鎖をスタートする種地として考えるよう要望します。	事業を実施するうえで財源の確保は大切であると考えています。本計画では、現庁舎につきましては、跡地を売却して本事業財源に充てるとしております。しかしながら、売却に際しては、跡地の有効活用に関する条件を付したうえで行う必要がございますが、まずは、本事業が進められ、跡地の議論ができる段階になりましたら、跡地利用の計画をお示しする必要があると認識しています。
261	事業手法 事業費	そもそも、松戸市公共施設再編整備基本計画には、跡地に関する計画の記載がないことから、市役所だけの問題ではなく、全体の再編計画に連鎖型の計画を加えることは可能であり、このような連鎖型再編計画の策定をお願いします。	事業を実施するうえで財源の確保は大切であると考えています。本計画では、現庁舎につきましては、跡地を売却して本事業財源に充てるとしております。しかしながら、売却に際しては、跡地の有効活用に関する条件を付したうえで行う必要がございますが、まずは、本事業が進められ、跡地の議論ができる段階になりましたら、跡地利用の計画をお示しする必要があると認識しています。
262	事業手法 事業費	道路整備(S字道路)は、延長わずか200m程度と思われしますが、約8億円の工事費が計上されており、400万円/㎡という非常に高額な工事単価となっています。このことから、道路整備のために相模台公園の地形が大改変され相当な高さの擁壁が続く構造が想定され、とても歩きたくない不快な道路になるものと思われします。前記の交通計画上の理由だけでなく、膨大な事業費から、また道路空間の快適性の面からも、この道路整備(S字道路)の見直しを要望します。	市道主2-68号(S字道路)につきましては、道路こう配の緩和、歩道・路肩の拡幅・車道の相互通行のほか、上下水道・ガス・電気などのライフラインの整備を計画しております。こちらの道路は、現在、急で老朽化した擁壁がありますので、この擁壁を安全に配慮した勾配として、その後、斜面林を復元することで検討しております。そのため、相当な高さの擁壁が連続して続くようなことはございません。こちらにつきましては、具体的設計を実施してお示ししてまいります。
263	事業手法 事業費	市役所敷地の地下駐車場(130台)の工事費は、約26億円が計上されており、2,000万円/台となっています。地下駐車場とする必要があるのかについて、大いに疑問です。前記のように、法務局、裁判所との駐車場の共用など、様々な工夫によって台数を減らすとともに地下駐車場を回避し、このような莫大な工事費をかけることのないよう、見直しを要望します。	新拠点ゾーンに隣接する法務局や裁判所の駐車場につきましては、関係機関との調整が必要なことから、今後も各関係機関と協議を続けてまいりたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
264	事業手法 事業費	P.66想定される財源に計上されている「庁舎建設基金」は、市の積立金であることから、P.65の市庁舎建設費129億円の内数であるはずですが、誤解を招きますので、収支表として作成し直し、P.65が支出、P.66①が収入として、「庁舎建設基金」を除いた集計としてください。	庁舎建設基金については、庁舎建設の目的の為に積立したものであり、それ以外の用に供さないことから、本事業の財源として計上しております。
265	事業手法 事業費	庁舎跡地売却：35億円は、連鎖型公共施設再編の種地としてみることで、収入計上はしないようお願いいたします。その結果は、事業費合計(第3段階を除く)301億円、収入62億円で、差引(市の負担)が239億円になります。これを明記してください。ただし、上記の金額は、事業の見直しによる工事費削減があれば反映してください。	ここで示す事業費は、あくまで事業規模を把握するための目安として、現時点で想定される施設規模に基づき算出したものであり、確定した事業費ではありません。庁舎跡地の取り扱いにつきましても、現時点での想定であり、ご提案内容を含め確定したものではありません。
266	事業手法 事業費	事業スケジュール案をみると、土地区画整理事業の事業認可(都決変更)が令和3年度となっています。そうであれば、土地利用計画案がすでに検討されていておかしくないタイミングです。本計画は市民にとって極めて重要な計画です。都決変更前に、土地利用計画案について広く市民に意見を募る機会を、都市計画案の縦覧とは別に、ぜひ作っていただきたいと思っております。が、この拙速なスケジュールではそれが難しそうです。縦覧では遅すぎます。スケジュールの見直しを含めて、是非ご検討ください。	新拠点ゾーンはほぼすべてが国有地となっています。そのため、事業詳細については、現在、国と協議しております。
267	事業手法 事業費	最も位置づけが不明瞭なゾーンかなと思いますが、逆に言えば可能性が最も広いエリアでもあると思っています。その意味でも、また市の顔でもある松戸駅に最も近接するエリアであることなどからも、この整備計画の成功はこのゾーンをどのように活用するか次第な気もしています。行政、市民、民間、アカデミアなど様々な当事者がコラボレーションして、互いの強みを生かして価値あるゾーンにしていくというコンセプト自体は社大でチャレンジングだと思っています。いかに具体的なプランを次々と打ち立てて、良いサイクルを作っていくかは、「人」次第だと思うので、ハード面のみならずソフト面でも魅力的な「人」が集まるようなコンセプトを打ち出していく必要があると思っています。	ご意見にありますように、新拠点ゾーン北側の試みの場については、産官学民連携の仕組みを作り、様々な機能を有する商業・業務・文化機能を組み入れていきたいと考えております。なお、導入する機能については、今後策定予定の「(仮称)松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。
268	事業手法 事業費	表題に整備基本計画とあります。基本計画図を示してください。本書では、「機能」「空間形成」「整備の考え方・スケジュール・手法」とあり「事業費」が示されます。「機能」「空間形成」「整備の考え方・スケジュール・手法」は、計画図(土地利用計画)にどのように展開されましたか。「事業費」は、どういった計画図(土地利用図)から算出しましたか。計画図(土地利用図)を開示しない理由は何ですか？基本計画には、基本計画図があるものです。お示し頂き、ワークショップ参加者はもとより市民の意見を求める本来のパブコメの実施をお願いいたします。	新拠点ゾーンはほぼすべてが国有地となっています。そのため、事業詳細については、現在、国と協議しております。
269	事業手法 事業費	土地区画整理事業についての説明がほとんどない。新拠点ゾーン整備基本計画案には、前提として、市庁舎の移転があると思われるが、相模台の国有地での土地区画整理事業から始めるとされている。すぐには無理だろうし、時間がかかりそうで、緊急性のある市庁舎建設に間に合いそうもない。その土地区画整理事業についての説明が曖昧で、事業地の範囲もよく分からない。市民の中での議論では、法務局跡地脇の一方通行の登り坂道路の下の民有地も事業に含まれるはずだという意見もある。当初、私も当然そうだったと思うが、担当者からの説明では国有地しかないとのこと。民有地が含まれるのか含まれないのか、正確な情報が示されていない。	土地区画整理事業に関しましては、現在の「新拠点ゾーン」は、旧法務局や旧相模台官舎がまだ废墟として残り、既存の市道主2-68号(S字道路)は、急勾配、一方通行、歩道や路肩が狭く歩行者や自転車利用者が使いづらい状況となっております。そのため、「市街地開発事業」の一つである、「土地区画整理事業」により、道路勾配の緩和、相互通行、歩道や路肩の拡幅などの基盤整理を行い土地の有効活用を図り、令和3年度中に事業認可取得を目指し、検討を進めております。具体的な事業区域などにつきましては、各関係機関を調整が整い次第、公表していきたいと考えております。
270	市の財政	コロナ禍で市財政が今後ますます厳しくなることが予想されます。現在、松戸市の借金は総額でどの程度ですか。	本市の地方債残高は、令和2年9月30日現在で1,895億7,453万円でございます。
271	市の財政	200億円或いはそれを上回る財政支出への対応策及び他の業務内容に与える影響と対応策が分かりません。「第2の夕張市」とならない保証はありますか？	本事業については、長期的な効果をもたらす事業であることから、世代間公平の観点から起債により対応するため一時的に市債残高は増加しますが、現庁舎の跡地の売却益や事業効果により回収できる事業計画となっていると考えています。今後、各事業において詳細な計画・設計を検討していく中で更なるコスト縮減を図るとともに、効率的かつ効果的な公共施設再編及び都市機能更新を図ってまいります。なお、現在の本市の財政健全化判断比率は、いずれの指標もすべて国の定めた基準を大きく下回っており債務水準(残高・返済能力)は健全な状況であり、本事業に投資する財政的な体力は備わっております。
272	市の財政	私の住んでいる新松戸は、新松戸駅東側に広がる農地を削り、地権者合意ないままの計画を市が推進しています。農地あり緑広がる景観は駅ホームの人たちに安らぎを与えています。「緑豊か」は、今回の新拠点ゾーンだけに該当する街づくりではありません。新松戸の開発計画がまだ問題あるなかで、さらなる大規模開発を多額な税収入をあてにコロナ禍での経済の落ち込み予想をどう試算しているか？。数年後回復し充分確保できる根拠はどこにデータあるのか？一、新たにパブコメなど無謀で、計画に反対します。	新拠点ゾーン整備及び市役所機能再編について、将来における事業効果を最大限発揮でき、将来の財政に負担をかけない事業実現に向けて、これまで計画の検討を重ねてまいりましたが、今回、新拠点ゾーンに求められる機能・空間形成の考え方とともに、今後の整備の考え方、スケジュール、事業手法、概算事業費をお示しした「新拠点ゾーン基本計画(案)」を公表し、パブリックコメントを行いました。本事業については、長期的な効果をもたらす事業であることから、世代間公平の観点から起債により対応するため一時的に市債残高は増加しますが、現庁舎の跡地の売却益や事業効果により回収できる事業計画となっていると考えています。今後、各事業において詳細な計画・設計を検討していく中で更なるコスト縮減を図るとともに、効率的かつ効果的な公共施設再編及び都市機能更新を図ってまいります。なお、現在の本市の財政健全化判断比率は、いずれの指標もすべて国の定めた基準を大きく下回っており債務水準(残高・返済能力)は健全な状況であり、本事業に投資する財政的な体力は備わっております。
273	市の財政	先日計画を突然知りました、庁舎のみならず、他の開発も含まれている様です。そんな大金はどこにあるのですか。借金ですか、誰が返すのですか。計画を推進する人、承認する人が返すのですか。計画を推進する人、承認する人が返すのですか。それなら問題はないですね。今の庁舎が耐震性、その他に問題があるなら、改修をふくめて広く市民との協議を充分時間を掛けて行うべきです。余りにも性急です。パブリックコメントの時間が1ヵ月とは、何か不自信を感じてしまいます。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところ。今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座(出前講座)等による市民への丁寧な説明等を考えております。なお、現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
274	計画本文	基本構想コンセプトのタイトルに「Be ルネサンス 松戸 ～ 松戸駅周辺を文化の香る にぎわいあふれる広場へ～」とあります。これは基本構想のスローガンかキャッチコピーと思います。「松戸市よ、再生せよ」という意味と解釈しましたが、いつの時代を再生するのか説明が不足していると思います。また、松戸市の歴史において再生したいほど輝かしい時代があったか思い浮かびません。つまり、ルネサンスという言葉と計画の内容が整合しないのです。上位計画で使われているスローガンなので変更は難しいと思いますが、「Be ルネサンス 松戸」というスローガンは変えた方がいいと思います。 また、新拠点ゾーンの変称と共にスローガンを広く市民から募集するのがいいと思います。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
275	計画本文	「ここでいう「緑」とは樹木や草花、植物そのものを表現し、「みどり」とは植物そのものだけでなく、「緑」と一体となった生活、自然環境、防災、快適性、景観など、まちを構成する様々な環境の総体と定義します。」と「緑」と「みどり」の使い分けがなされていますが、両者の使い分けは非常に紛らわしい。 「みどり」はこの計画書の中だけでの定義であり、一般に定着した概念ではないと思います。「みどり」に緑(植物)と一体となった環境の総体と定義するなら「緑化」「緑環境」「緑文化」などの別の言葉に変える方がいいのではないのでしょうか。	本計画の「みどり」の定義については、「防災」「快適性」「景観」が含まれるなど、ご指摘のとおり一般的な定義よりも、やや広義にとらえすぎた部分がありました。 そのため、「松戸市みどりの基本計画 計画骨子(概要)」(令和元年7月)を参考に、本計画(案)第2章(p.36)の3～6行目を「『みどり』とは『緑』を基本として樹林地、農地、草地、水辺・水面、公園などの緑地やオープンスペース、学校のグラウンド、民有地の植栽地のほか、水や土壌、大気、生き物の生息地などが一体となって構成された環境及び人との関わりを含めてとらえたものと定義します。」に改めます。
276	計画本文	パブリックコメントを求めるための資料としては、もっとよく整理して内容を的確に把握しやすいよう構成してまとめてあるべきだろう。検討内容の時系列的な記述や内容が重複している部分も見受けられ、量が多く繁雑で全容・結論把握をしにくい。構成は「導入-結論-説明-資料」の順であるのが理解把握しやすいと考えます。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
277	計画本文	緑、多様な暮らし、暮らしの安全・安心——とあります。計画の前提にあるのがこれらの課題にむけた、または進めている施策と思うが、いずれの面でも不十分です。100頁の計画案では第2節松戸市をとりまく社会的動向で、それぞれの問題点を指摘です。あらゆる面でまず求められるのは人権、安全安心の視点。人権はいま住んでいる国籍、男女、年代を問わず保障されるべきもの。住んでいる現在未来の人々に保障されるべきもの。それがあっての街づくり。都心にアクセスしやすい松戸市は外国人登録者数が千葉県でも多い街です。またLGBTの方、障害あることも成人の方もおり、マイノリティやハンディある方たちに住みやすい街がすべての世代が住みやすい街に直結ですが、計画立案過程ふくめその前提の思想が見えません。ここで言う「多様な暮らし」にそれが見えず、違和感を覚えます。	ご指摘のとおり、社会から求められるニーズは多種多様であるため、多様な暮らしに対応可能な幅を持った方向で街づくりを進める必要があると考えております。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座(出前講座)等による市民への丁寧な説明等を考えております。
278	計画本文	新拠点ゾーンに関してはもっとビジュアライズする必要があると感じます。(P51)みどりを豊かに生かす機能を「オープンな場」・多様な暮らしを充実させる機能を「試みの場」・暮らしの安全・安心を支える機能を「支える場」というのは明らかに抽象的すぎるのではないかと感じます。P31の様に、具体的にこんな場所を想定しているなどの参考例などを挙げていただけますと幸いです。または3Dで構想を作るのも良いかと感じます。 実際にどのようなまちになるのかを想定できるようにビジュアライズすることは多くの市民にとってわかりやすいのかなと感じます。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
279	計画本文	松戸市駅周辺の都市機能も更新時期を迎えておりの言葉意味不明です。そもそも都市機能も更新時期を迎えているということはどの都市も当たり前前の話今までのことせずに放置しておけば当然更新になるものです。それが文章後半の国有財産の有効活用とどう結びつのか関連が不明確。文章自体に問題あり。	ご指摘の内容は、上位計画の概要を記載したもので、パブリックコメントの対象ではございません。 昭和40年代の都市開発により建設された建物が建替えの時期を迎えていることを記載しています。
280	計画本文	豪雨災害が頻発するから 新たな防災拠点の構築が急務と読めるがそれは違う。ここでも文章に 脈絡がないので 理解に苦しむ。 突然降り注ぐ豪雨に対しては江戸川の氾濫対策が一番に挙げられる。そのために国と合わせた堤防や排水ポンプ場設備の整備が一番である。やもすれば1年前2年前の台風豪雨の災害被害があるにも関わらず未だ、手つかずののろい役所仕事が多い。 豪雨災害が防災拠点の構築には多少関連ありでもこの文章としては意味が成り立たない。整備基本計画の第一番目にくる文章としては甚だお粗末に思えます。	現庁舎は、施設そのものや基幹設備の老朽化や耐震性の不足により、市民の皆さまや職員等の生命を脅かすだけでなく、災害対応拠点としての機能が果たせない状況となっていると認識しております。
281	計画本文	文字が小さく見にくい。ごちゃごちゃしてみる気にならないです。みどり色は色弱者には見えないので使用不可化、使用注意です。平気で全体的に使用するのは市役所気配り足りません。ご注意ください。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
282	計画本文	「新拠点ゾーン整備基本計画(案)」を読ませていただいて納得できたところ。 基本計画が、松戸にある自然や文化や歴史、そこにいる人々の思いに基づいて新たなまちづくりを行っていかうとしている所はいいと思いました。松戸市の「人・歴史・文化・自然」を再認識して、それを基にしてまちづくりを考えていく、この視点はとても重要だと思います。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
283	計画本文	第2章に入る前に、駅周辺まちづくりの全体計画を示し、その中で新拠点ゾーンが計画されるべきではないでしょうか。	上位計画である「松戸駅周辺まちづくり基本構想」において、松戸駅周辺のまちづくりの方針をお示ししています。
284	計画本文	P.5に、計画の関連図がありますが、松戸駅周辺まちづくり構想から新拠点ゾーン基本構想、本計画と繋がっていますが、本来はもう一本の流れで、松戸駅周辺まちづくり構想から都市再生緊急整備地域整備方針が「即する」矢印で繋がりが、そこから本計画にも「即する」矢印で繋がっているべきと思われます。ところが、都市再生緊急整備地域整備方針が「検討中または未策定」となっているため、本計画の中に、都市再生緊急整備地域整備方針で示されるはずの全体計画が書かれていなければなりません。	都市再生緊急整備地域は具体的な計画が見えてきた地域について指定されることから、現在本計画(案)策定と並行して国と協議中です。そのため、本計画(案)第6章(p.81)に「都市再生緊急整備地域整備方針(案)」を掲載するに留めております。 しかし、ご指摘のように「都市再生緊急整備地域整備方針」は、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」に即して作られることから、本計画(案)序章(p.5)の図序-1-1における「松戸駅周辺まちづくり基本構想」から「都市再生緊急整備地域整備方針」へ「即する」矢印を追加いたします。

No.	分類名	意見内容	意見内容に対する市の考え方（案）
285	その他	以前からメールさせて頂いておりますが一向に改善されていけませんのでココに記載させて頂きます。 キャッチ等キャバクラ等西口のみしか行っていません。東口は出来ないのでしょうか？何か行えない理由があるのでしょうか？看板にしても市から注意して下さい。 不法投棄にしてもさすが線路脇はゴミが投げ込まれています。JR側だから手が出せないという問題じゃないと思います。真夜中に捨てに行く人を捉えるなりしないと改善しません。	「松戸市安全で快適なまちづくり条例」により、松戸駅東口・西口周辺を重点推進地区及び客引き行為等禁止地区に指定し、指導監視員による巡回を重点的に実施しており、違反行為を確認した場合は行為者及び店舗管理者へ直接注意・指導を行っております。また、看板の不法占用につきましては、松戸駅の東西ペデストリアンデッキ及び駅周辺において定期的にパトロールを実施し、行政指導等により看板の撤去を促しております。 なお、上記内容に加え、不法投棄といった行為は解決すべき課題と認識しておりますので、関係機関と情報共有させていただきます。
286	その他	2015年6月に「松戸駅周辺まちづくり基本構想」が策定されてから、今回の「新拠点ゾーン整備計画素案」が発表されるまで5年余がかかっています。市役所の移転を中心とした「新拠点ゾーンまちづくり素案」が5年余もかかった大きな理由はどこにあったのですか。あまりにも間延びしたテンポではありませんか。	「松戸駅周辺まちづくり基本構想」は、松戸駅周辺の将来ビジョンを構想として示したものです。 上記基本構想でお示した将来ビジョンを踏まえ、現在まで「春雨橋親水広場」の整備や「戸定が丘定歴史公園」の拡張整備、「新拠点ゾーン整備基本構想」の策定など取り組みを進め、この度、本計画(案)をお示しするに至りました。
287	その他	先程意見をやっと入力しました。そして、送ろうとしたところ、時間超過のため再度入力し直せというメッセージでした。高齢者の私では短時間で送れる様なことではありません！！ひどいです。	大変申し訳ございませんでした。 ちば電子申請サービス利用上の注意では、「6. タイムアウト時間について 本サービスを利用中に、操作されない時間が60分を超えると安全対策のためタイムアウトとなります。タイムアウトになりましたら、お手数ですが、再度、最初から操作をやり直してください。(ちば電子申請サービス利用上の注意より引用)」とされているため、こちらが原因と考えられます。 また、パブリックコメントにつきましては、窓口・電子メール・FAX・専用の応募フォームにてご意見の受付も実施しているところです。 いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。
288	その他	現地用地を売却するのですか？ 松戸市には足りない施設がまだまだあります。図書館とか市営の保育園等等売却には、反対です。	現図書館本館用地の売却を計画しているものではありませんが、いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
289	その他	未来の松戸を作るのは、子ども達です。	「MATSUDOING 2050」において、30年後の未来を見据えた議論を行い、その議論を踏まえて本計画(案)を作成いたしました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。
290	その他	まちづくり委員のメンバー一覧を見せていただきました。学識経験者はじめとした15名の委員の中に障害者団体の方がみられません。ユニバーサルシティやインクルーシブシティ、まちのバリアフリー化には不可欠なメンバーだと思います。「東口デッキの再整備・バリアフリー化を行う」事からしても障害者の視点は不可欠だと思います。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
291	その他	30年後の完成をめざしているのなら、その「優先順序を決め」、「このような手順で進めていきます」と言った「プロセス」を明らかにし、公表していくことが行政の責任として必要かと思えます。 まちづくりは30年後に生きる人のためだけにあってはなりません。30年先はバーチャルの世界です。まちづくりは、今生きている人間、寿命の限られている人間の生命時間の中で考えていくべき事だと思います。幼児、高齢者、障害者等が今生きている現状を生きやすい、生活しやすい場所にしていくことから始めて行くべきだと思います。	30年後を見据えての議論とは、現在をないがしろにするということではなく、現在に生きる人々が、自分の子や孫の世代のためにどのようなまちをイメージし、どのようにつくり続けていくかという視点で議論をしてみました。そこでは、幼児、高齢者、障がいのある方など多様な人々が生活しやすいという視点も含まれております。